

第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン
令和6年度市民アンケート調査
報告書

令和6年7月
札幌市

目 次

I 調査実施の概要

(1) 目的-----	2
(2) 設計-----	2
(3) 回収結果-----	2
(4) 回答者の属性-----	2
(5) 集計・分析上の注意事項-----	3

II 調査結果の詳細

(1) 「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」について-----	6
(2) まちづくりの「基本目標」の実現度について-----	7
1. 子ども・若者分野-----	7
基本目標① 安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち-----	7
基本目標② 誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち-----	9
基本目標③ 一人一人の良さや可能性を大切にする教育を通して、子どもが健やかに育つまち-----	11
2. 生活・暮らし分野-----	13
基本目標④ 誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち-----	13
基本目標⑤ 生活しやすく住みよいまち-----	15
3. 地域分野-----	17
基本目標⑥ 互いに認め合い、支え合うまち-----	17
基本目標⑦ 誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち-----	19
4. 安全・安心分野-----	21
基本目標⑧ 誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち-----	21
基本目標⑨ 日常の安全が保たれたまち-----	23
5. 経済分野-----	25
基本目標⑩ 強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち-----	25
基本目標⑪ 多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち-----	27
基本目標⑫ 雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち-----	29
6. スポーツ・文化分野-----	31
基本目標⑬ 世界屈指のウインタースポーツシティ-----	31
基本目標⑭ 四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち-----	33
基本目標⑮ 文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち-----	35
7. 環境分野-----	37
基本目標⑯ 世界に冠たる環境都市-----	37
基本目標⑰ 身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまち-----	39
8. 都市空間分野-----	41
基本目標⑱ コンパクトで人にやさしい快適なまち-----	41
基本目標⑲ 世界を引きつける魅力と活力あふれるまち-----	43
基本目標⑳ 都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち-----	45

(3)まちづくりの重要概念に関する取り組みについて	47
ユニバーサル（共生）について-----	47

ウエルネス（健康）について-----	53

スマート（快適・先端）について-----	58

(4)今後の札幌市のまちづくりについての意見	60
 Ⅲ 参考資料	81
(1) 集計表	83
(2) アンケート調査票	165

調査実施の概要

1 調査実施の概要

(1) 目的

札幌市では、まちづくりの基本的な指針として「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定し、これに基づき計画的なまちづくりを進めていくこととしている。そこで、第2次ビジョンで定めるまちづくりの基本目標等に対し、札幌市の現状がどの程度であるかを分析するため、市民の意識調査を行った。

(2) 設計

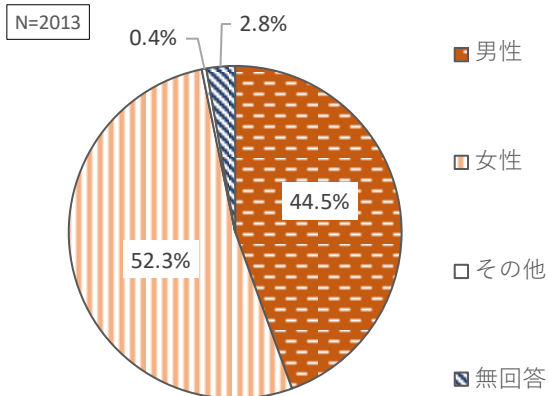
調査対象	16歳～85歳の男女
標本数	10,000人
調査方法	調査対象者に調査票を送付し、郵送またはwebフォームにて回答を求めた
調査期間	令和6年(2024年)5月10日(金)～令和6年5月24日(金)
抽出方法	本市の電算システムによる無作為抽出

(3) 回収結果

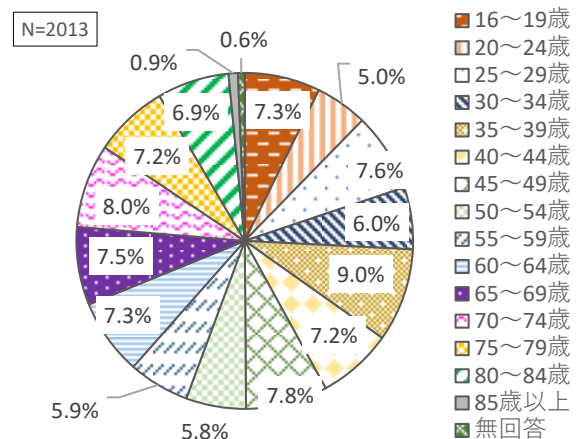
発送数	10,000通
有効回答数(率)	2,013通 (20.1%)

(4) 回答者の属性

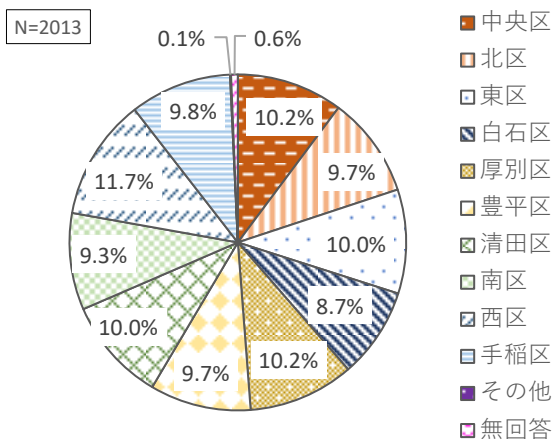
1) 性別



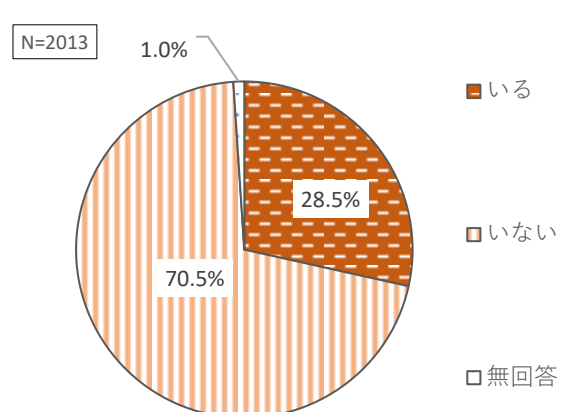
2) 年代



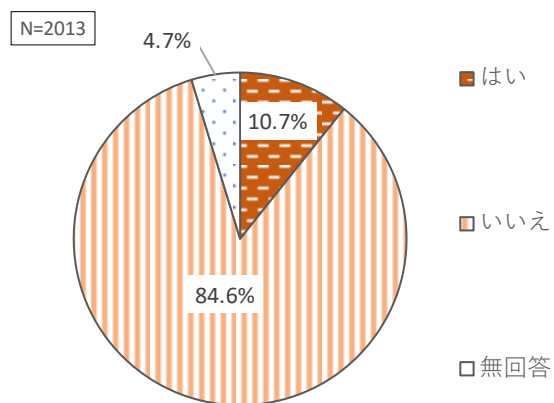
3) 居住地



4) 18歳以下の同居家族



5) 障がいの有無



(5) 集計・分析上の注意事項

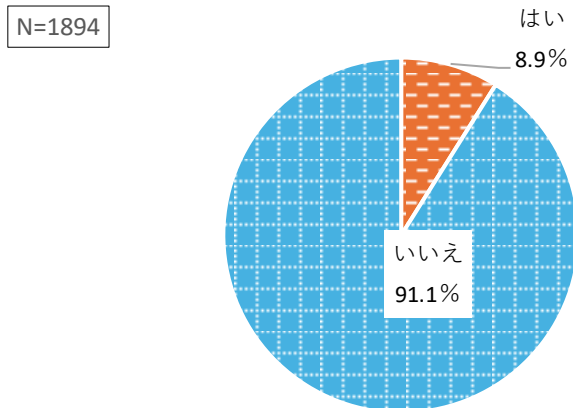
報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を除いた合計数を「N」で標記している。
また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも 100.0% になっていない場合がある。

調査結果の詳細

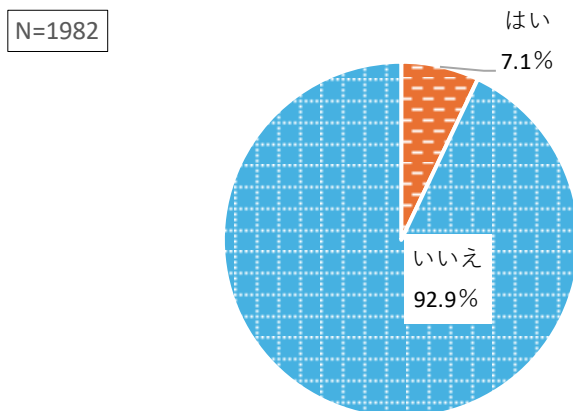
2 調査結果の詳細

問1 「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」についてお聞きます。

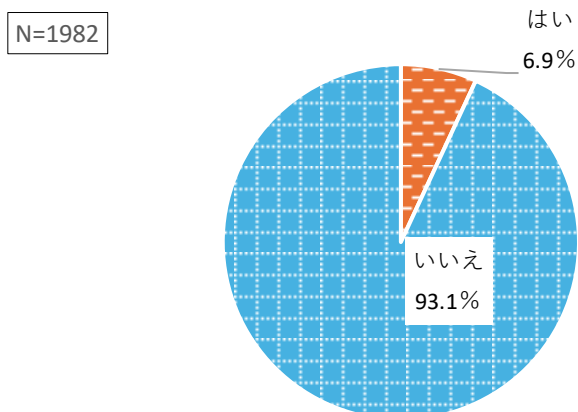
1. 「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」をご存知でしたか。



2-①「目指すべき都市像」をご存じでしたか。



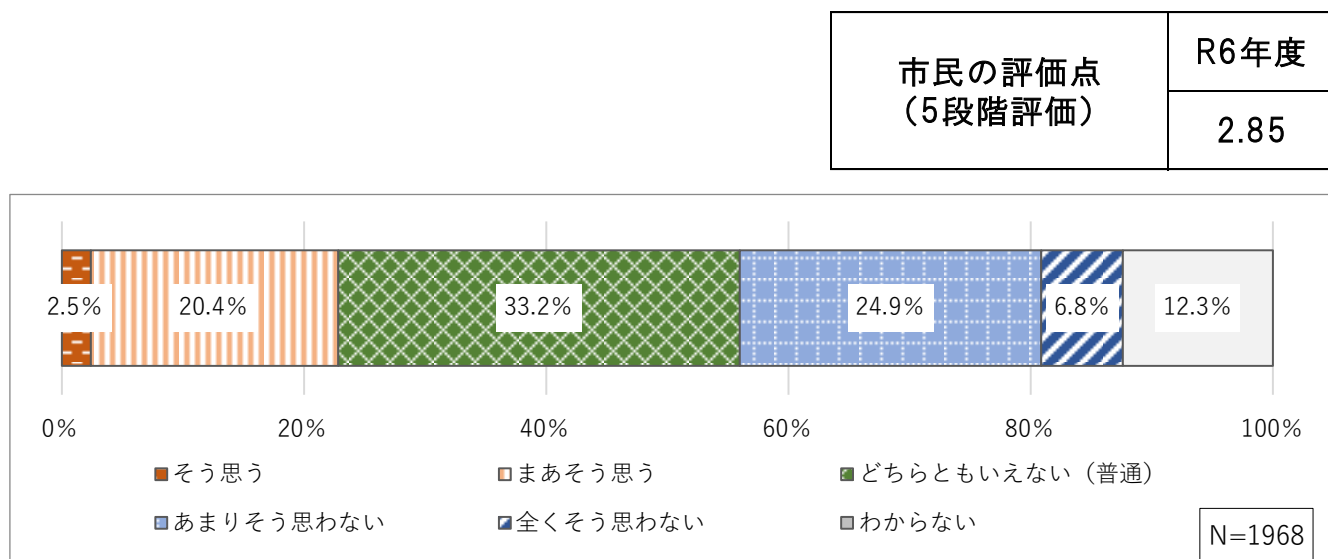
2-②「まちづくりの重要概念」をご存じでしたか。



問2 まちづくりの「基本目標」が実現していると思うかをお聞きます。

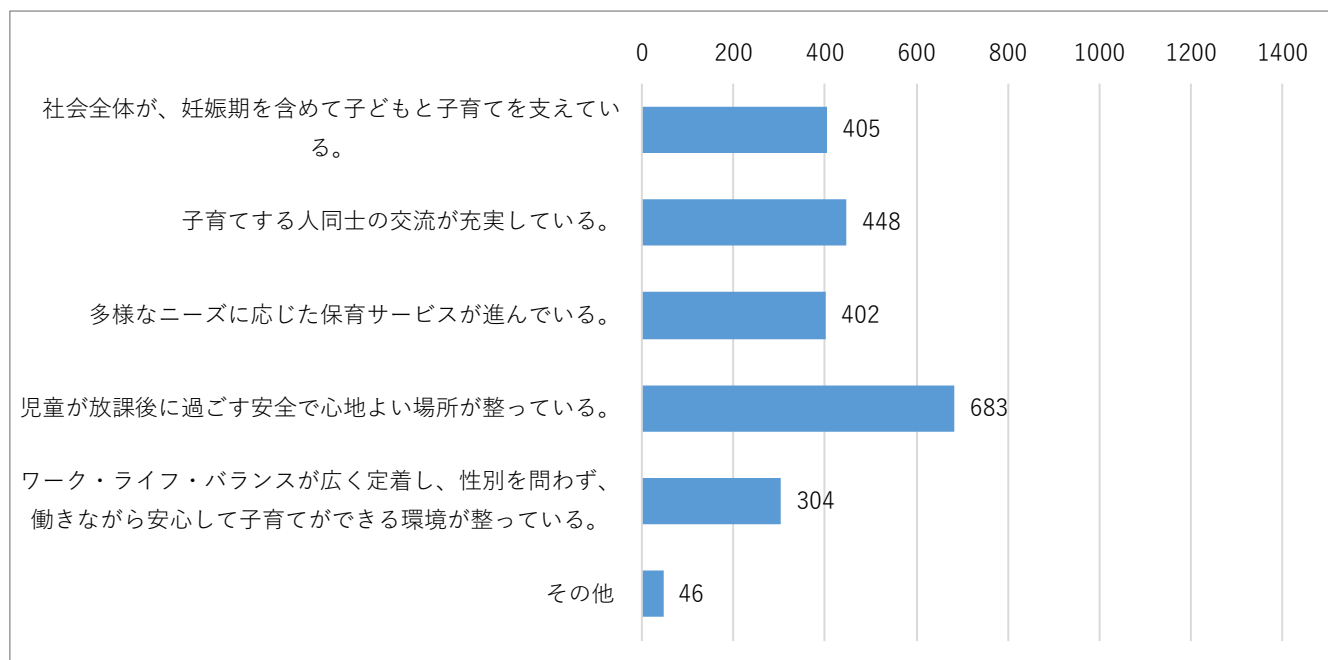
【1. 子ども・若者分野】

■基本目標① 「安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち」の実現度



■回答の理由

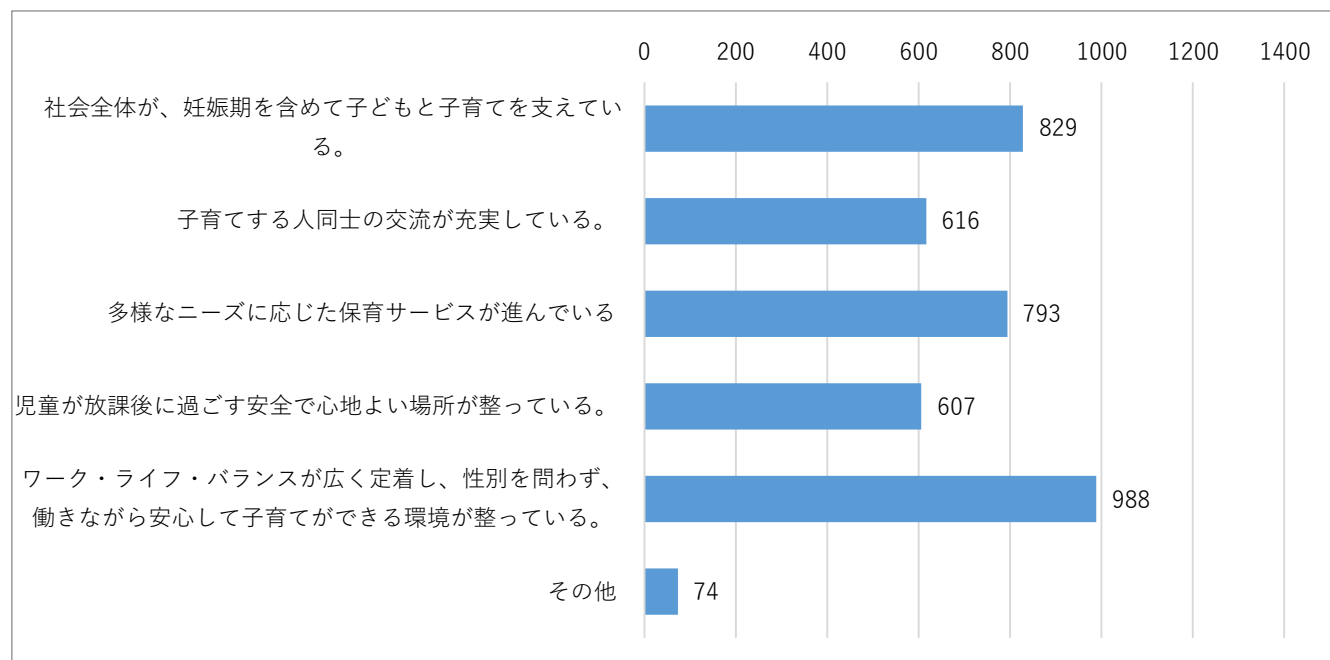
評価されていること(○評価) 計 2,288 件



《その他の意見》

- ・小、中学生の登校時間に地域の方が、交通の見守りをしてもらっている点。地域の方の協力を感じられている点。
- ・保育料が二人目以降無料になる点が、他の都市より子育て世代に優しいと思う。オムツを捨てるためのゴミ袋がもらえる点も。
- ・会社など休みが取りやすくなった。
- ・子どもが思いきりあそべる大きな公園が多い。
- ・子育て世代に対する支援、給付金等がある。

課題となっていること(×評価) 計 3,907 件



《その他の意見》

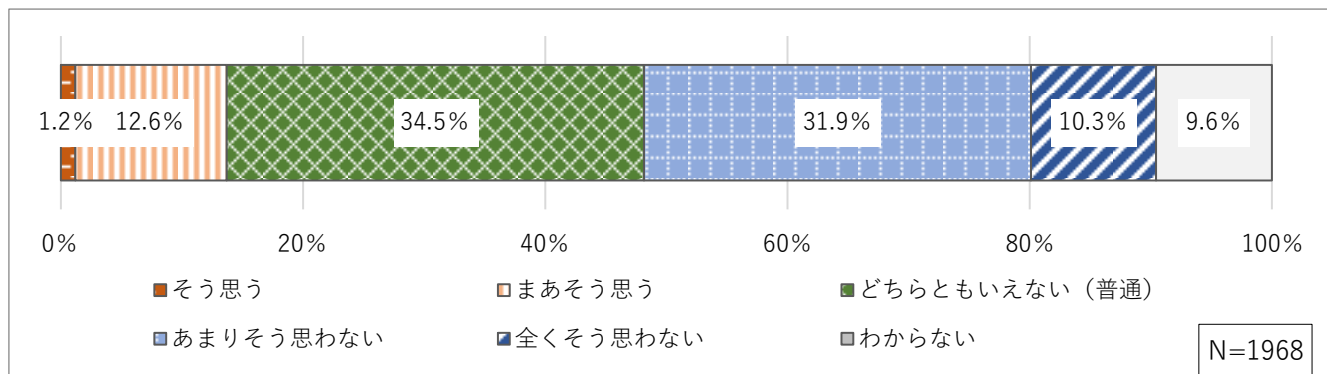
- ・子どもが多い家庭へ支援を充実させてほしい。
- ・保育サービス施設が不足している、又保育士の数が足りていない。
- ・中小企業に体力がなく、産休・育休の際に退職する事が多い。
- ・3才以上の保育園入園が難しく、入れる保育園を探して引っ越していく家族がまわりにいました。また長い冬の札幌ですが、子どもたちが、のびのびと遊べる施設が充実していない。
- ・子育てにかかる費用の補助が十分でない。
- ・給料が安く結婚すらできない経済状況を、変えていかなくては解決できないと思う。
- ・施設やサービスができて、働く人の意識や知識がないと意味がない。相談しても雑な対応をされたり、知識がないのか意味不明な対応をされたり、子育てに関わる人への教育をしっかりと行ってほしい。
- ・共働き世帯で子供が病気になったとき、子供を預かる施設、枠が少ないのではないかな。

■分析・考察

- ・実現度は2.85と全体平均より低い。
昨年度よりも評価点は0.1下がった。
- ・実現度及び○×評価において、子育ての有無、性別による回答の大きな差は見られないが、30～39歳の評価が平均よりも低い傾向が見られ、現状の子育てに対する環境に不満と感ずることが多い世代と考えられる（参考資料）。
- ・○評価と×評価の差から、×評価が○評価を上回っており、子育てと仕事の両立に関する事、子どもを預かるサービスや子育て世帯の経済的支援などの対応が必要であると考えられる。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

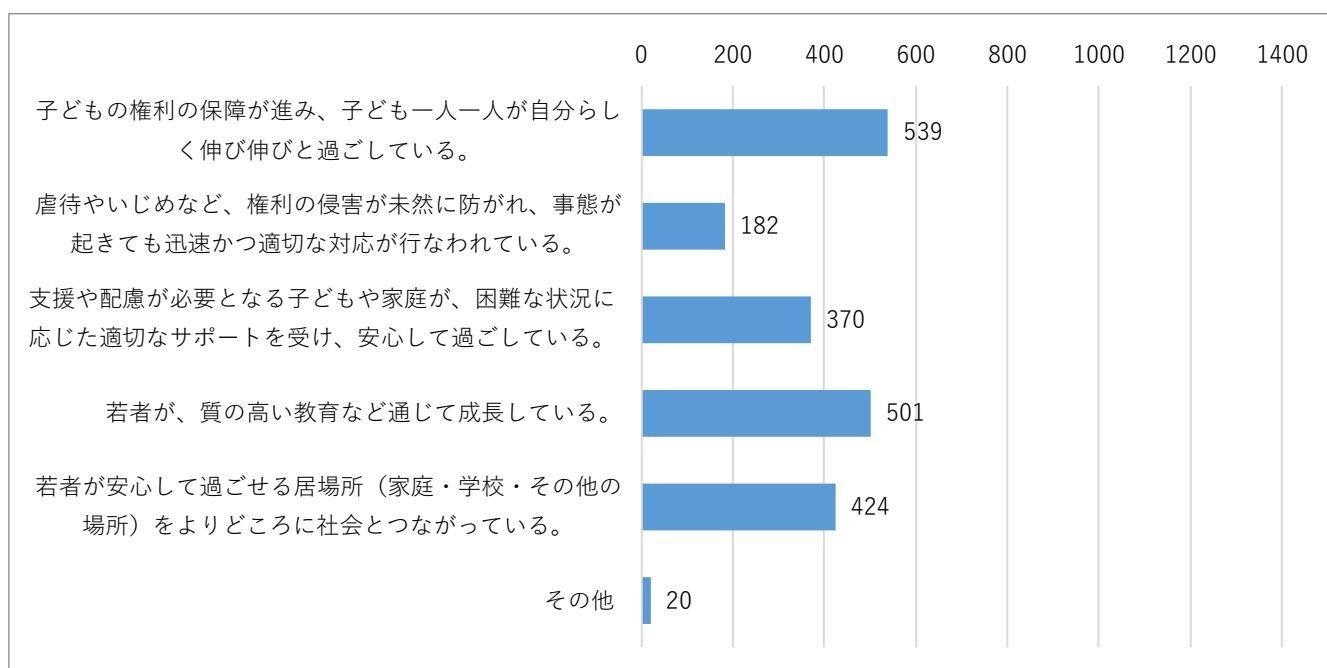
■基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまちの実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R6年度
	2.59



■回答の理由

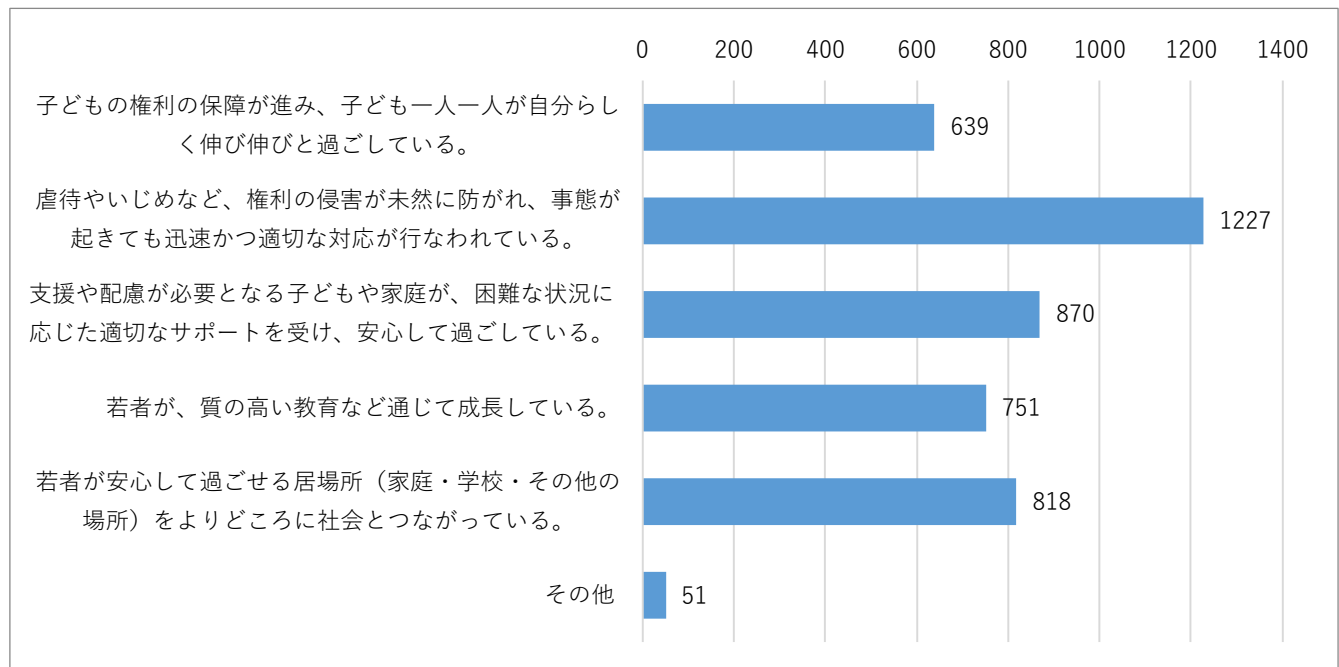
評価されていること(○評価) 計 2,036 件



《その他の意見》

- ・ 子供の遊ぶ場所や勉強場所が自由に設けられている点。
- ・ 社会貢献や就業体験の機会がある。
- ・ 子供用の施設が増えた。
- ・ 取り残されている人も一定数いると思うが、相対的には伸び伸び成長する子の方が多いだろう。

課題となっていること(×評価) 計 4,356 件



《その他の意見》

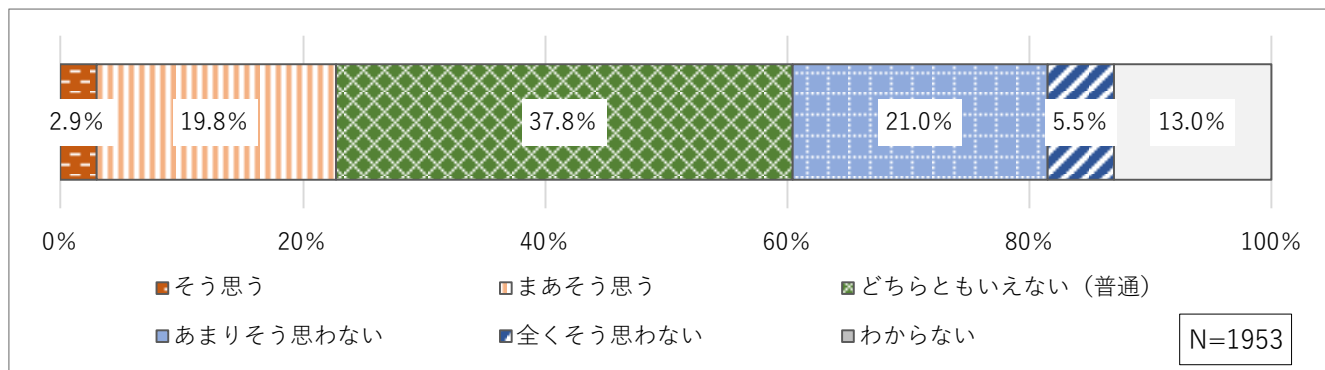
- ・ 誰一人取り残されずに、というのであれば思春期の自殺対策を行うべきだと思います。
- ・ 一人親家庭、またヤングケアラーで苦労している子供が多い。
- ・ 市のいじめへの対応は、学校含め不審感を持っており、とても適切であったとは思えない。
- ・ 児童相談所などの機関の、予防的な働きが非常に弱いと思います。子供達の安全を守るよりも、自分たちの保身を考えているように感じます。
- ・ 不登校について積極的に取り組んでほしい。
- ・ ひきこもりや親と同居しているが社会活動ができない人の支援。
- ・ 学費が高いのでもっと学費を補助してほしい。
- ・ 大通りキッズなどもあると聞く。 子供を守る活動を行っていることを住んでいて聞いたことがないので、広報活動も必要に感じる。

■分析・考察

- ・ 実現度は 2.59 と全体平均より低い。
- ・ 昨年度よりも評価点は 0.07 下がった。
- ・ 実現度において、子育ての有無、性別、年代別による回答の大きな差は見られない。
- ・ すべての項目において、×評価が○評価を上回っており、特に虐待やいじめなど、権利が侵害される事態に対する対応が課題であると考えられる。また 60～64 歳の割合が全体より高い傾向が見られた。また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

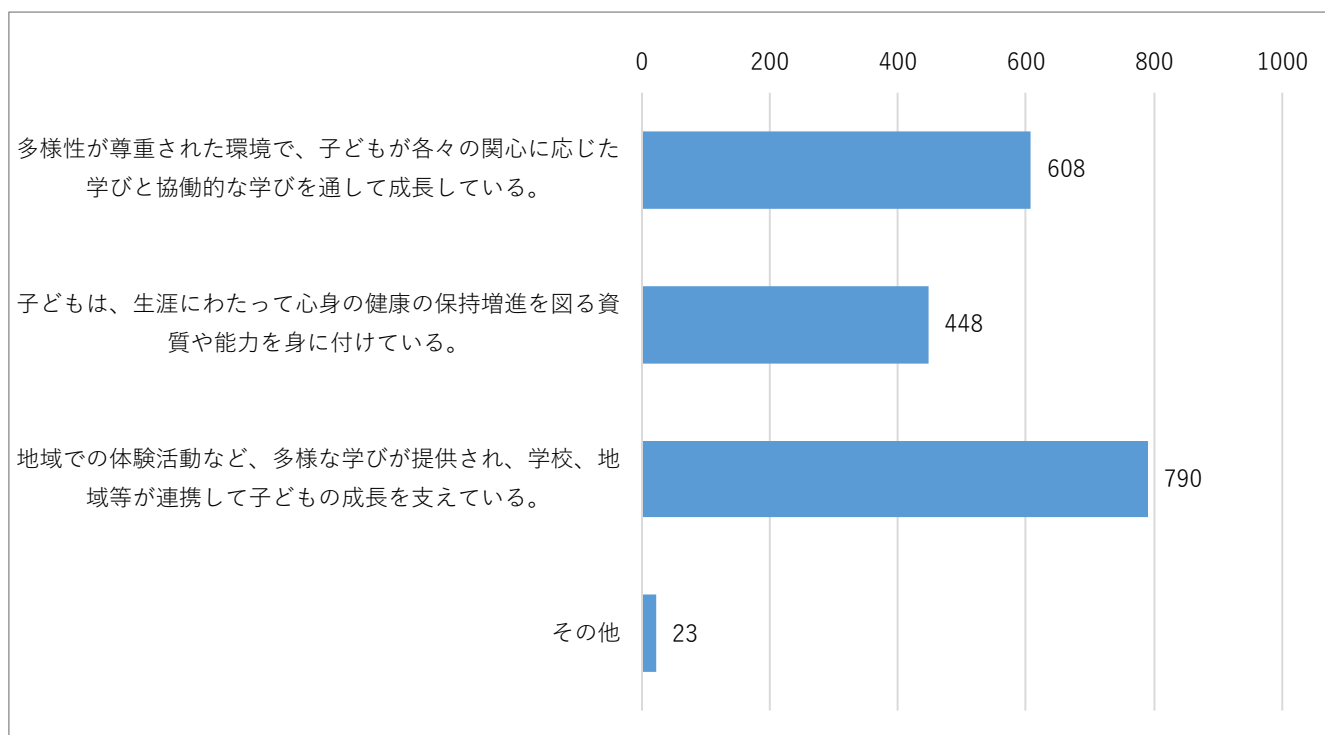
■基本目標③「一人一人の良さや可能性を大切に作る教育を通して、子どもが健やかに育つまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R6年度
	2.93



■回答の理由

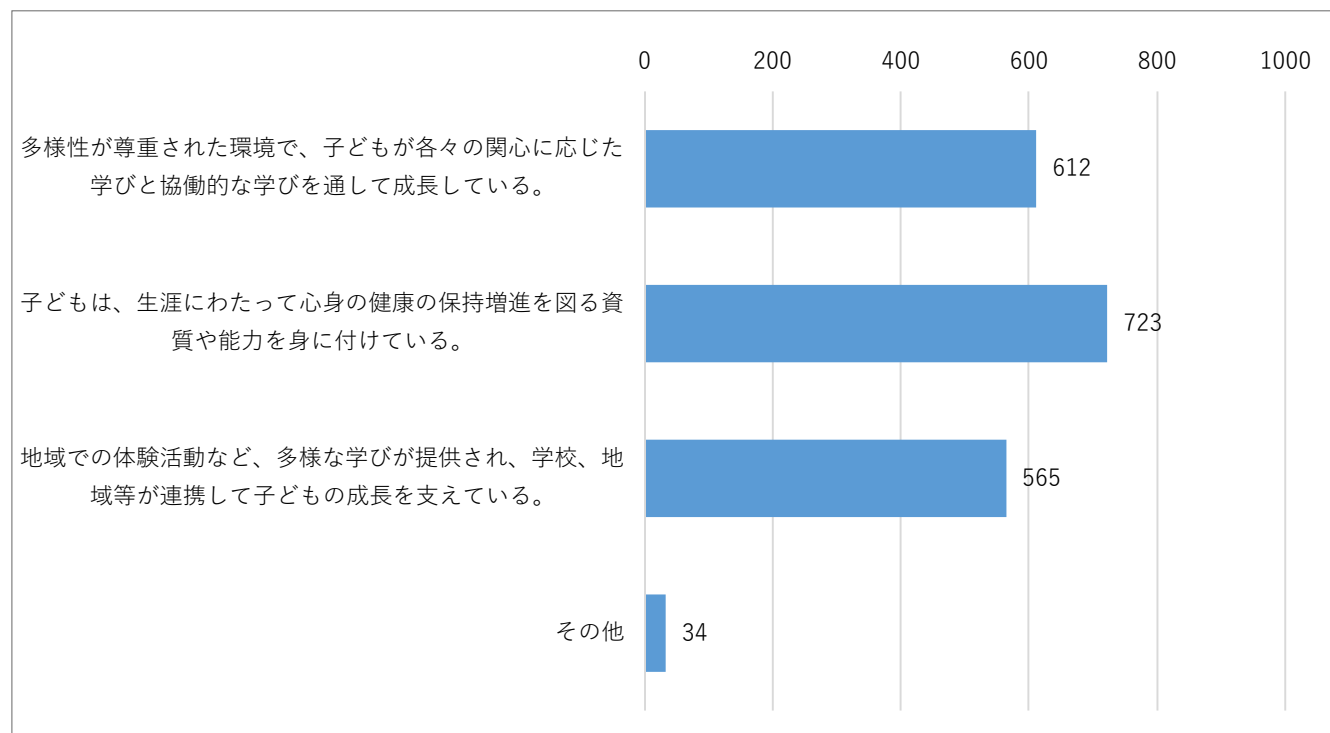
評価されていること(○評価) 計 1,869 件



《その他の意見》

- ・それぞれの場所で子ども、学生が、自分たちの時間を楽しくすごしており、充実した日々を過ごしている。
- ・地域の人との交流（盆踊り、ゴミひろい、etc）
- ・子育て支援が充実してきているから。
- ・三世帯などが多く、比較的に子供が安定している人が多いのでは？

課題となっていること(×評価) 計 1,934 件



《その他の意見》

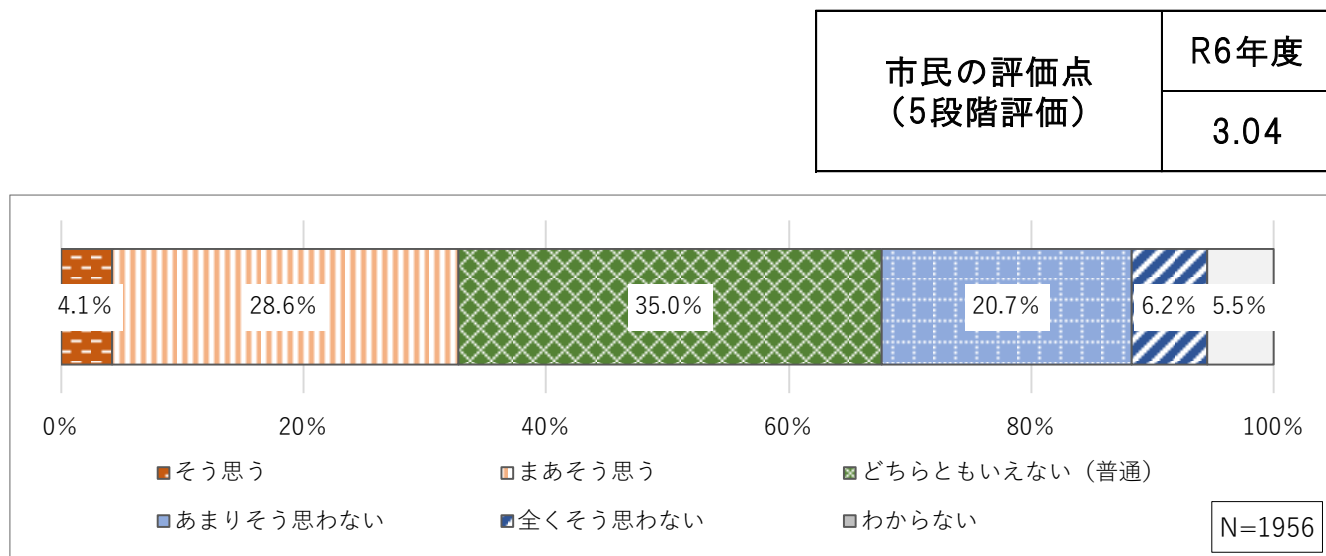
- ・ 子供が興味をもつことを習わせたくても仕事で送迎することが難しい家庭もあり、やはり格差を感じる。
- ・ 教師の質の低下、子供に善悪をきちんと教えることができない。教師の間でもいじめなどがあるのに子供の手本になるわけがない。
- ・ 子供の遊び場に行ったり、公園に行った時思ったのは、おもちゃや遊具で遊ぶよりも携帯やゲームで遊ぶ子が多いなということです。ブランコよりもゲームの方が楽しいのだと思ってはいますが、いろんな体験ができる場があって、そこでゲームよりも楽しいと思える熱中できるようなことが見つければいいと思います。 今もやっているかもしれませんが職業体験などもいろんな業種でどんどんやってほしいです。
- ・ 残念な事ですが今の子供達の現状は親の経済力にかなり左右されていると思います。食事は給食などと聞くと胸が痛くなります。
- ・ 教育者によって生徒の伸び具合が異なり、教育の質が保てていない。
- ・ 多様性を履き違えている。多様性と善悪の区別をはっきりさせない教育は違う。

■分析・考察

- ・ 実現度は 2.93 と全体平均より低い。
昨年度よりも評価点は 0.03 下がった。
- ・ 実現度において、子育ての有無、性別による回答の大きな差は見られないが、16～24 歳からの評価は全体より高い傾向が見られ、当事者である若者は他の世代が思うほど悲観していないと考えられる。
- ・ ○×評価において、○回答の理由として「地域社会での体験活動など～」を選択する女性の割合が全体より高く、また 16～24 歳の若年層の割合が高い傾向に見られる。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

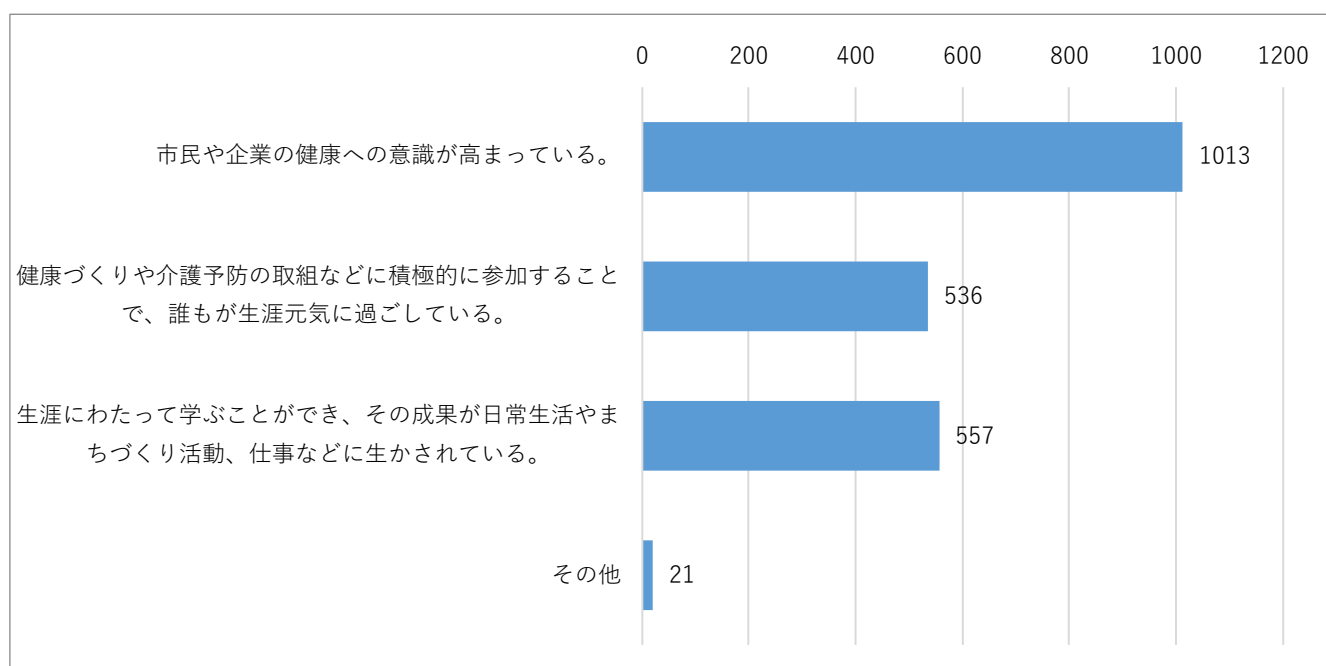
【2. 生活・暮らし分野】

■基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」の実現度



■回答の理由

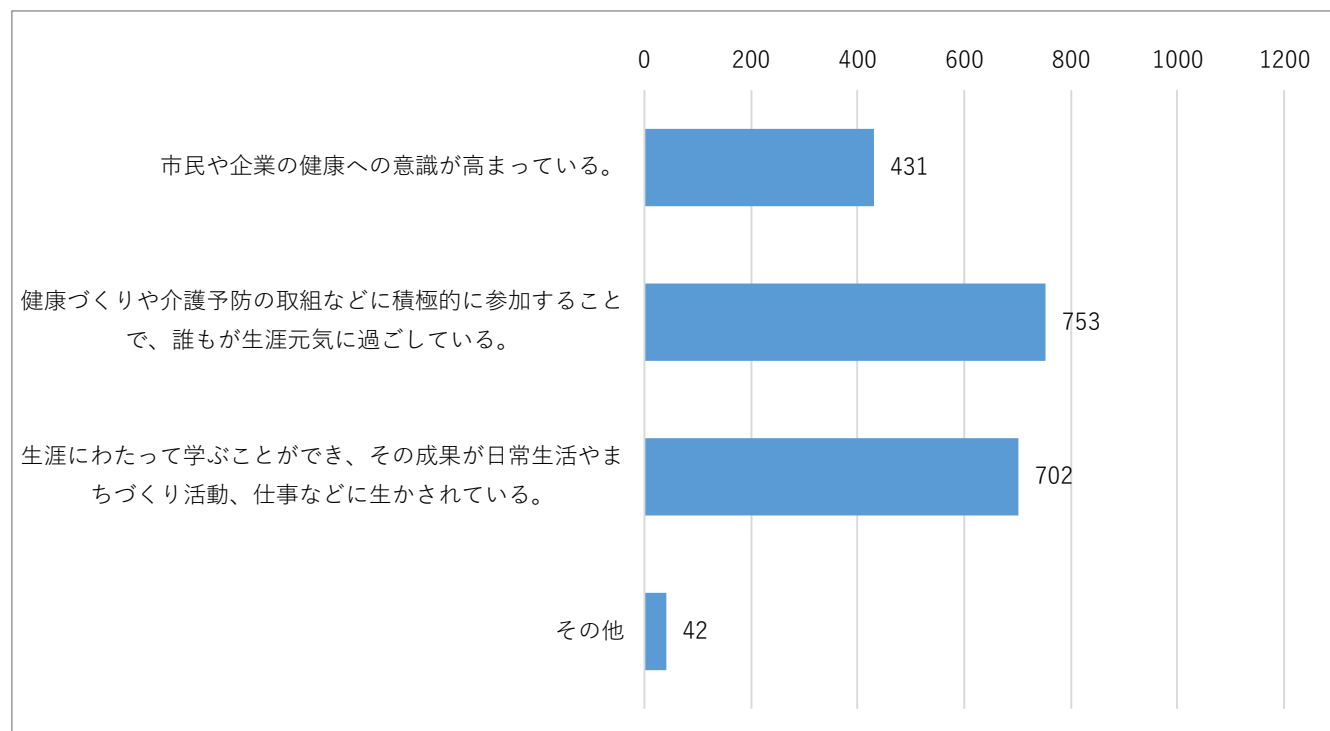
評価されていること(○評価) 計 2,127 件



《その他の意見》

- ・これは札幌だから出来る事であり、地方の方達にはまだまだ行き渡ってはいない。地方と札幌市の連携が成り立ってこそ北海道を盛り上げる事と思います。
- ・健康センターや体育館など安価でスポーツを楽しめる環境がある。
- ・医療介護の施設も道内他都市より多い。
- ・就職含め高齢者が地域活動できるしくみがある。
- ・公園が多い。
- ・交通網がそれなりに整備されているので、活動しやすいです。
- ・まちづくりセンターや地域の活動がある。

課題となっていること(×評価) 計 1,928 件



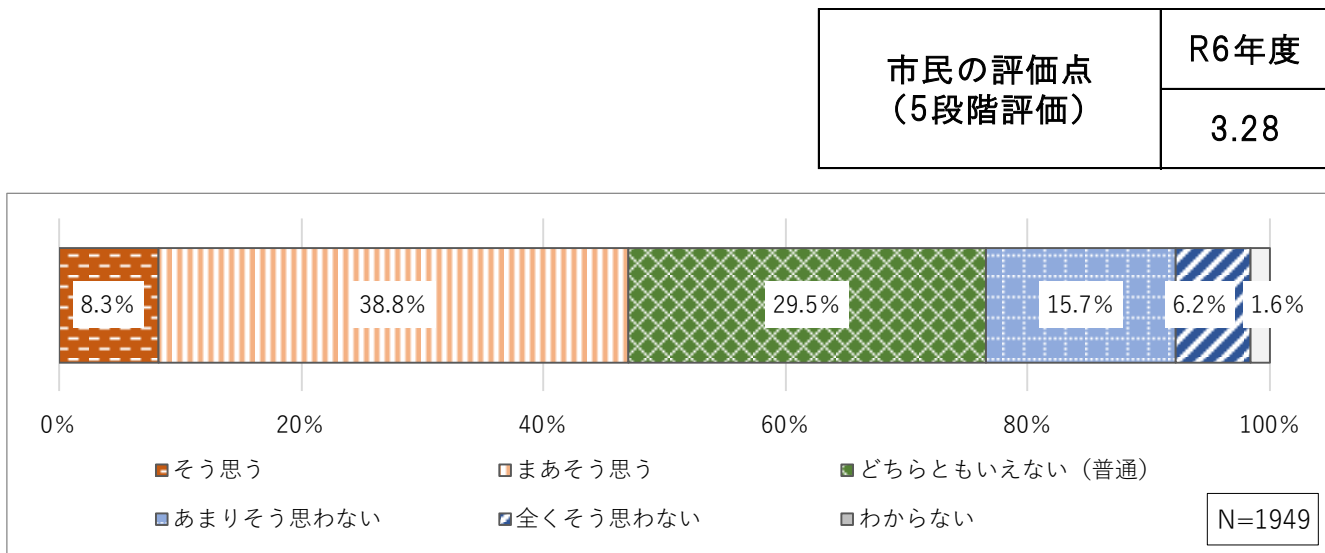
《その他の意見》

- ・介護で苦勞している人が多い。
- ・賃金が低く、健康に気を配る余裕がもてない。
- ・広い公園が少なくなっており、公園の遊具が古すぎて安心して子供を遊ばせられない。
- ・貧困層は健康的に過ごすのも困難になり得ると考える（通院なども費用がかかるので、なるべく避けるようになる）
- ・市の健康取り組みのイベントは参加しにくいものが多い。
- ・元気な方は、社会参加を自ら行っているが、虚弱な方にもなんらかの方法で集いなどに気軽に参加できる方法があればと思う。

■分析・考察

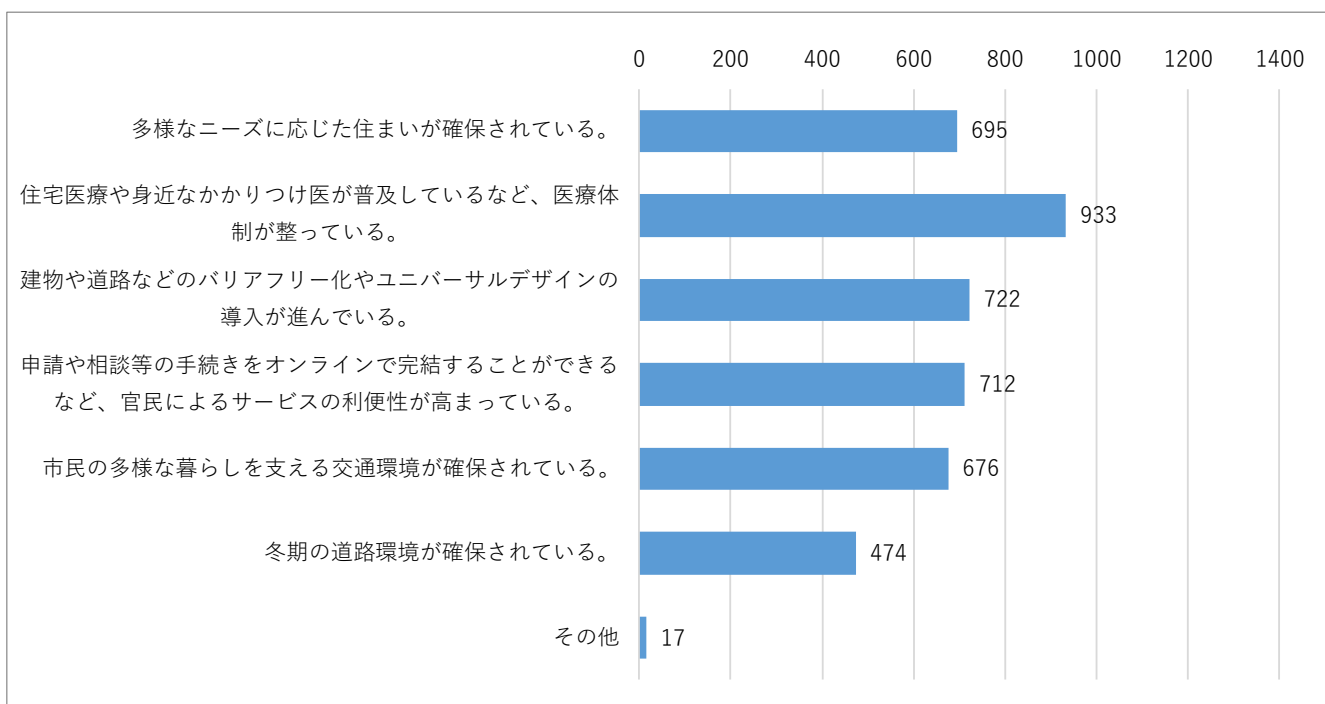
- ・実現度は 3.04 と全体平均より高い。
昨年度よりも評価点は 0.08 下がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別による回答の大きな差は見られないが、実現度は 16～19 歳からの評価が全体より高い傾向が見られた。
- ・○評価と×評価の差から、○評価が×評価を上回っており、市民や企業の健康への意識は高まっている傾向にあると見られる。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

■基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」の実現度



■回答の理由

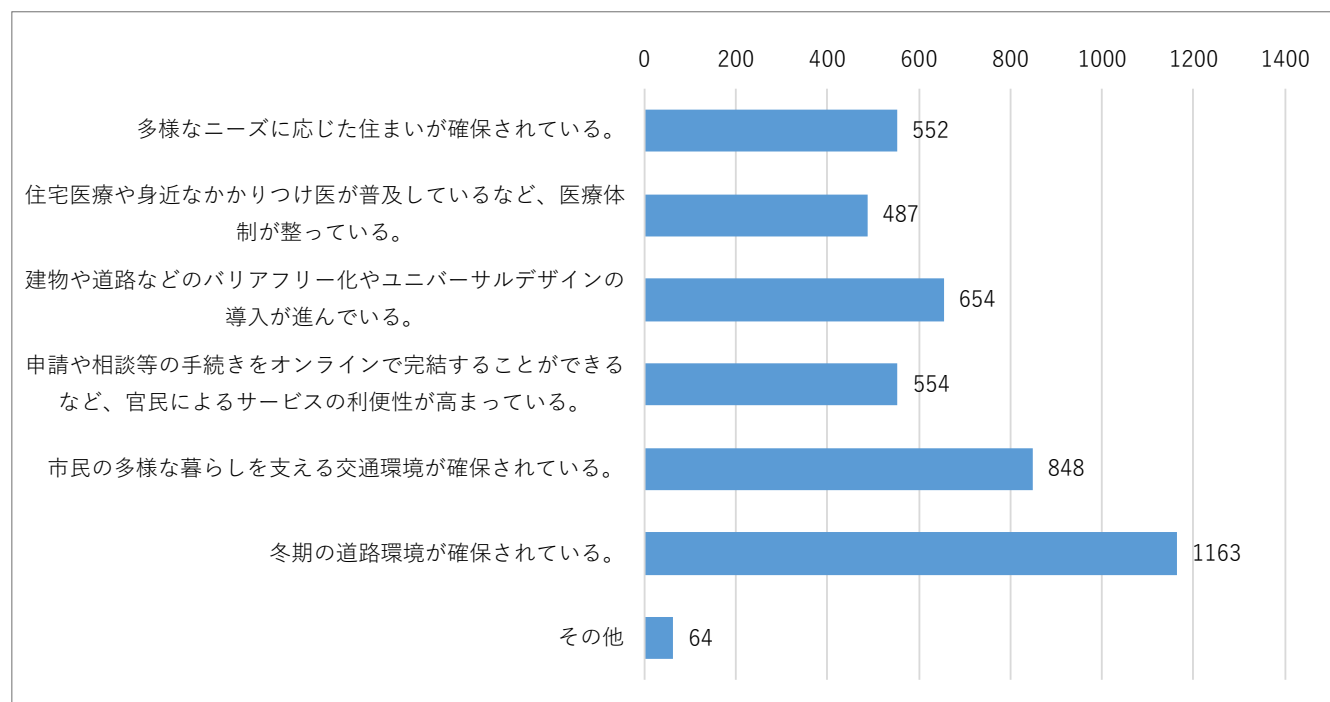
評価されていること(○評価) 計 4,229 件



《その他の意見》

- ・ 冬期の歩道の除雪がされている。
- ・ 公共交通機関の充実。
- ・ 生活に必要な物は揃っていて自然が良いから。
- ・ 除排雪への対応は、大変助かっておりレベルの高い対応が出来ていると感じる。
- ・ 駐輪場所や走行レーン確保など、自転車利用環境が整っている。
- ・ 冬期の夜間の除雪など、市民に配慮しインフラを整えてくれている。
- ・ 生活に必要な施設が近くにある。

課題となっていること(×評価) 計 4,322 件



《その他の意見》

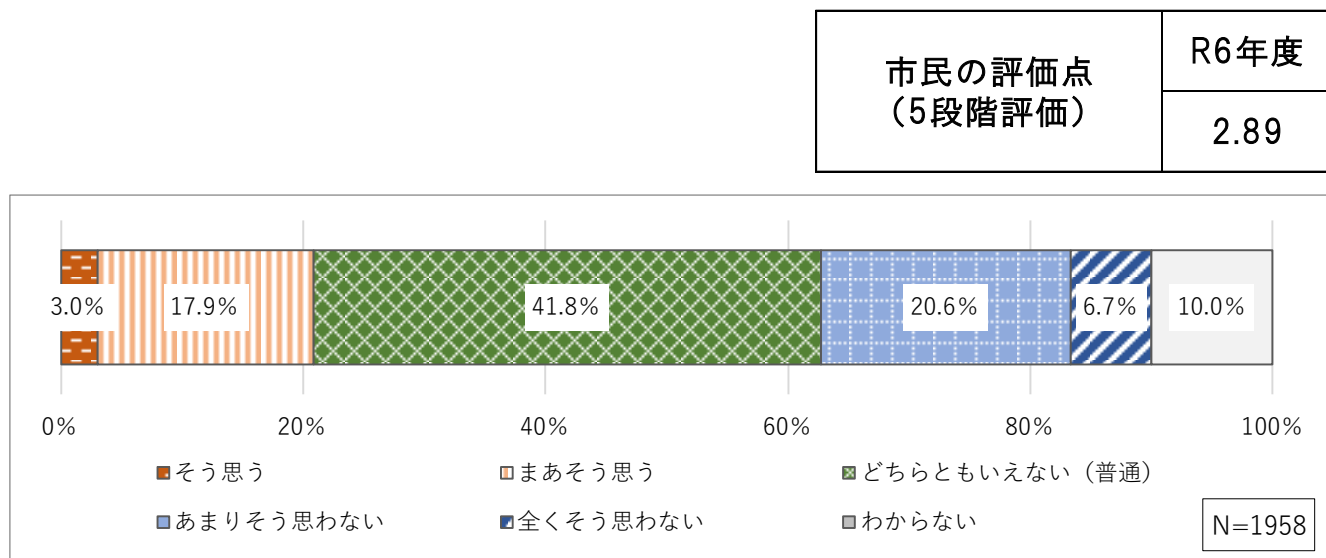
- ・ 冬期の除雪には非常に不満です。北海道だけでも国費の予算が前年度を対照にせず一定の費用を出してほしく思います。雪の事故が余りにも多すぎます。
- ・ 情報を得るのに大変です。在宅医療はどこで？バリアフリー化、車椅子、ベビーカーで通れない所がある。オンライン高齢者には難しい。バス便減少、タクシーはつかまらない、冬道は転び滑る。
- ・ 毎年除雪がひどくなっており、雪を置いていかれるのも曲がり角の家やきちんと自分たちで除雪している家に多く置かれていて、大変です。お金を払って業者に頼んでいる家も多いが、もう少しなんとかありませんか、体力的にも重い雪はきつい。
- ・ P Cやスマホなどが使用できない、または持っていない高齢者への対応が全くみえない。
- ・ スマホやP Cを持ち操作できる人には良いが、年齢や障害によっては取り残されていって人が増えたと感じる。
- ・ 複数人の子どもを育てる親として、休日や夜間の救急外来が少なすぎ、適切な医療が受けられなかったり、病院に行けず困ったことがあった。
- ・ 冬期間の豪雪都市として、対策が進んでいないため景観も悪く、道路デコボコ。電線の地中化も進んでいない。
- ・ 障害者、車イス、ベビーカーが使いにくい。自転車の通路（道路）の整備必要。車を優先しすぎている。バリアフリーが整備されておらず障害者が移動しにくい、一人で出来ない。

■分析・考察

- ・ 実現度は3.28と全体平均より高い。
昨年度よりも評価点は0.06下がった。
- ・ 実現度及び○×評価において、性別による回答の大きな差は見られないが、実現度は16～24歳からの評価が全体より高い傾向が見られた。
- ・ ○評価と×評価の差から、○評価としては、医療体制が整っているところが全体の割合の中でも高い傾向が見られ、×評価としては、冬期の道路環境に課題があると考えられる。
また昨年度と比べると「市民の多様な暮らしを～」において、○評価よりも×評価の割合が多くなったことから、昨年度よりも交通環境の確保に課題があると考えられる。

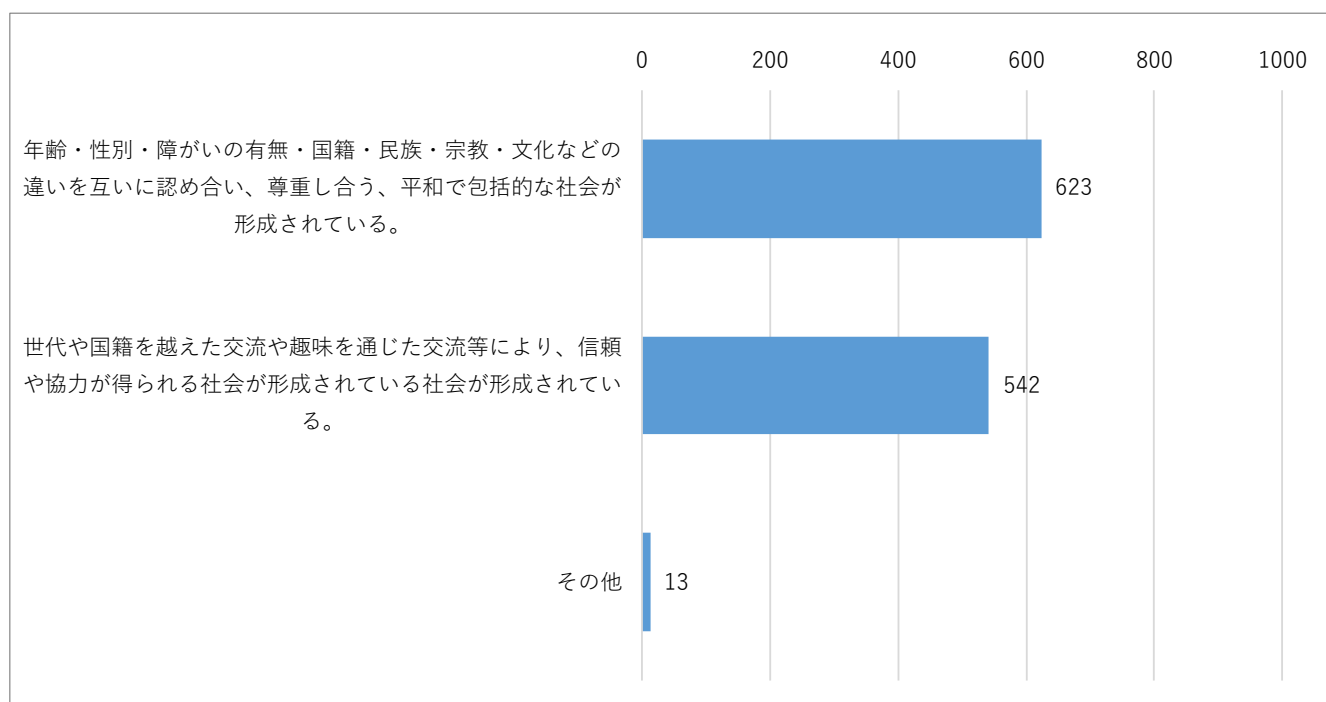
【3. 地域分野】

■基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」の実現度



■回答の理由

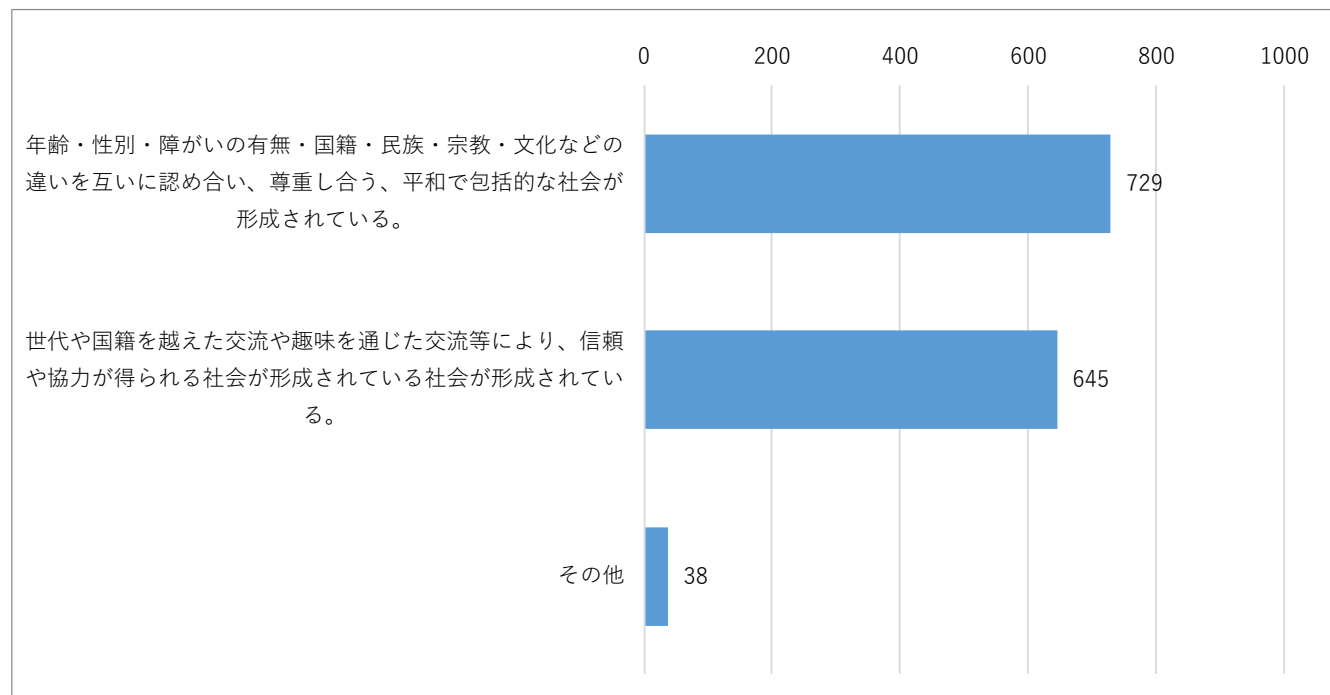
評価されていること(○評価) 計 1,178 件



《その他の意見》

- ・海外から来たと思われる方々が、普通にいるのはいいことだと思います。
- ・性別や国へのあからさまな差別を感じることもなく、外国人が集まることで治安が悪く感じる場所は今のところないと思う。
- ・様々な方々が、交流を支えている。

課題となっていること(×評価) 計 1,412 件



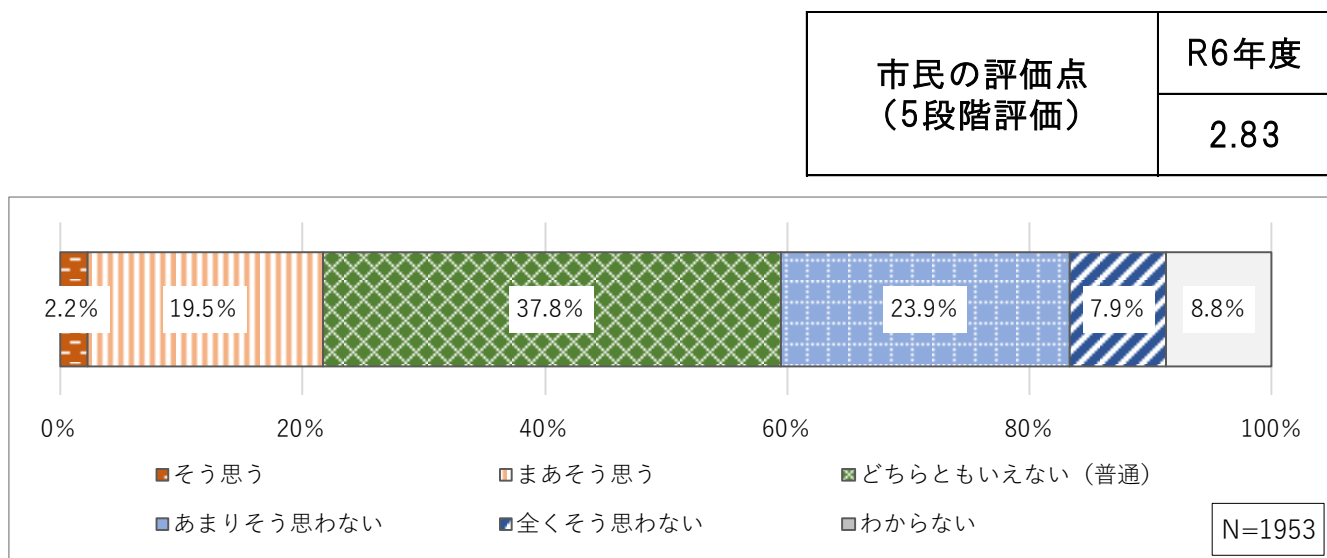
《その他の意見》

- ・コミュニティが少なく機会もない。働きに来ている外国人との交流も不明。
- ・色々な国の方とかやはり文化の違う方の交流が難しいと思う。受け入れきれていない。
- ・コミュニティに地域差があり、格差は否めない。
- ・町内会など高齢層が中心とした状況は変わらず、共働き世代は参加していない。さらに地域では各々の多様化が進み、地域（近隣）での付き合いは薄く、逆に多様化した繋がりの方では深い（濃い）繋がりを持っている事から、住居地周辺における環境交流改善には至っていない。
- ・LGBTQ を認め合う環境がない。
- ・障害者の保護、権利。
- ・外国人に土地が買われ、将来が心配である。

■分析・考察

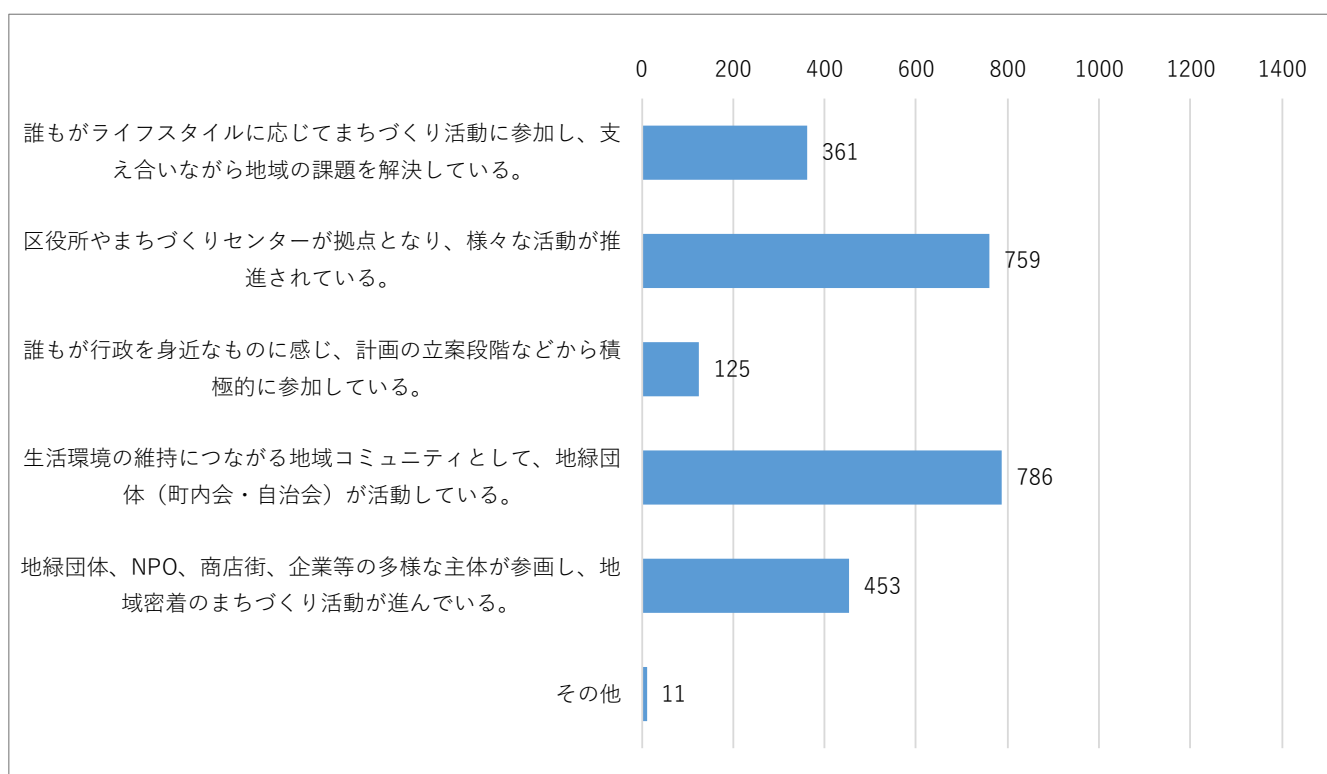
- ・実現度は 2.89 と全体平均より低い。
昨年度よりも評価点は 0.1 下がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○評価と×評価に大きな差はないが、多様性や障がいを持つ方との心のバリアフリー、また国際化が進むにつれての問題や不安などが課題になっていると考えられる。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

■基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」の実現度



■回答の理由

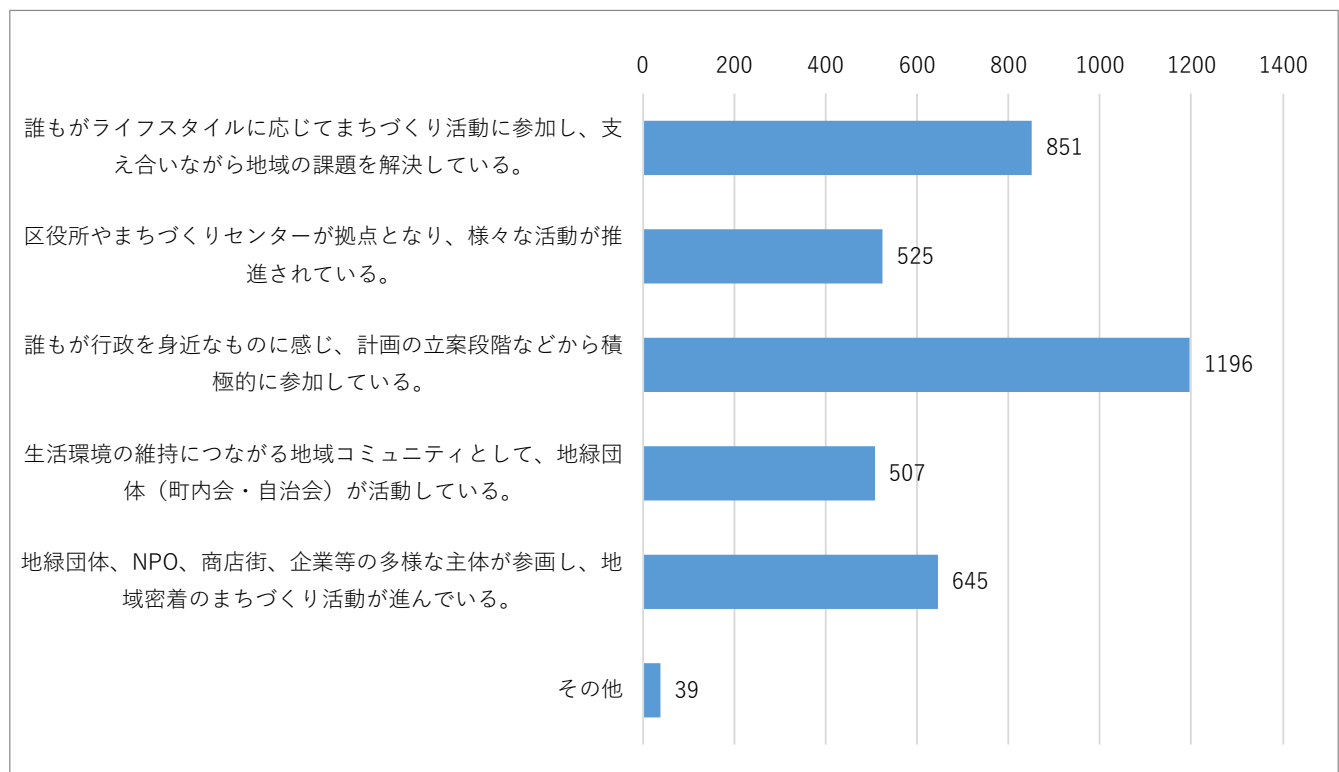
評価されていること(○評価) 計 2,495 件



《その他の意見》

- ・町内会は地域により差があり、元気な老人が居る町内は明るく活発。
- ・町内会の方地域の方々に色々な情報提供、集いへのお誘い良くやっています。
- ・商店街を中心として地域のつながりが育まれている。

課題となっていること(×評価) 計 3,763 件



《その他の意見》

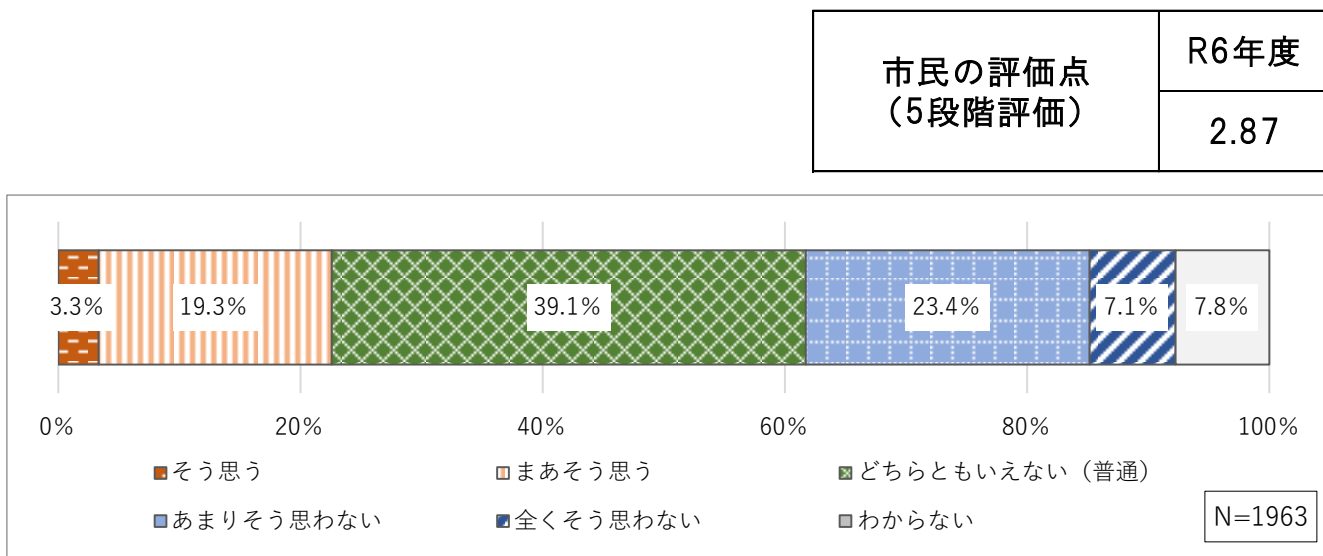
- ・町内会制度はすでに昔のもの（今の実態にそくしていない）と感じている。パートナーシップ除雪、ゴミステーションの管理、街路灯の管理など行政で行なう方向で進めていくべきである。役員のなり手不足も深刻で町内会制度への理解が得られず、入会者も減っており、不公平感も生じている。
- ・町内会の活動があるのかもしれないが、それどころではない生活スタイルが現状。
- ・様々な活動がされているのだろうが、一部にしか認知されていないのでは意味がないと思う。もっと市民全員に周知し参加しやすくするようにしてほしい。
- ・区役所なんて激混みすぎて行列できてから、並ぶ時間も待たされる時間もない働き世代は、行く気がおきないです。自分達の生活が困窮している家庭が他の人を認め合い支え合いながらできないです。できているのはごく一部の人達だけです。誰でも参加できる街づくり活動とは何なのか。
- ・町内会など、あったらありがたいが若者に負担がいくようになっている。働きかたが変化している昨今、町内会の仕事を負担に感じる。
- ・町内会活動の高齢化の解消。働き世代がどうやって町内会活動に参画できるかの検討。全市的な課題としての取り組みを。

■分析・考察

- ・実現度は2.89と全体平均より低い。
昨年度よりも評価点は0.02上がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○評価と×評価の差から、○評価として、町内会や自治会のような地域コミュニティや区役所、まちづくりセンター活動は評価されている一方、市民が市政に対して積極的に参加できていないという点に課題があると考えられる。
また昨年度と比べると「生活環境の維持に～」において、×評価よりも○評価の割合が多くなったことから、昨年度よりも地域団体の活動が評価されている。

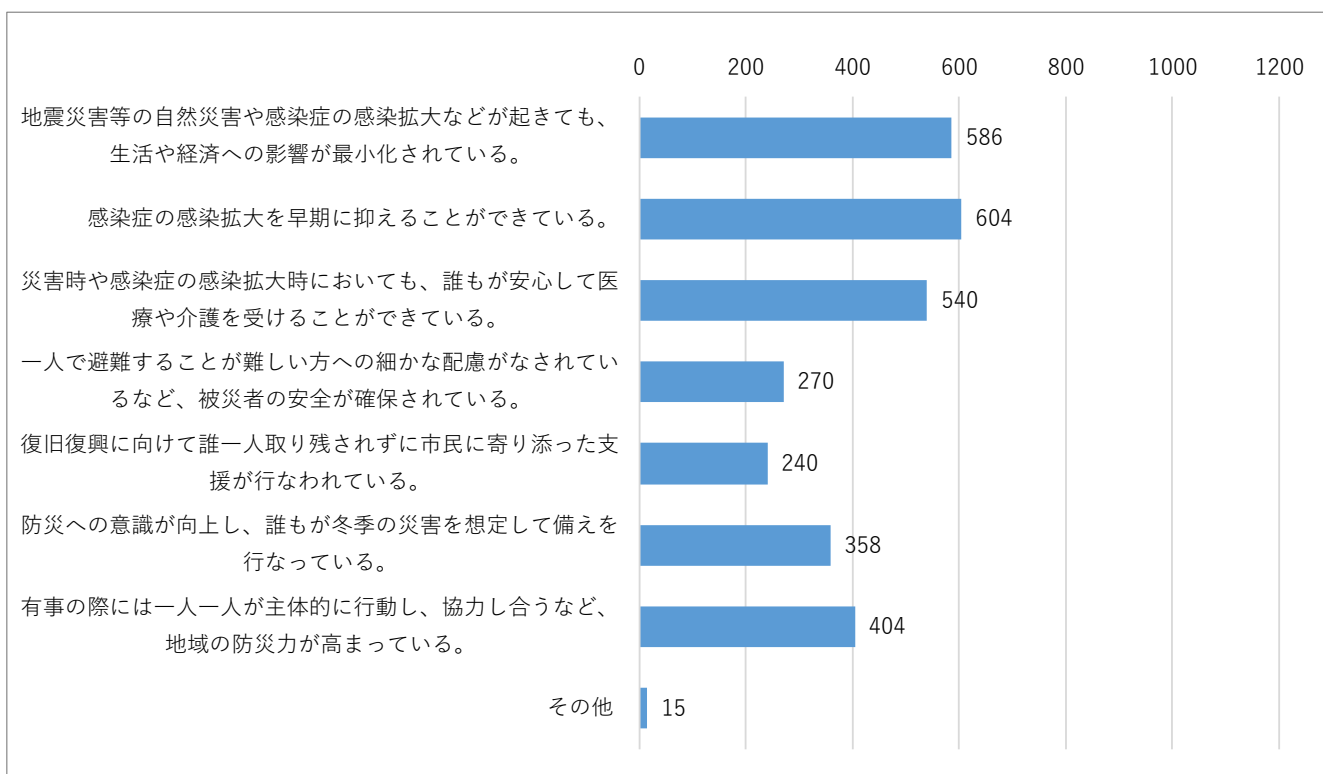
【4. 安全・安心分野】

■基本目標⑧「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」の実現度



■回答の理由

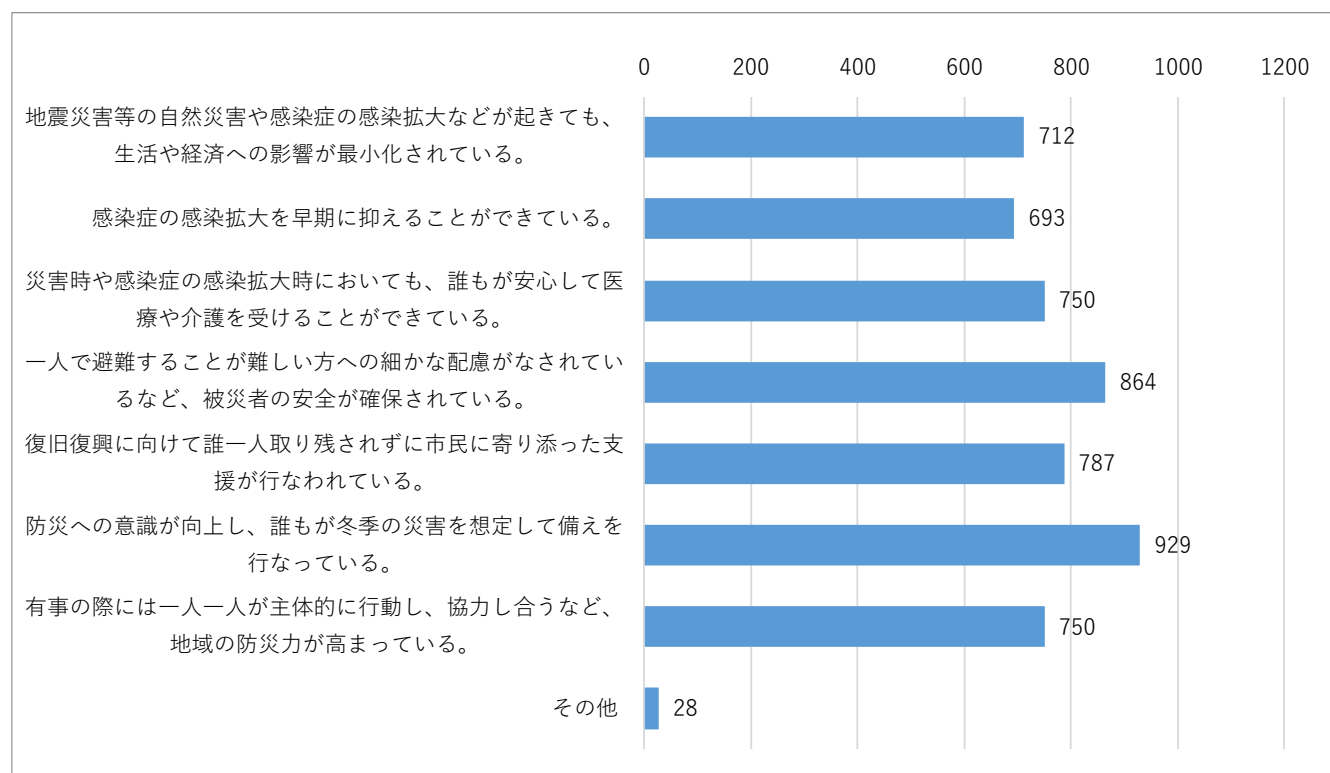
評価されていること(○評価) 計 3017 件



《その他の意見》

- ・ 一生懸命な取り組みが伝わってくるまち。
- ・ 2018 年の大地震があったことから備えがされていると思う。
- ・ 停電発生時でも断水が最小限となる体制、有事の際にも柔軟な対応ができるような危機管理体制を行っている。
- ・ 公的機関における有事の対応に対しての検討がなされている
- ・ コロナの療養キットが素晴らしい。

課題となっていること(×評価) 計 5513 件



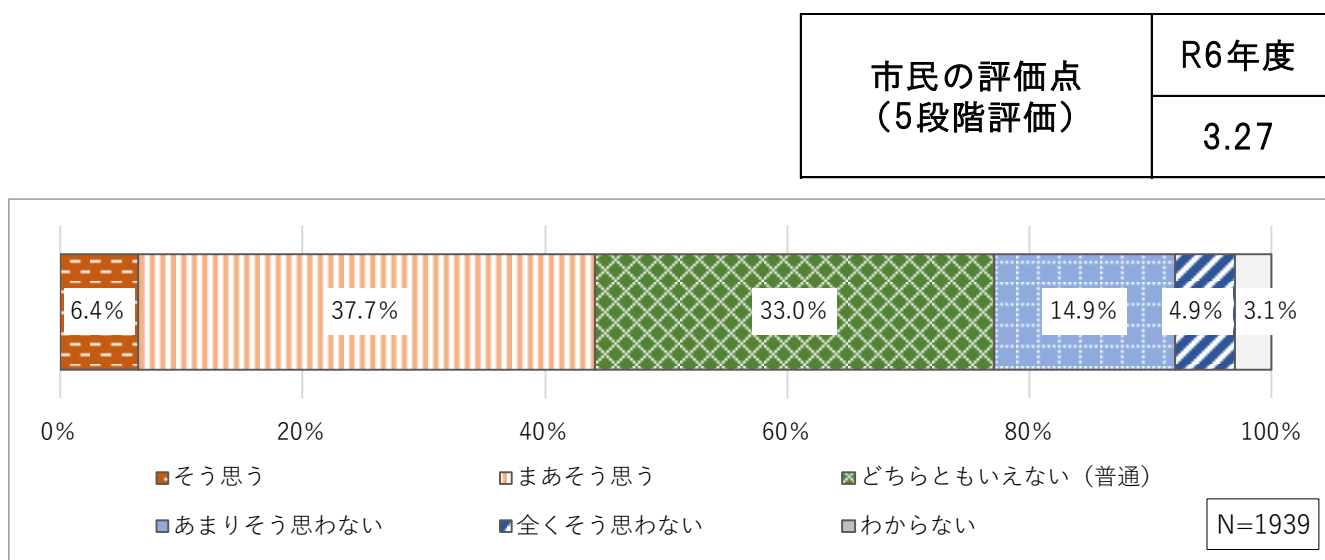
《その他の意見》

- ・人口が多い都市だからこそ、災害、感染症について理解、興味を市民に持たせないといけない。
- ・ハザードマップが配られているのみで、具体的情報が少ない。
- ・感染症の病院対応はひどかった。熱があるだけで受診拒否とか医療機関とは思った。
- ・厳冬期に災害が発生した場合の対応策に対する検討や具体的準備が、足りていないと感じる。
- ・災害時や感染症の感染拡大時ではない今でさえ、医療機関がパンクしている。子供が発熱した際、かかりつけの子供の小児科も休業しており、さらに近所の病院も予約すらできなかった。
- ・災害対策については、防災マップ等配布されてる位しか知らず、何か災害が起きた際に、受け入れるサービス等について情報は伝わってきてない。
- ・会社では災害時対応をしてくれているが、地域単位は特に何か感じた事はない。

■分析・考察

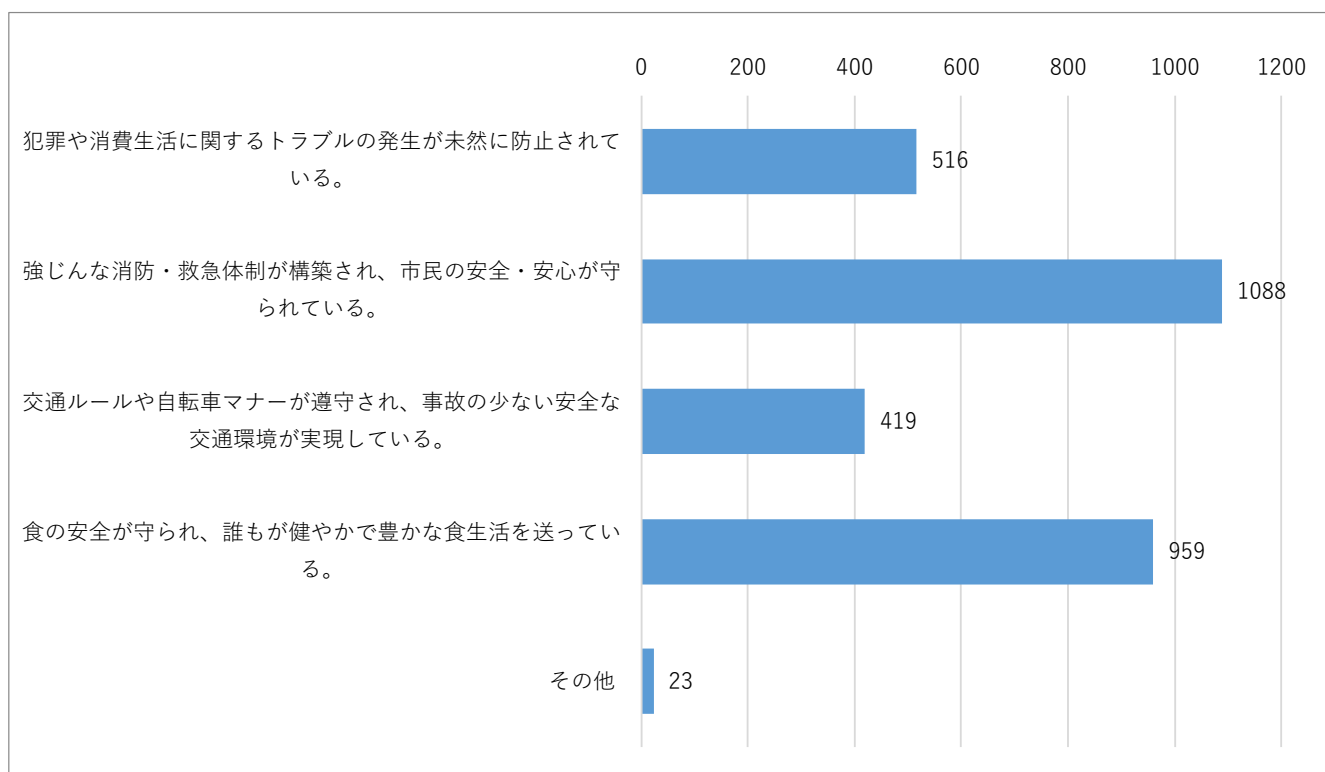
- ・実現度は 2.87 と全体平均より低い。
昨年度よりも評価点は 0.07 下がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○評価と×評価の差から、×評価が○評価を上回っており、コロナの影響もあると思われるが、すべての項目において×評価が○評価を上回っており、全体的に防災、復興に関する課題があり、特に市民の冬季災害への備えが必要と考える。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

■基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」の実現度



■回答の理由

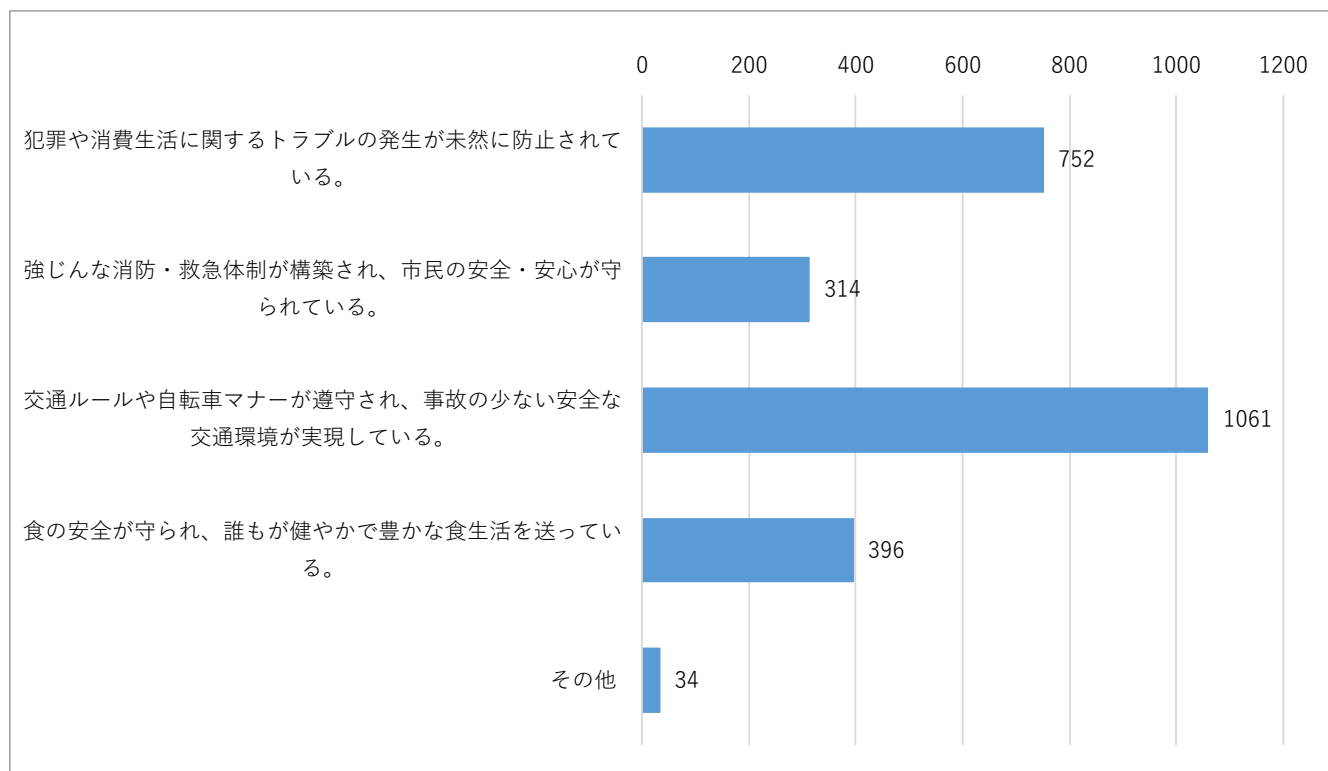
評価されていること(○評価) 計 3,005 件



《その他の意見》

- ・日本人の道徳と警察組織は、機能していると思う。
- ・救急隊員の方々は昼夜問わず一生懸命だと思います。実際、続けて二度お世話になり（親）迅速に駆けつけてくださいました。
- ・繁華街の治安がある程度保たれている。（例：トー横キッズのような集団が多くない、キャッチがしつこくない）
- ・「ほくとポリス」アプリで犯罪の発生状況などを確認することができる。
- ・町内会やPTAによる小中学生の見守り、交通安全指導がされている。

課題となっていること(×評価) 計 2,557 件



《その他の意見》

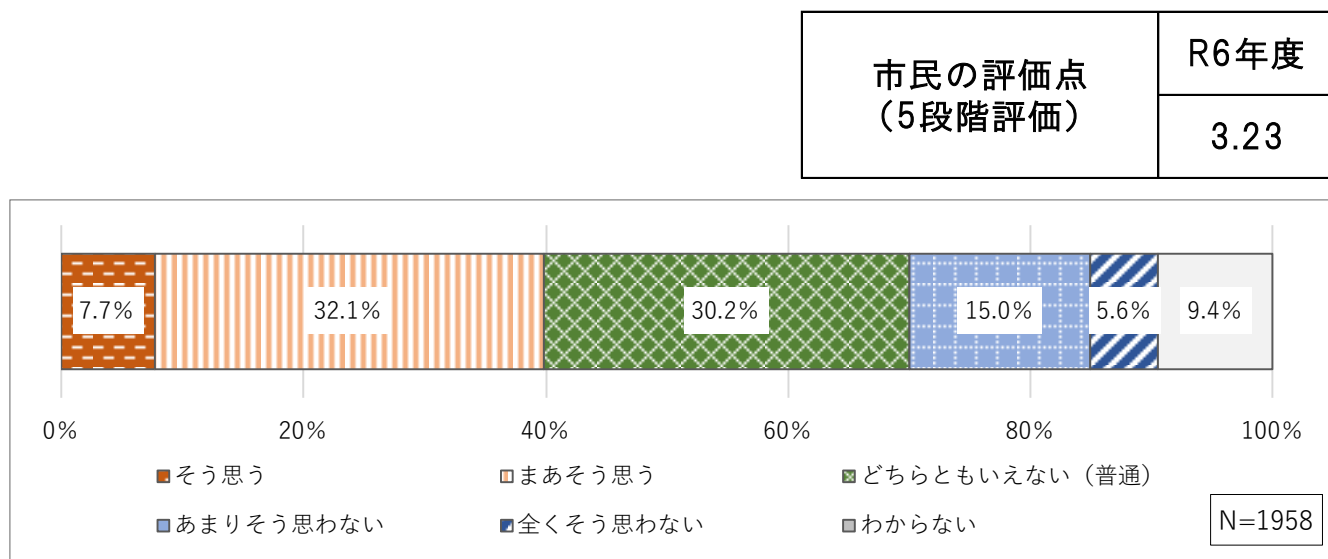
- ・最近では交通事故が多発しており、夏にかけ交通量も自転車も多くなる。あと、路傍の自転車スペースが完全整備されていない。
- ・盗難や殺人、熊など安全な状態が保たれているとは思えない。
- ・物価が高く野菜など欲しい商品を購入出来ず、栄養に配慮した料理を作れないため健やかに過ごせない。
- ・札幌市内の交通マナーや自転車のマナーが悪すぎる。特に路上駐車が多すぎる。横断歩道や停止線目の前の路上駐車を平気でしており、その結果事故を誘発するケースを何度も目にしている。
- ・物価高により、そもそも入手することが大変になってきている現状。
- ・街灯の少なく薄暗いところが多い、横断歩道が少ない。
- ・自動車運転者だけでなく、自転車や歩行者のマナーの悪さが多く目につくこの頃だと感じています。
- ・夜間の交通量が多く、違法駐車、停車が多い。
- ・命が脅かされる事件が増えているように感じます。気軽に買い物にいけない方も多いと感じており、救急体制も強靱とは言えない、タライ回しが多い。実際に事件が起きてから報告では意味が無いと思う。

■分析・考察

- ・実現度は3.27と全体平均より高い。
昨年度よりも評価点は0.07下がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○評価と×評価の差から、○評価として、消防、救急体制や食の安全に関しては評価されている一方、×評価として、交通ルールや自転車マナー等、交通安全に関すること、また野生動物の対策についての課題があると考えられる。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

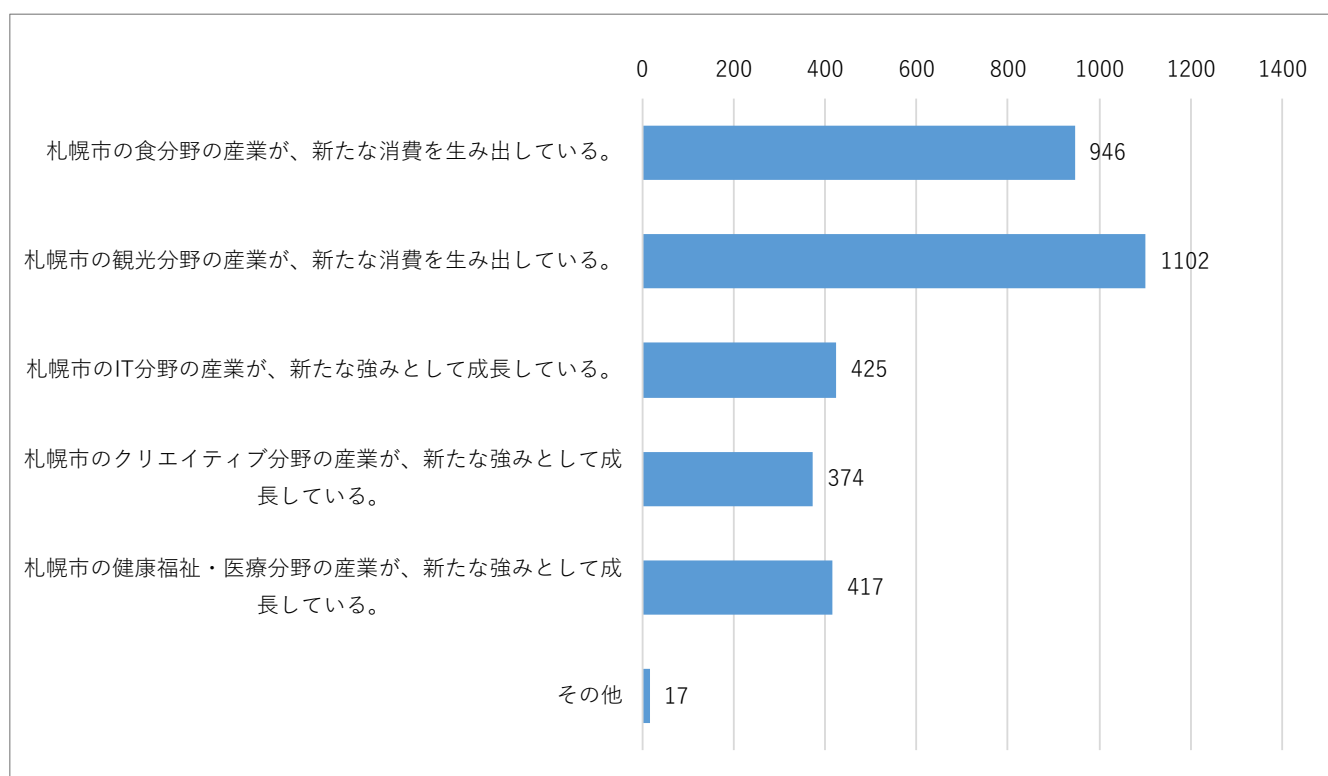
【5. 経済分野】

■基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」の実現度



■回答の理由

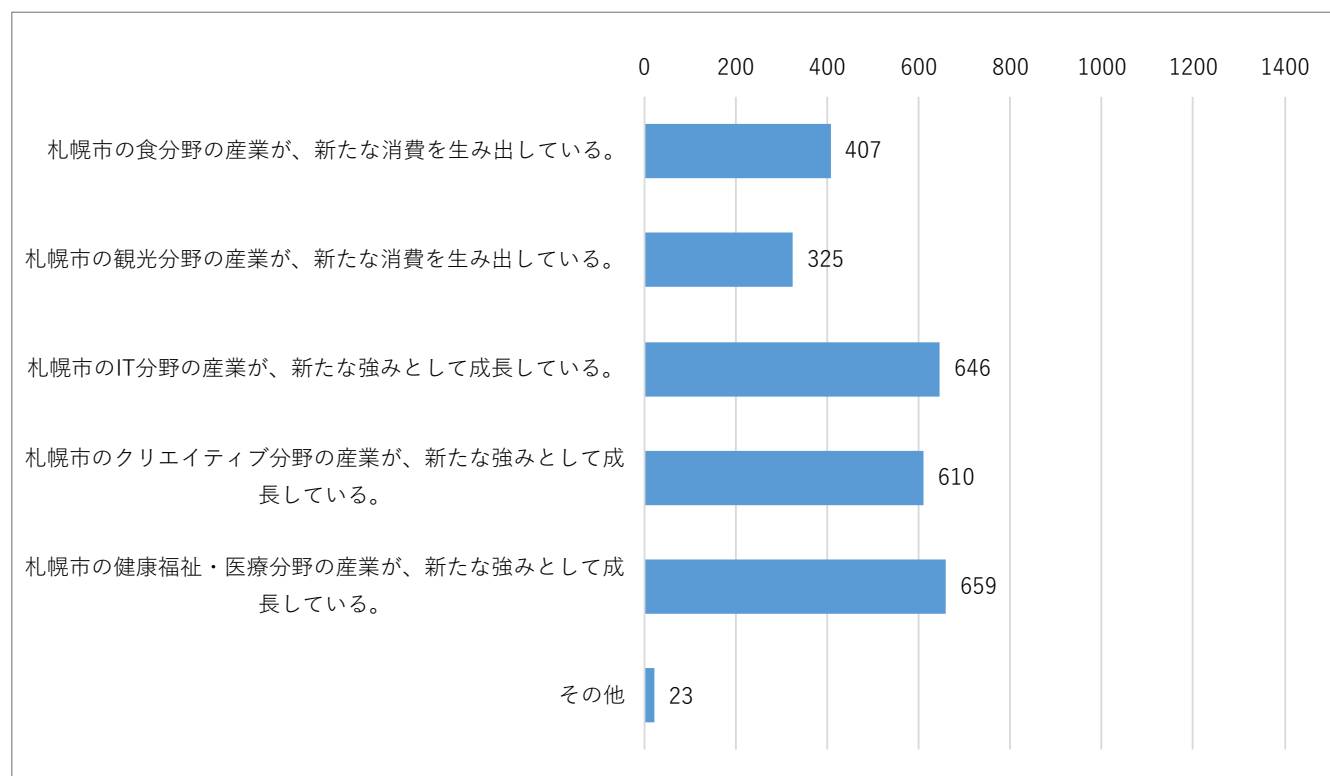
評価されていること（○評価） 計 3,281 件



《その他の意見》

- ・研究者たちが、産学で力を合わせている。
- ・本州都市圏へのアクセスの良さと土地の広さ・安さ、高い教育水準の人材を併せ持つ強みにより企業活動が成長している。
- ・札幌の農産物、スイーツが売れており、IT関係の会社も増えている。
- ・街並みのきれいさ、ゴミのない街は本当に誇れる都市だと思う。

課題となっていること(×評価) 計 2,670 件



《その他の意見》

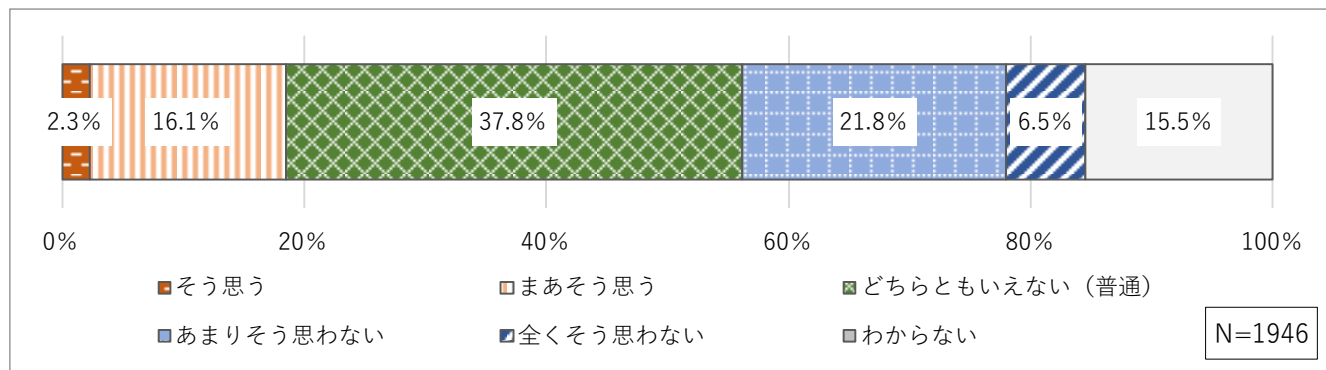
- ・観光産業のみで、日本経済全体的に5%を超えていない。
- ・一次産業が弱体化している。
- ・食の安全に関しては購入元のスーパーが中国産中心の販売でしかない。道産品はその加工も中国では安全確保に懸念が多すぎる。行政は無関心なのかという感じが強く建前優先で行動が見えない。
- ・札幌の強みといえる産業は恐らくない。例えば食文化をとっても、札幌産の野菜ではなく道内の他都市の野菜がスーパーに並ぶことの方が多い。かといってITに特化して強いわけでもなく、事実として千歳や苫小牧にラピダスやソフトバンクの拠点ができています。インバウンドに注力をして経済を回そうと躍起になっているが、インバウンドで儲かるのは飲食店やホテルなどのサービス業であり、市民生活に直結して恩恵を受ける機会はありません。むしろ、市民が利用しづらくなっていることの方が多い。
- ・低収入世帯を生み出し、負の循環を作っている。熊本のように半導体で地域活性をしてほしい。
- ・人口が減少する中、若い人たちの就業場所を幅広く確保するために、工業団地、IT集積地の整備や企業の誘致等を推進して、産学官の連携の強化を通じて製造分野における新たな産業の育成を図る。
- ・札幌市に於いては観光以外に強みを活かした産業等はあるのか、勉強不足なのかもしれませんが、成長している産業が思い当たらない。

■分析・考察

- ・実現度は3.23と全体平均より高い。
昨年度よりも評価点は0.06下がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別による回答の大きな差は見られないが、実現度は16～24歳からの評価が全体より高い傾向が見られた。
- ・○評価と×評価の差から、食と観光分野の産業は評価されている一方、これからの成長産業であるIT、クリエイティブ、医療分野の産業振興が今後の課題と考えられる。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

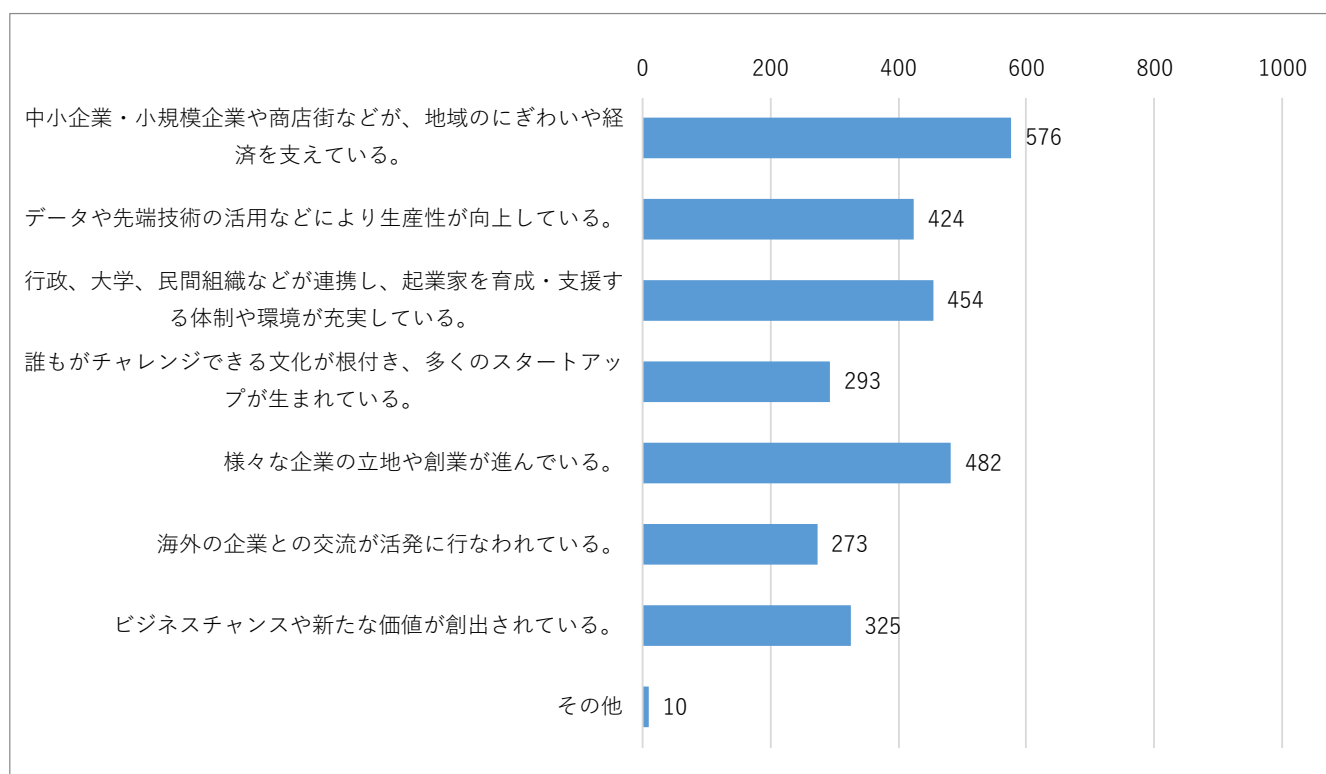
■基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」
の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R6年度
	2.83



■回答の理由

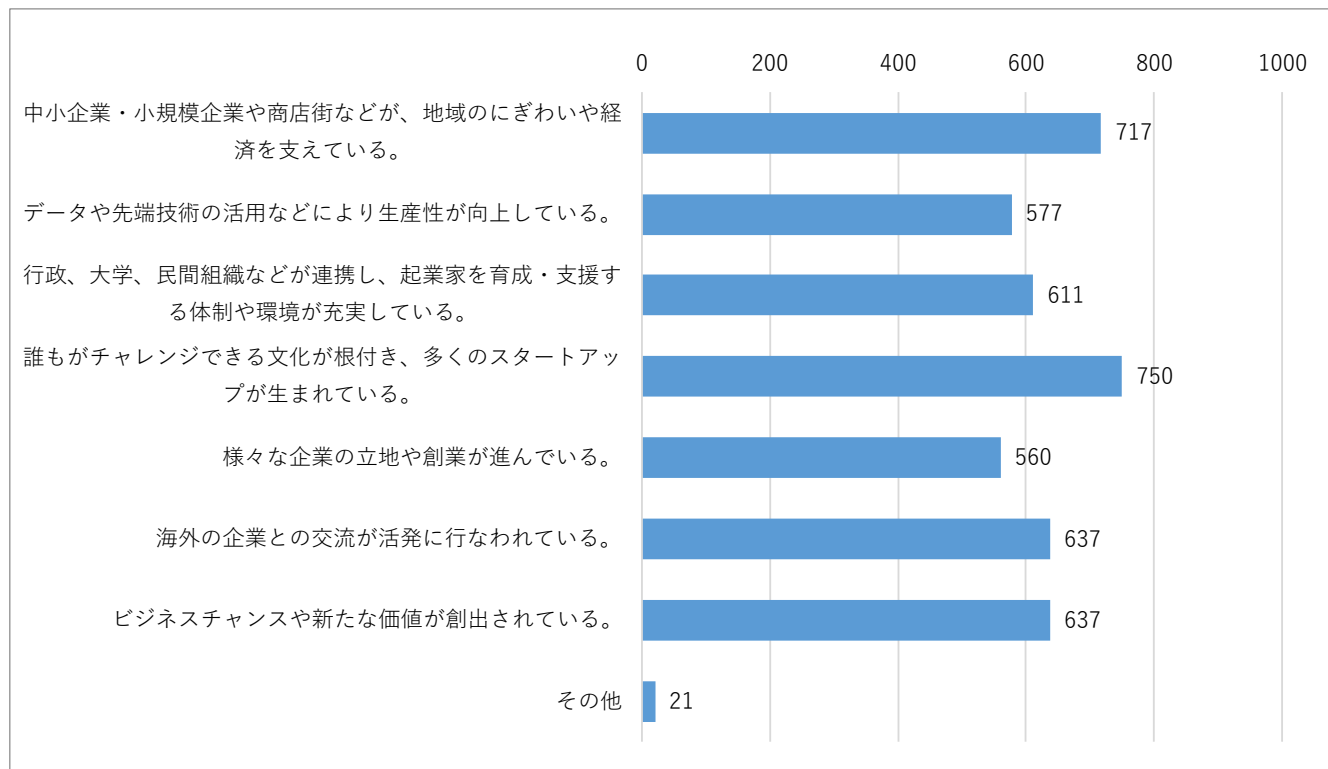
評価されていること(○評価) 計 2,837 件



《その他の意見》

- ・道内他都市と比較すると、相対的に環境に恵まれていると思う。
- ・色々と施策は出されている部分もあるが、新しいチャレンジを後押しする支援があっていい。

課題となっていること(×評価) 計 4,510 件



《その他の意見》

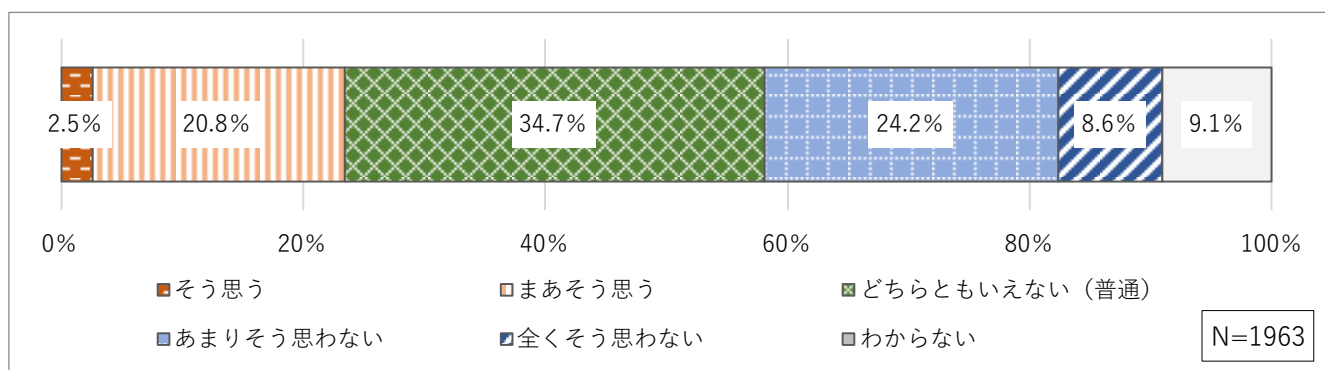
- ・あまりにもビジネスチャンスを失っていると思います。根本的に初動対応やビジネスの進行の仕方が下手で仕事も遅い。
- ・行政の目指すべき姿と、市民が感じる現状のギャップが大きい。
- ・札幌市内で創業したくとも立地条件などの規制により、地代は高く建設費も高い。資本力がある所は良いが、ミニマムな地域密着型の企業はリスクも大きくスタートしにくい状況。
- ・様々な企業が、災害から逃れるため、広い土地を求めて北海道に来ている。IT 関係や会社の一部を、札幌に移転する会社も多い。ただ、スタートアップが、多いかわからない。もっと若い人がチャレンジングできる、公的な札幌市としてのバックアップがあったほうがいいんじゃないか。

■分析・考察

- ・実現度は 2.83 と全体平均より低い。
- ・昨年度よりも評価点は 0.06 下がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・すべての項目において×評価が○評価を上回っており、特にスタートアップや、海外企業との交流に課題があると考えられる。
- ・また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

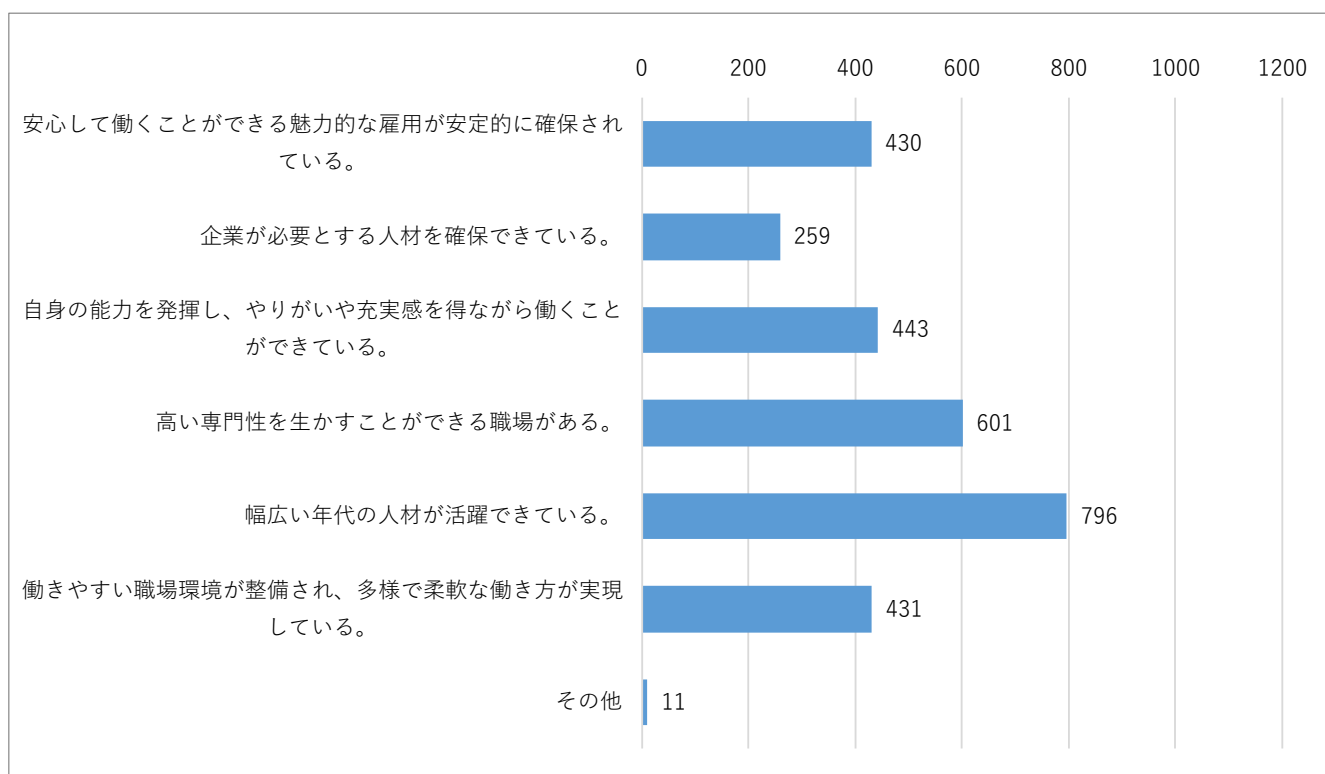
■基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R6年度
	2.83



■回答の理由

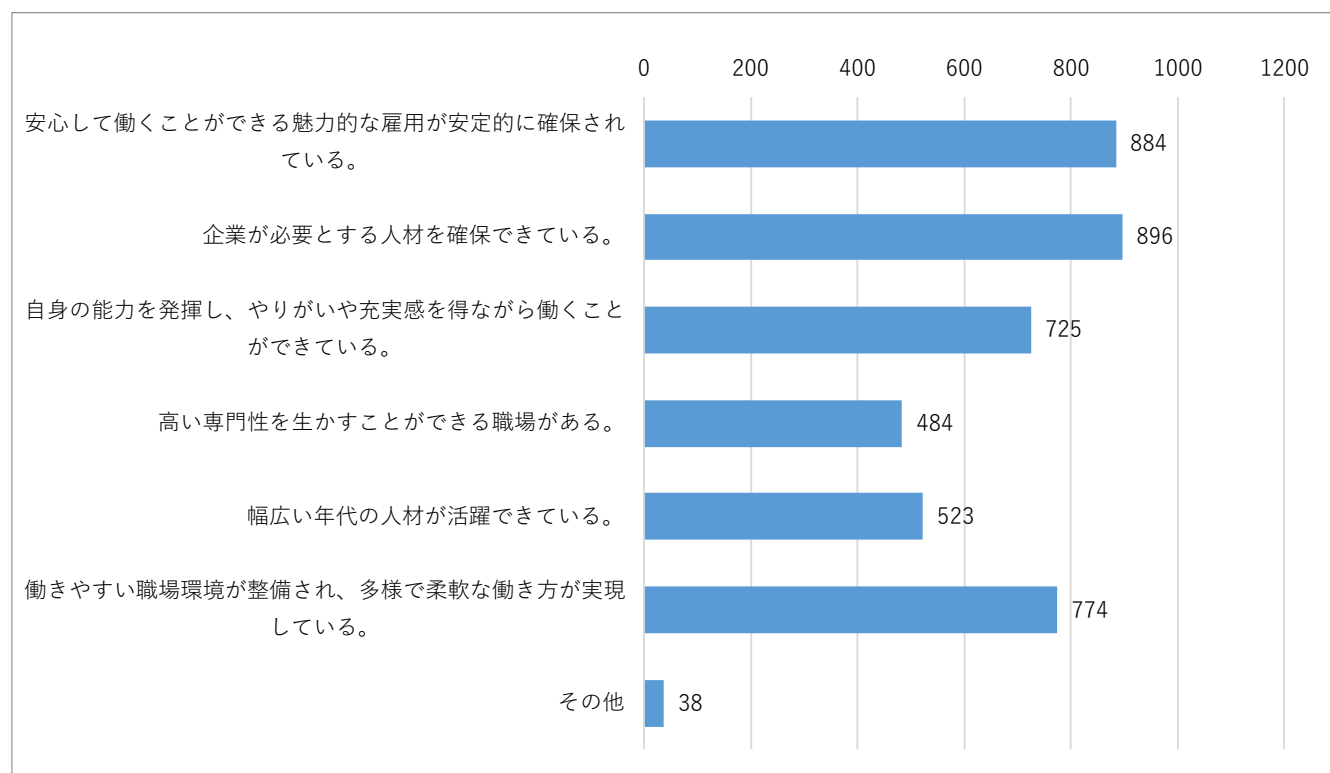
評価されていること(○評価) 計 2,971 件



《その他の意見》

- ・働く場所はある。
- ・北海道の他の市町村に比べれば、札幌はまだマシだと思う。

課題となっていること(×評価) 計 4,324 件



《その他の意見》

- ・現在の日本の情勢において雇用の面で安定した動きが見られてなく、札幌市だけ安定させるということも難しいと考えられる。
- ・東京と比較して企業数が少なく、賃金も低い。
- ・障害者雇用の職場はほとんど最低賃金で、生活ができないレベルなので、生活保護の方が良いのでは？と思う求人ばかりです。
- ・経済的に弱い立場の人を多く生み出さない仕組みづくり、雇用の仕組みの形成を本当に望みます。
- ・札幌はかつては企業の出先消費都市が原点、未だにその中での需要が中心であろう。中心部再開発といってもオフィス床面積優先と付随の商業施設だけの箱ものばかり。
- ・企業が必要とする人材は全く確保できていない。人材は高給な仕事に片寄っている。最低賃金での募集が多いが、生活できないので最低賃金には応募が来ない。
- ・雇用条件や職場環境が不十分であると感じる例が多々ある。
- ・自分の多様性をいかせて働けていると実感している人は少ないのではないかな。

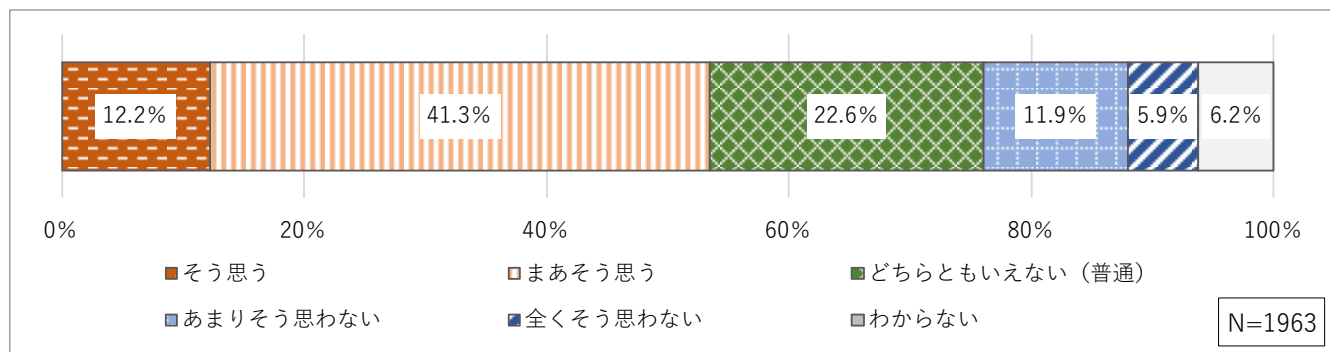
■分析・考察

- ・実現度は 2.83 と全体平均より低い。
昨年度よりも評価点は 0.01 下がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○評価と×評価の差から、○評価としては、幅広い年代の人材が活躍できていることと、高い専門性を生かすことができる職場があるという点は評価されている一方、×評価として、安定的な雇用の確保、企業が必要とする人材の確保、職場環境に関する課題があると考えられる。
×評価の高い項目において 30～85 歳以上の×評価が○評価よりも 20 ポイント以上高い傾向が見られる。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

【6. スポーツ・文化分野】

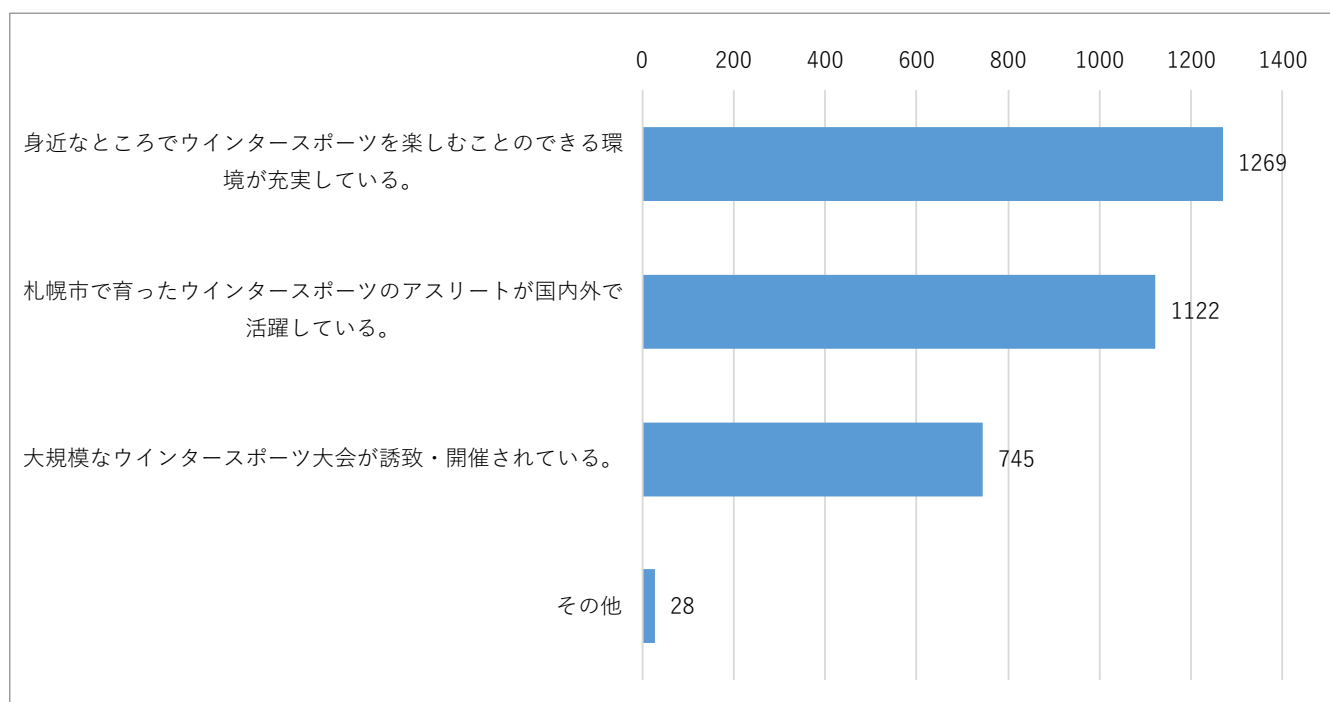
■基本目標⑬「世界屈指のウィンタースポーツシティ」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R6年度
	3.45



■回答の理由

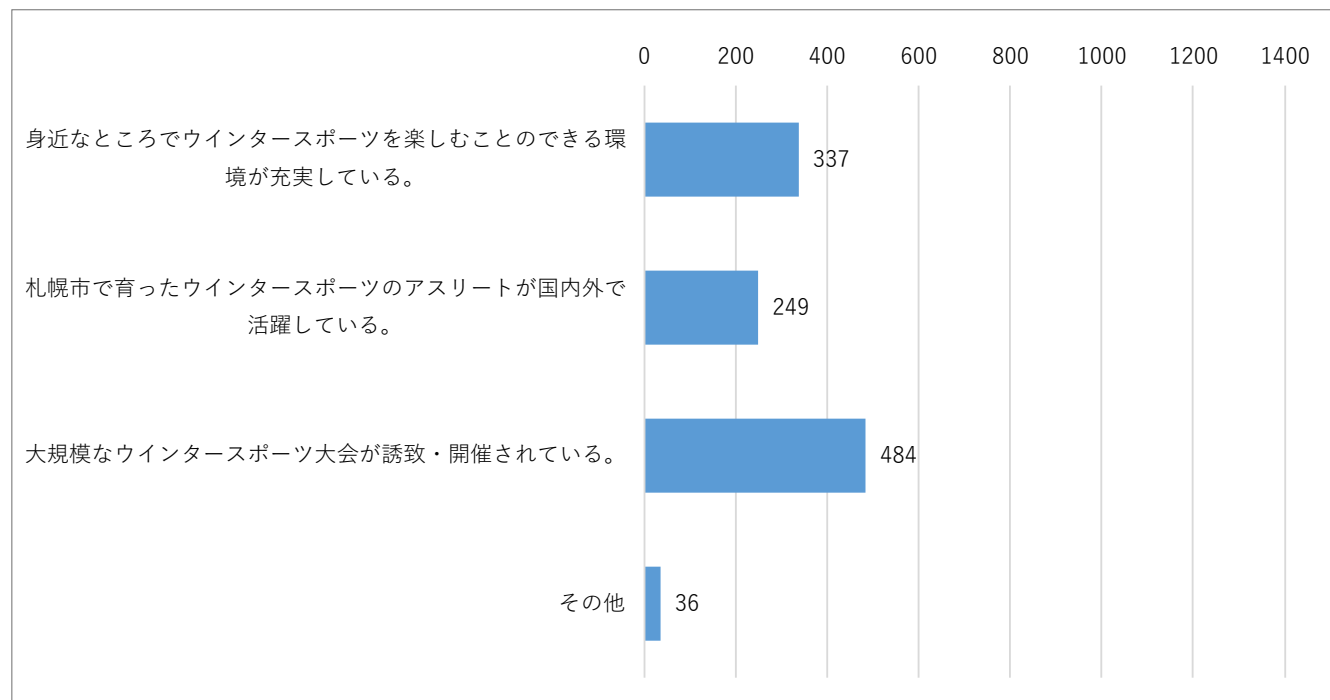
評価されていること(○評価) 計 3,164 件



《その他の意見》

- ・雪が降りますし、札幌五輪のレガシーがある。
- ・雪質が素晴らしく、山のスポーツ（スキーなど）に適している。
- ・ウィンタースポーツを小さい頃から体験できている。
- ・小学生を対象にした札幌市主催のウィンタースポーツ塾があり、今まで体験したことのないスポーツができて良い。
- ・他の政令指定都市に比べ、ウィンタースポーツの拠点が充実している。
- ・オリンピック等の世界規模の大会で、札幌市出身の選手が活躍している姿を見ることができる。

課題となっていること(×評価) 計 1,106 件



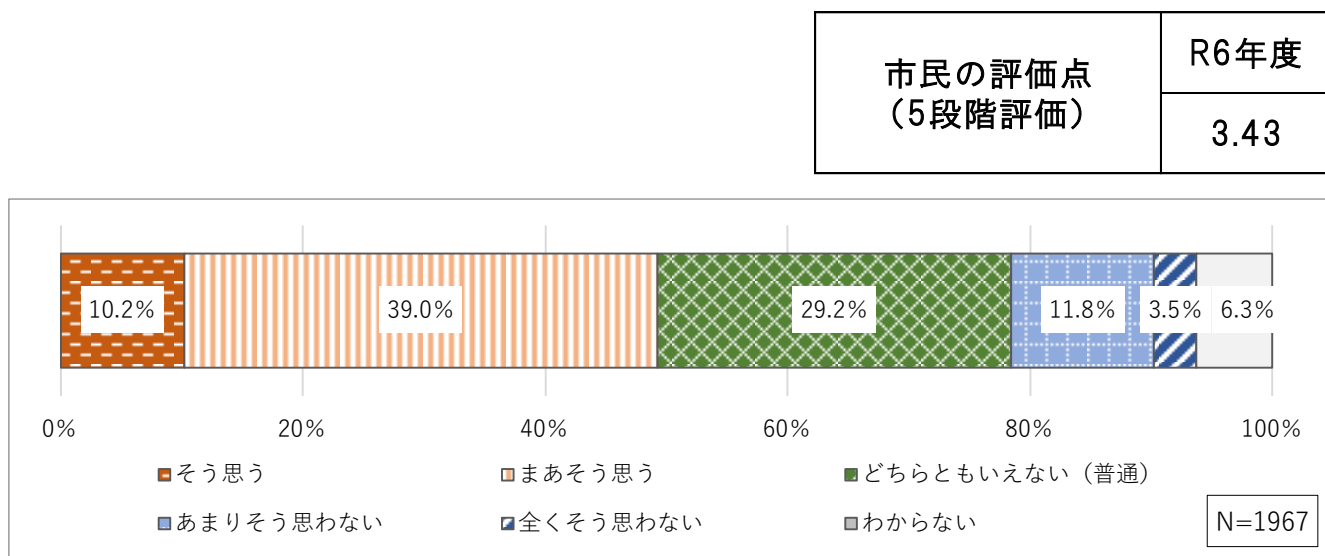
《その他の意見》

- ・札幌オリンピック誘致には反対です。
- ・地方のスキーやウィンタースポーツの紹介広告が多いが、札幌市のは無くバラバラな情報になっているので利用しにくい。
- ・ウィンタースポーツできるスキー場が高くなりすぎていて、道民割など道内の人が楽しみやすくしてほしい。
- ・町中で手軽にウィンタースポーツが出来る施設があまりなく、雪まつりで開催されていたチューブ滑りやスケートが、ここ最近なくなっているのが気になる。
- ・冬季五輪誘致失敗の背景に、市民のスポーツ施設への投資に対する厳しい見方があり、今後の施設更新に不安が残るため。
- ・ニセコに比べるとウィンタースポーツの海外の利用が少ないと思う。
- ・ウィンタースポーツで一番に思いつくのがスキーやスノーボードですが、スキー場は以前に比べてスキー人口が減っていると聞きます。 雪不足も耳にする時代ですね。

■分析・考察

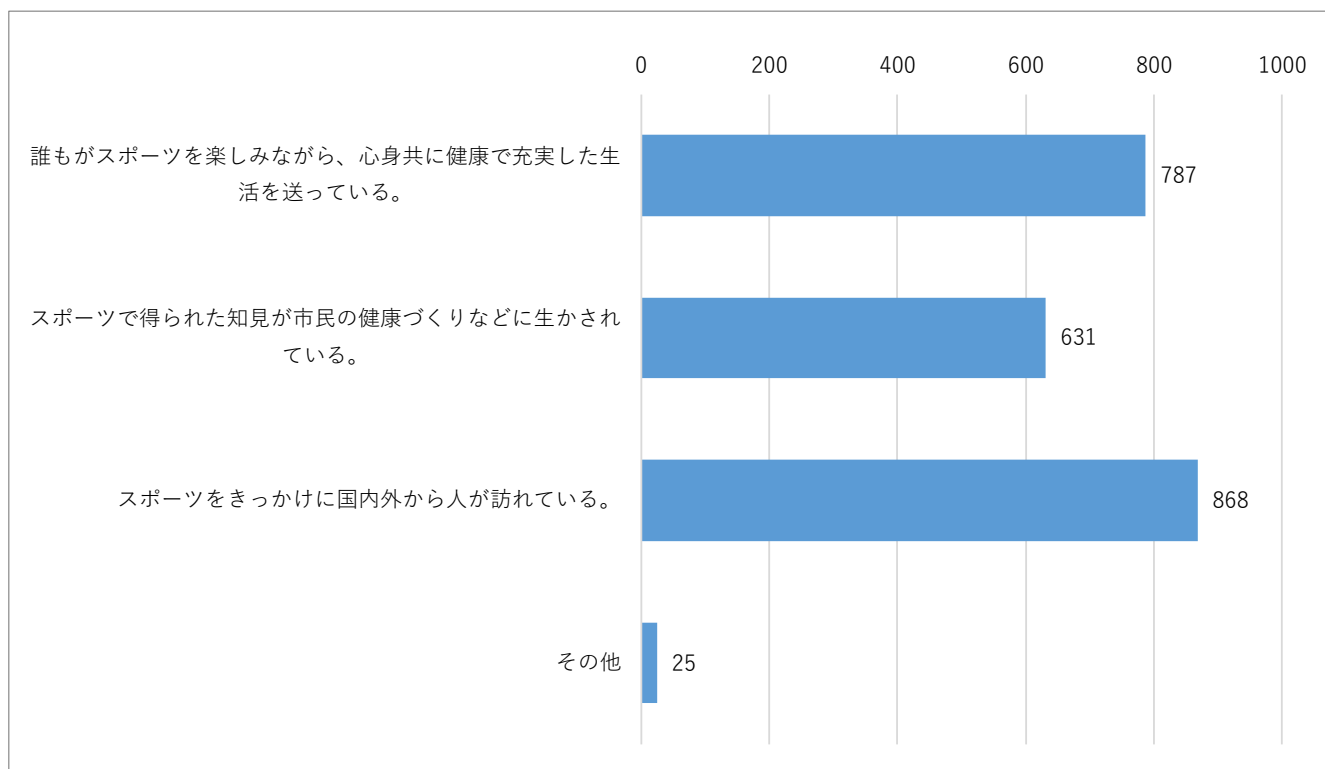
- ・実現度は 3.45 と全体平均より高い。
昨年度よりも評価点は 0.18 下がった。
- ・実現度においては、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○×評価においては、全ての項目において○評価が×評価を大きく上回っており、オリンピックの誘致に関する反対の意見はあるものの、札幌市の強みとしてウィンタースポーツの環境が充実していることや、札幌市で育ったアスリートの活躍が特に評価されている。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

■基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」の実現度



■回答の理由

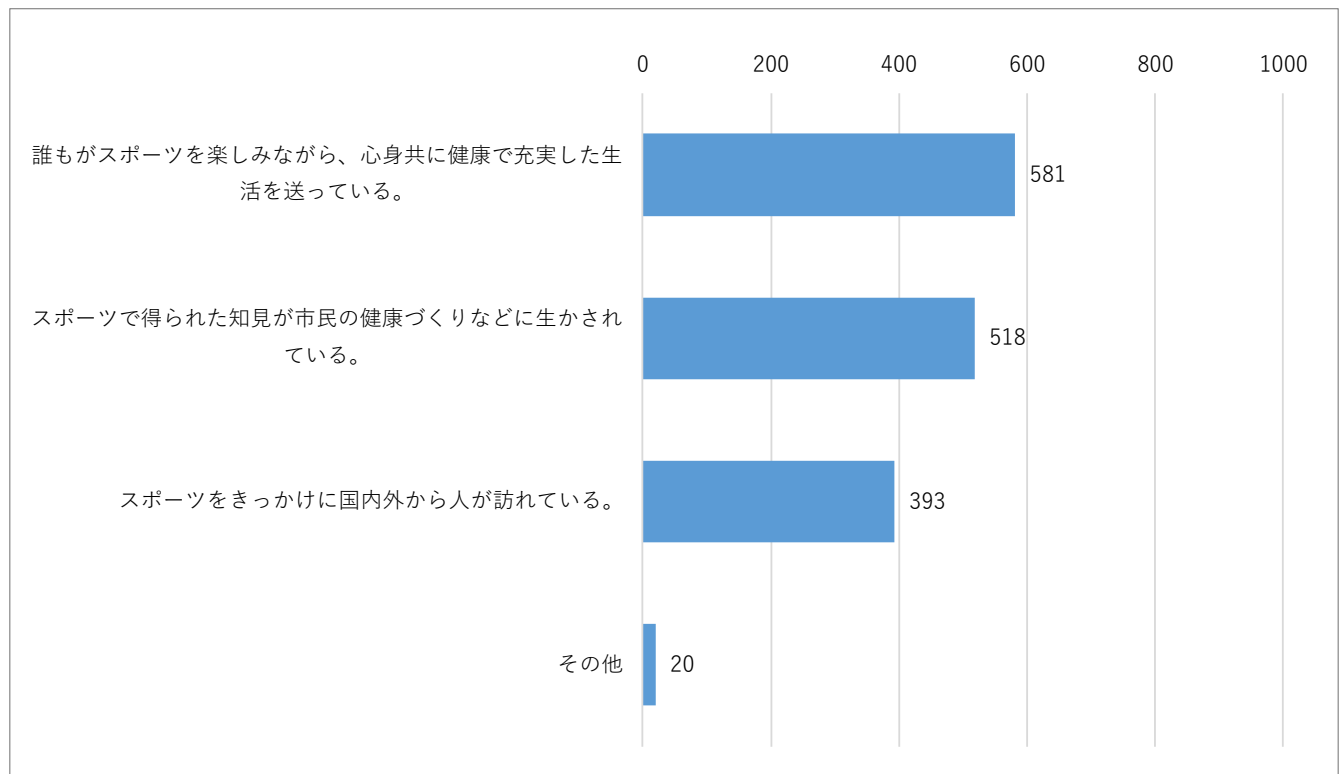
評価されていること(○評価) 計 2,311 件



《その他の意見》

- ・ 野球・サッカー・バスケットなど見るスポーツは充実していると思います。
- ・ 身近にスポーツができる場所がある。
- ・ スポーツのイベントが色々行われている。
- ・ スキー目的で海外から旅行者がたくさんきていると感じている。
- ・ 夏はマラソン等が行われて多くの人が札幌を訪れていると感じます。

課題となっていること(×評価) 計 1,512 件



《その他の意見》

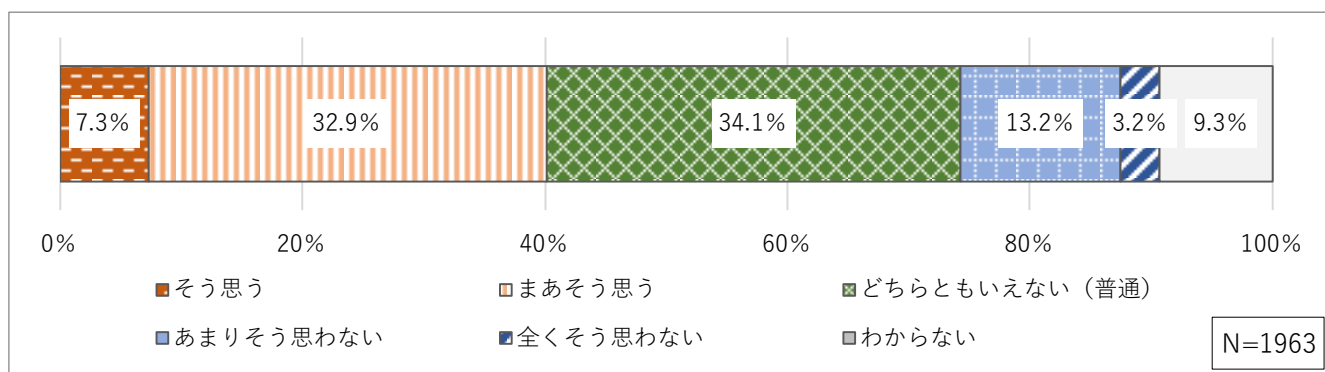
- ・冬期に子どものみで楽しめるスポーツの選択肢が少ない。
- ・スキー場利用の高額化しており誰もが気軽に利用できなく、市民割等の導入でスポーツ人口の減少をとめる事が必要。
- ・小中に北海道にちなんだスポーツ授業があつてよいが、最近は減ってきている気がします。どんどん挑戦できる機会をもうけてあげてほしい。
- ・冬に体を動かせる室内施設が少なく、ボーネルンドのキドキドのような施設があると嬉しい。
- ・クライミングジムやレジャープール施設など官民連携で充実させてほしい。人口や面積の割に少ない、中心部にしかないレジムは経営が厳しそうに見えるところもある。市民体育館などだけでなく多様な身体を動かして遊べる施設がほしい。
- ・スポーツ施設が足りないと感じ、また例えば卓球台が足りなく、お年寄りが週末独占していたりする。週末しかファミリーでは使えないでしょう。だとしたら、お年寄り平日割引するとか、何か利用者が分散するような工夫、ナッジ理論的な、でできないだろうかと思う。

■分析・考察

- ・実現度は 3.43 と全体平均より高い。
昨年度よりも評価点は 0.14 下がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○×評価は、すべての項目において○評価が×評価を大きく上回っており、スポーツをきっかけに国内外から人が訪れていることが大きく評価されている。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

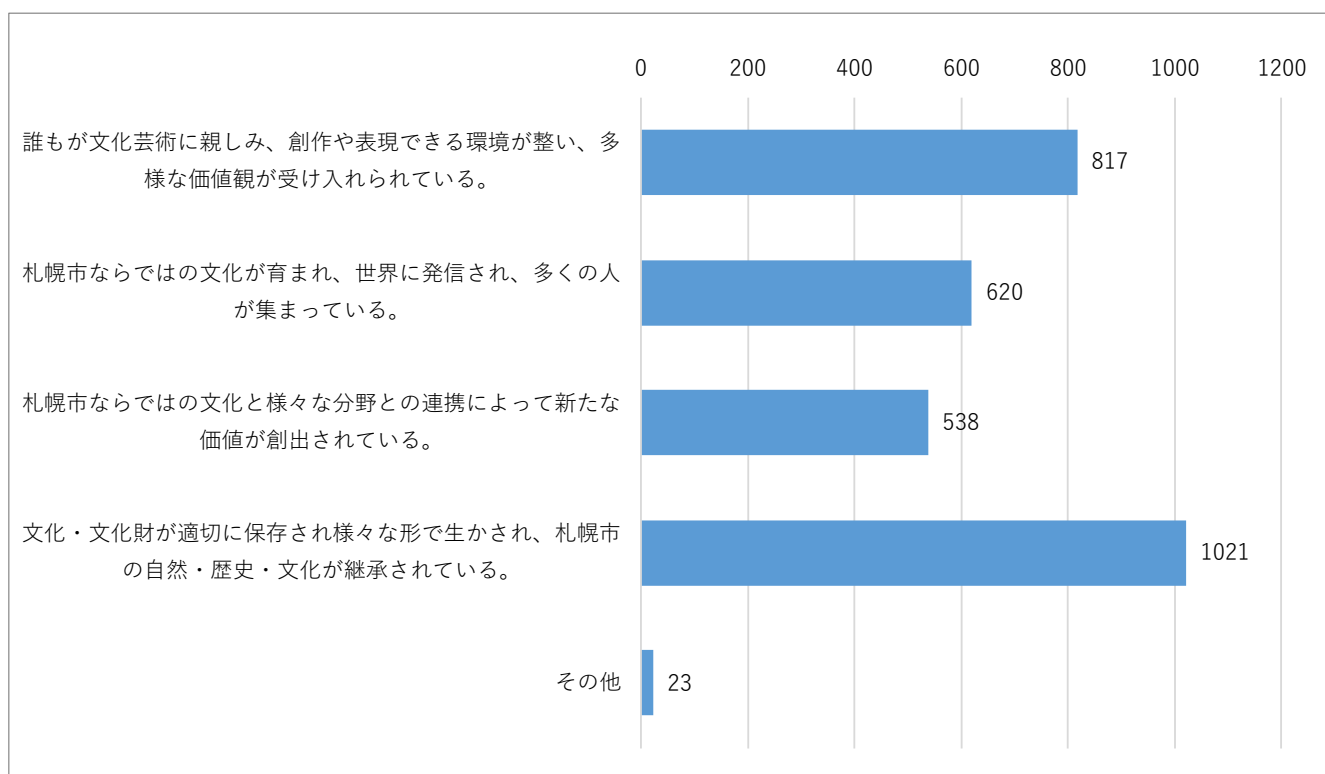
■基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R6年度
	3.31



■回答の理由

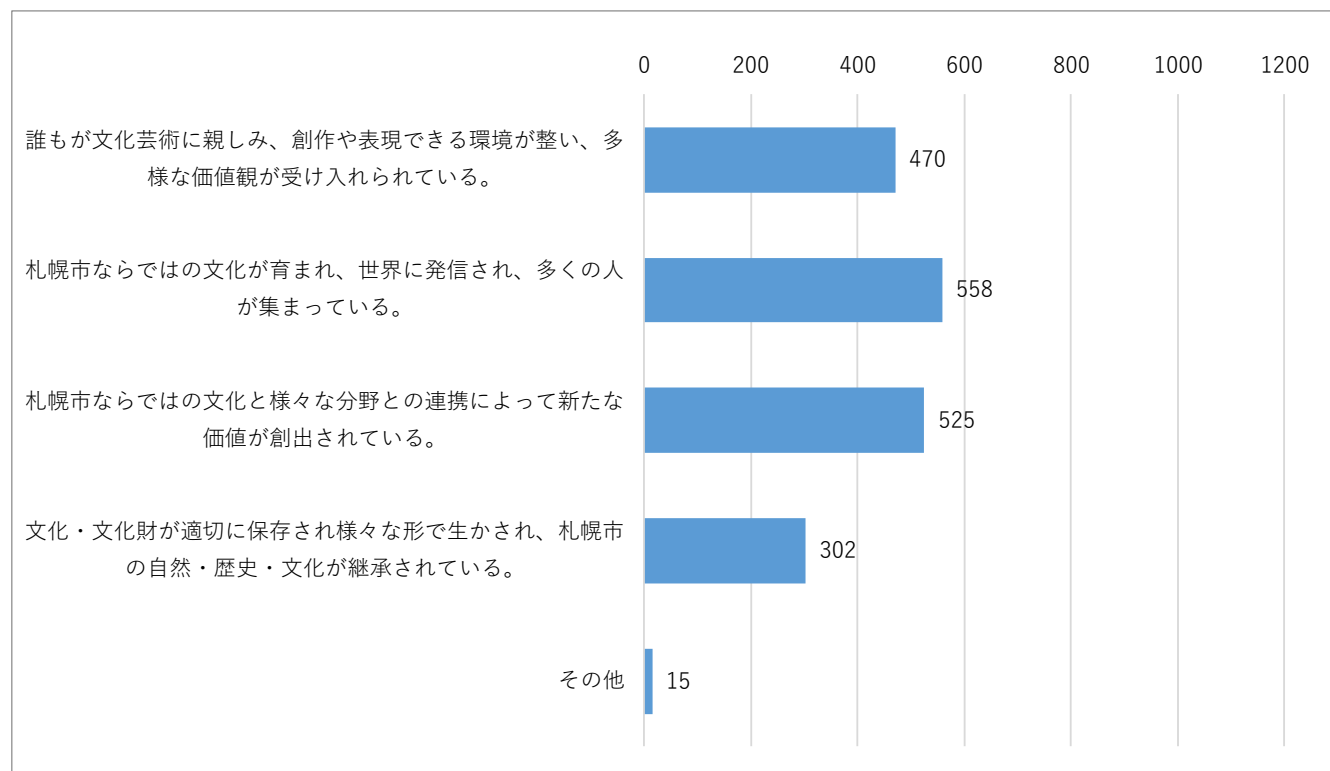
評価されていること(○評価) 計 3,019 件



《その他の意見》

- ・札幌、PMF、ジャズフェスティバル、芸術祭などの取り組みが行われている。
- ・近代美術館、芸術の森美術館があり、芸術に触れることができ、障害者は無料で観覧することができ、ありがたいです。
- ・雪まつりなどで、多くの海外旅行者が札幌を訪れているなど。
- ・毎年行われている「よさこいソーラン祭り」も定着し、多くの人が訪れ、芸術の森では音楽や芸術のイベントが多く開催されていて評価されることと思います。

課題となっていること(×評価) 計 1,870 件



《その他の意見》

- ・文化・文化財が海外資本に売却されないか心配である。
- ・文化芸術団体が練習・発表する場が少ない、使いにくい。
- ・h i t a r u やチカホなど市民が活動しやすい場が増えているものの、「世界とつながる」と言う点ではそうではないと思う。
- ・首都圏と比較すると、中核都市が集中していない札幌は、文化芸術に日常的に接する機会が少ない。
- ・アーティストのライブ開催が難しい都市だと感じています。特に、札幌ドームは税金を費やして的外れな機能を追加していただけないように思えます。
- ・芸術祭が催されているが市民への周知が少なすぎます。また、市内各所に彫刻を配置すれば芸術や美術に強い自治体…と、いうのは短絡的で青森などの事例を参考にしてほしい、良いものがあるのに生かしきれずもったいない。
- ・もっと多様な人々が参加したり企画できる場があるといい。

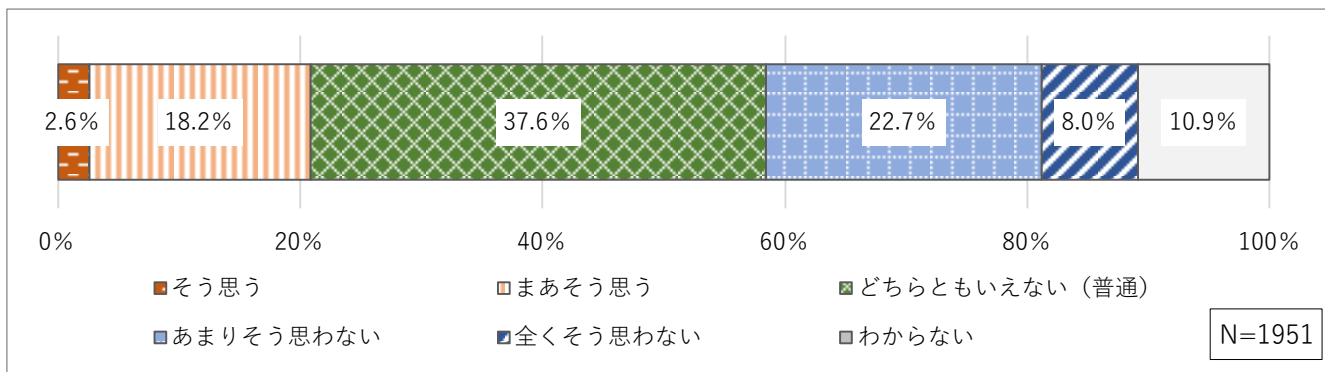
■分析・考察

- ・実現度は 3.31 と全体平均より高い。
昨年度よりも評価点は 0.05 下がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○×評価は、すべての項目において○評価が×評価を上回っており、特に札幌市の自然・歴史・文化の保存において大きく評価されている。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

【7. 環境分野】

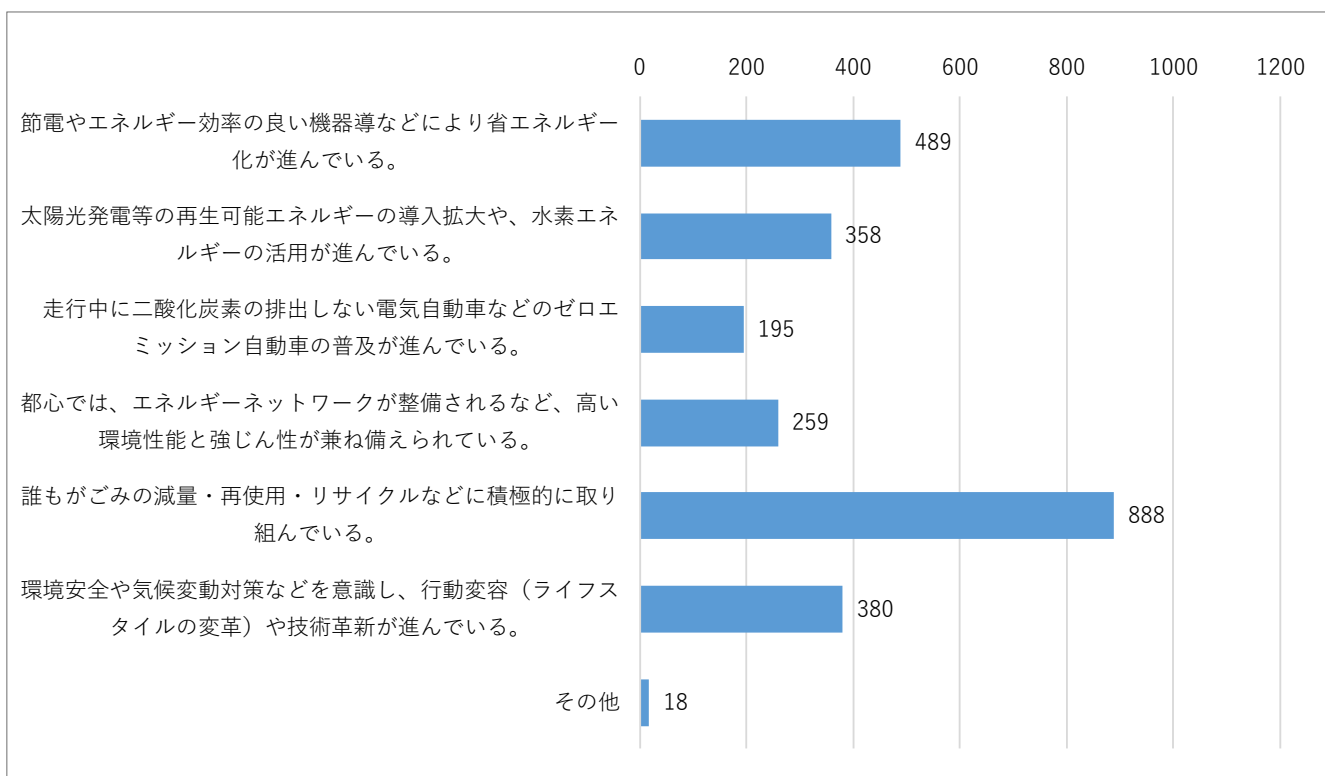
■基本目標⑩「世界に冠たる環境都市」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R6年度
	2.83



■回答の理由

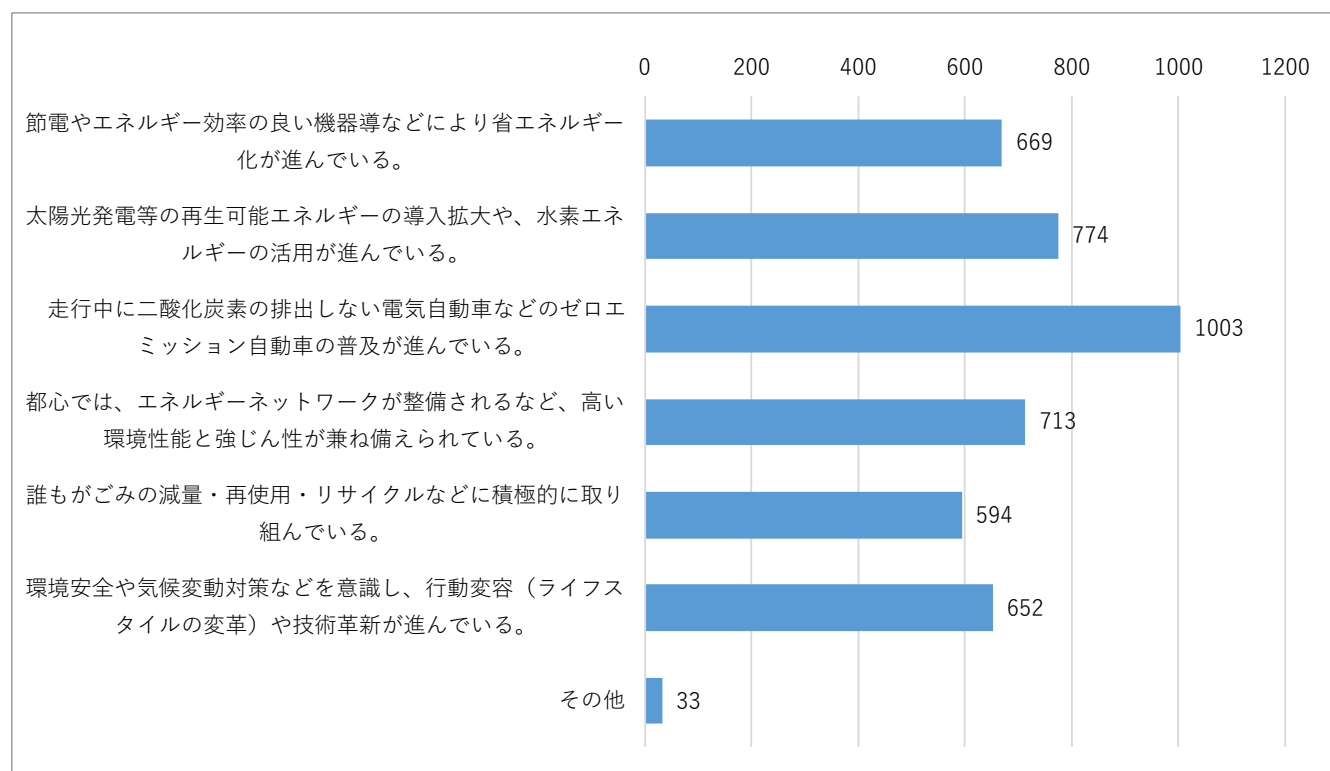
評価されていること（○評価） 計 2,587 件



《その他の意見》

- ・クリーンエネルギーの導入。
- ・ごみの分別、削減などの意識は高いと思う。
- ・再生エネルギーによる環境破壊を防止し、北海道の自然の優位性をより高めている。
- ・環境首都としての取り組みを継続してほしい。

課題となっていること(×評価) 計 4,438 件



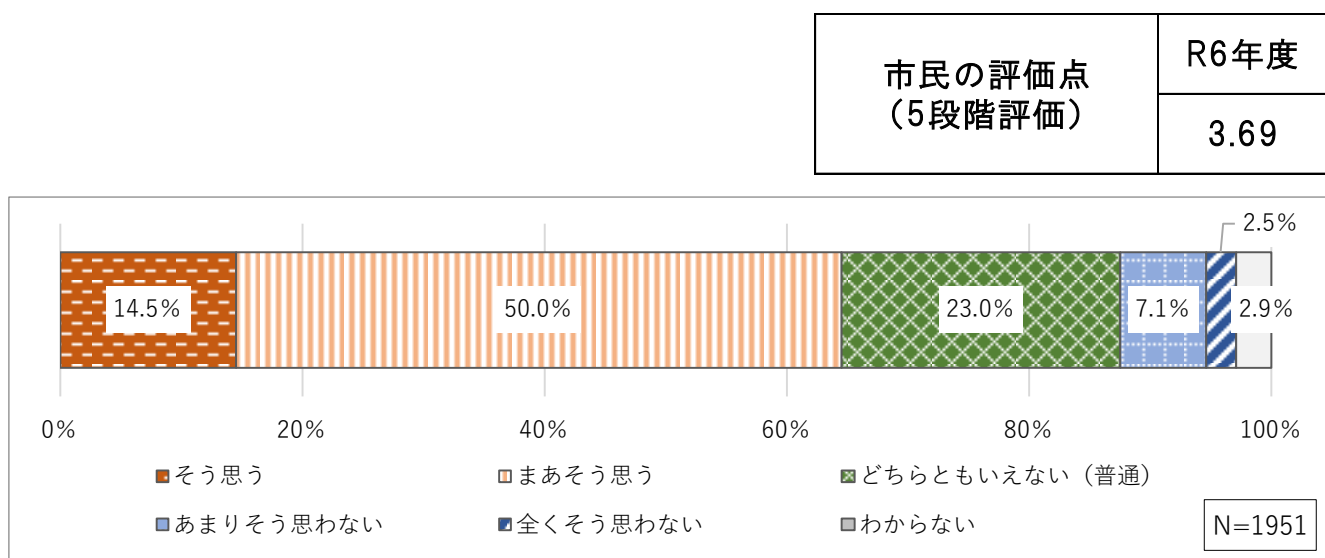
《その他の意見》

- ・再生可能エネルギーについて拡大するのは良いですが、それについて起こる弊害についても考えて評価した方が良い。
- ・資源分別が不徹底→市民のモラルなく混在ゴミが多数、ビン類はもっと分類すべきだと感じています。
- ・市として原発再開を強力に推進すべし、再エネは観光資源環境破壊の元凶と知ってほしい。
- ・ソーラーパネルや蓄電池等の補助があると嬉しい。
- ・天候に左右されない太陽電池の開発に、札幌市が協力するとか、雪の有効活用とか、環境を利用したエネルギーの先駆者になってもらいたい。
- ・SDGs について、学生だけでなく社会人にも広く知ってもらう場を設けてもらいたい。

■分析・考察

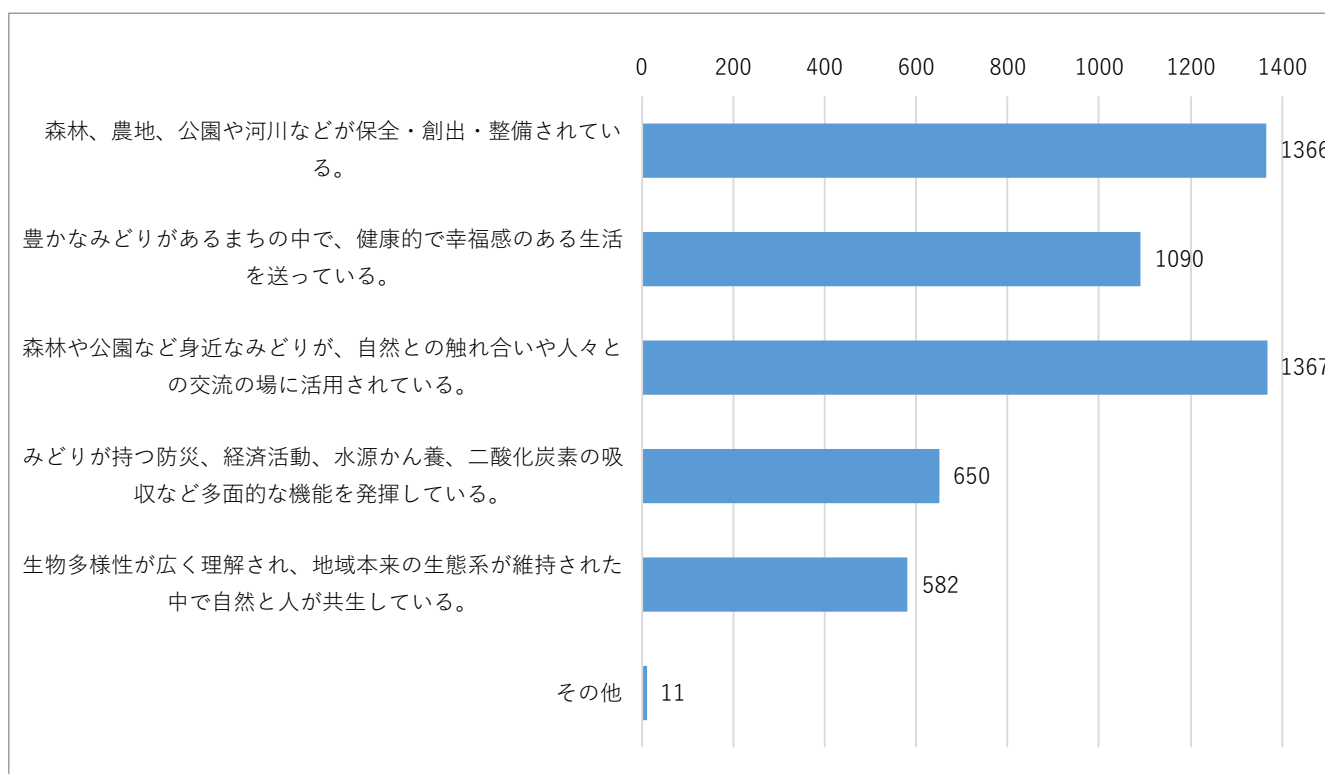
- ・実現度は 2.83 と全体平均より低い。
昨年度よりも評価点は 0.06 下がった。
- ・実現度において、性別、年代別による回答の大きな差は見られない。
- ・○評価と×評価の差から、○評価として、ごみの減量・再使用・リサイクルへの取組は評価されており、20～39 歳は全体より低く、50～85 歳以上は全体より高い傾向が見られた。また×評価として、電気自動車の普及や再生可能エネルギーの導入などが課題として考えられる。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

■基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまち」の実現度



■回答の理由

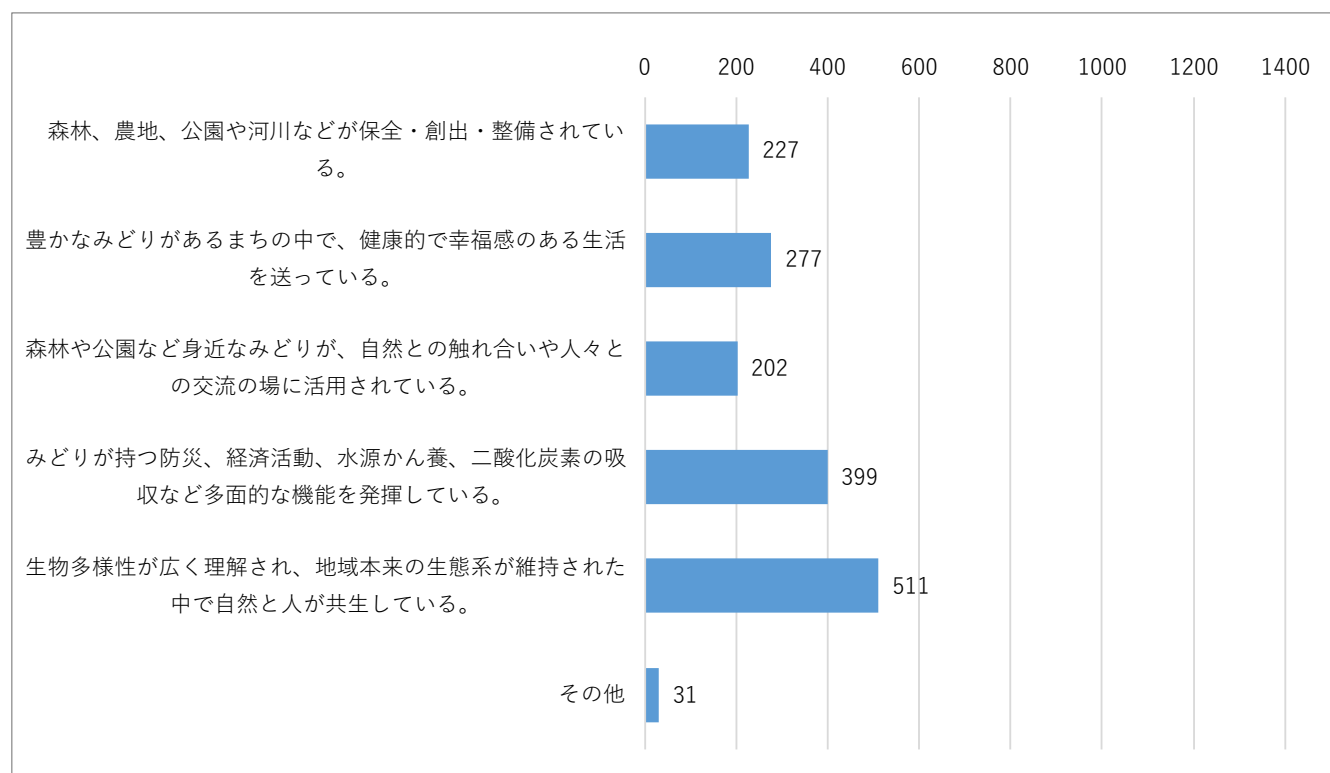
評価されていること(○評価) 計 5,066 件



《その他の意見》

- ・公園も多く、川沿いの桜等、季節を楽しめる場所は多い。
- ・緑豊かな公園が多くあり、とても綺麗に整備されている。
- ・野生の動物、鳥などの安全が確保されている。
- ・自然環境に関しては札幌だけでなく、北海道は多くの取り組みをしていると思います。

課題となっていること(×評価) 計 1,647 件



《その他の意見》

- ・公園の整備が遅れていると思います。
- ・熊との共生はかなり難しいと思われるので、至急対策が必要だと思います。
- ・カラスによる被害、シカ、ヒグマの出没による影響を懸念しております。
- ・公園にゴミが散乱しています。ゴミ箱設置してほしいです。夏はお酒の缶が増えますし、大人も子供もお菓子や食べ物のゴミが放置されています。
- ・やはり便利が優先され環境への影響が大きいと思います。 便利を捨てて迄環境に配慮仕切れていないかと。
- ・札幌は緑が多く、公園もあり、素晴らしい生活環境だと思います。 ただ、熊は問題で日常生活が不安になる地域があり、ハンターの高齢化はなり手の問題もあるが、札幌市としては市民の安全、安心を確保しなくてはいけないのではないのでしょうか。

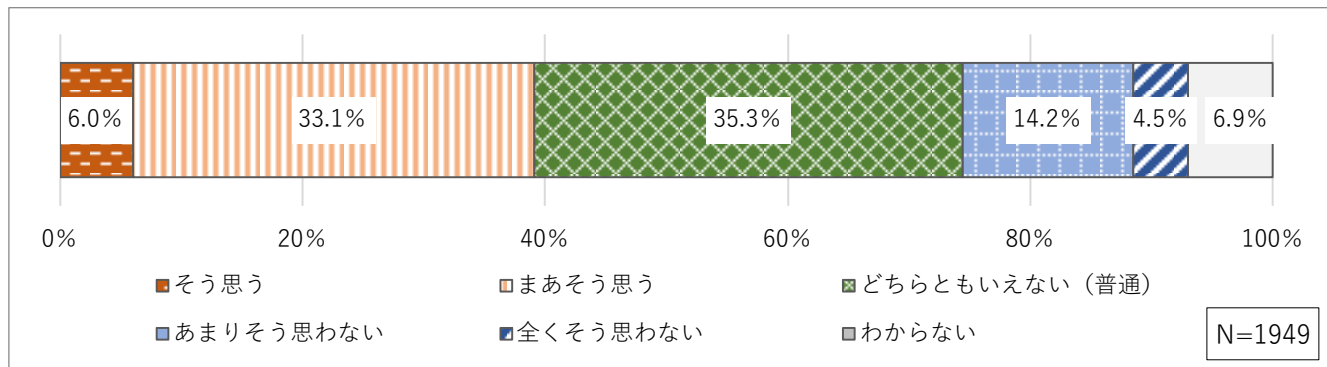
■分析・考察

- ・実現度は 3.69 と全体平均より高い。
昨年度よりも評価点は 0.03 下がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○評価と×評価の差から、すべての項目において○評価が×評価を大きく上回っており、特に森林、農地、公園や河川などの保全、豊かなみどりのあるまちの中で生活を送っていること、森林や公園が交流の場に活用されていることが特に評価されている。
その一方で、カラス、シカ、ヒグマなどの野生動物の被害などが課題として考えられる。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

【8. 都市空間分野】

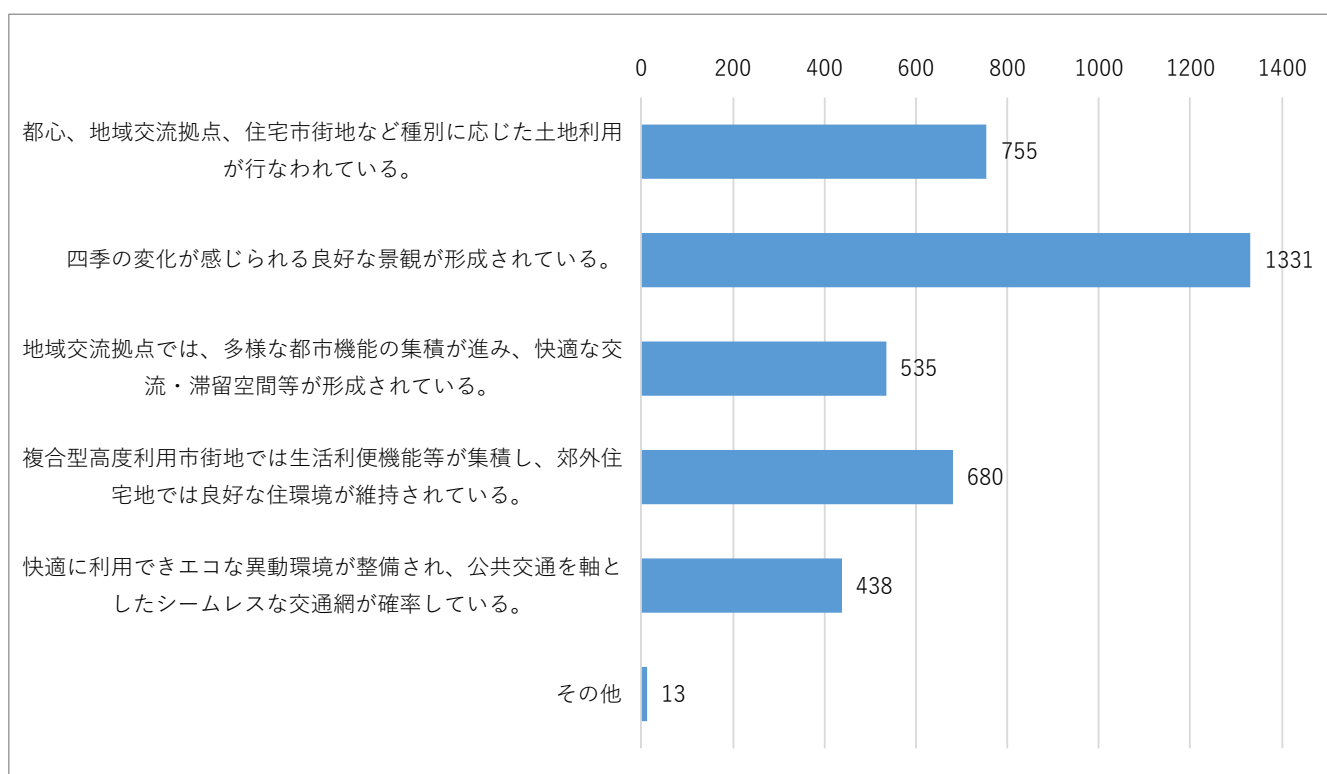
■基本目標⑩「コンパクトで人にやさしい快適なまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R6年度
	3.23



■回答の理由

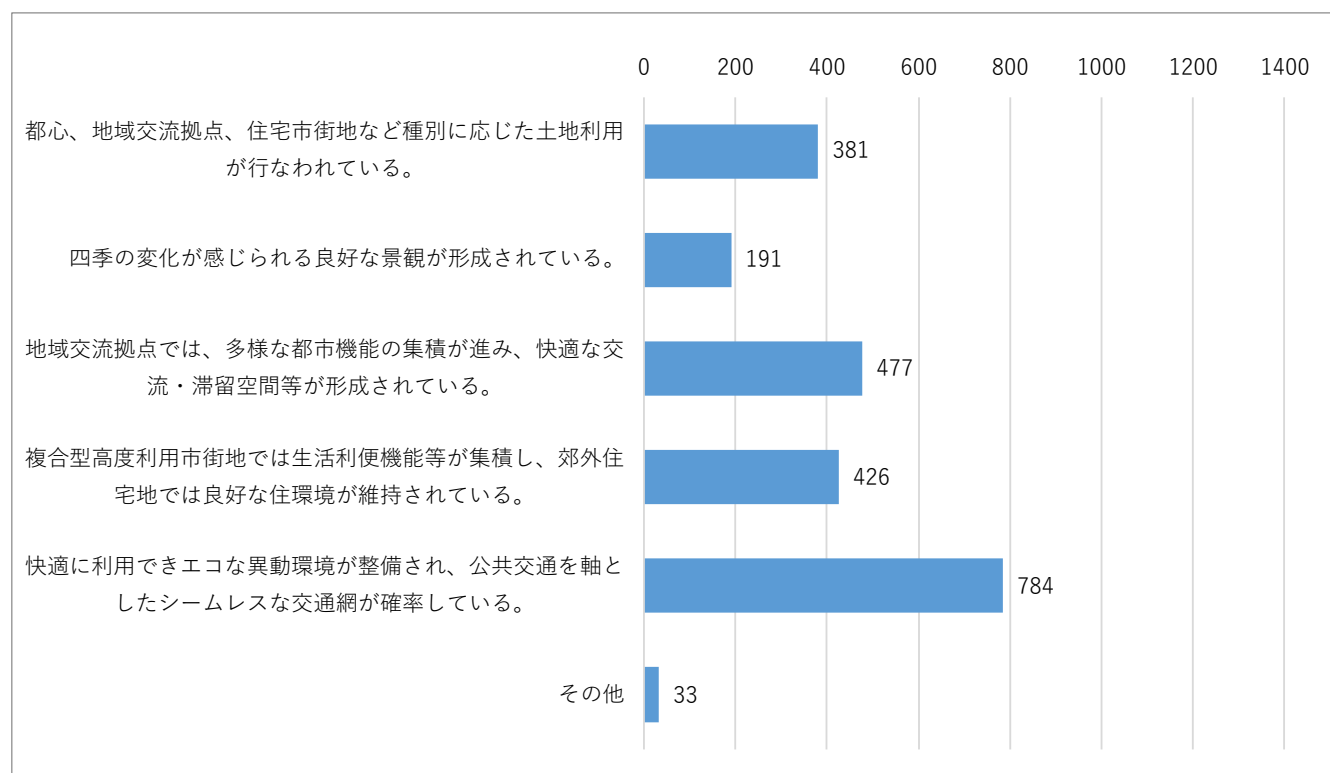
評価されていること（○評価） 計 3,752 件



《その他の意見》

- ・ 目的にあったコンパクトなまちづくりが、できていると思います。
- ・ 桜を見れる場所が整備されています。

課題となっていること(×評価) 計 2,292 件



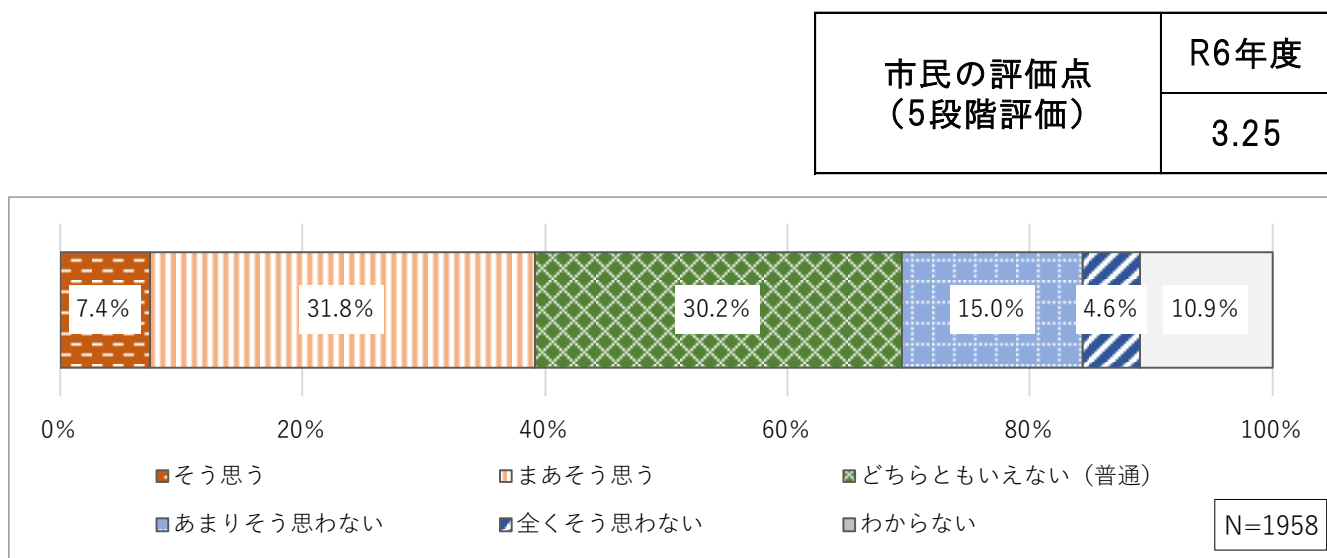
《その他の意見》

- ・手稲の交通利便性が悪いので、地下鉄の延伸を希望です。
- ・いつまでも清田区に地下鉄がなく、不便すぎて街の価値を低下させており、環状の公共交通網も貧弱でバスもどんどん減り始め、結婚子育てできるか不安を感じるので、一度コロナ禍で札幌市に戻ってきた自分も東京などへ、再度転出することを考える理由の1つとなっています。
- ・公共交通、特にバスは採算より市民の利便性を第一に、それによる市民を豊かにしてほしいです。
- ・コンパクトシティの発想は青森市でも失敗しています。発想を大きく転換すべきだと思います。
- ・コンパクトプラスネットワークの主幹である交通が、バスの減便や路線の短縮で崩壊しつつあります。
- ・更なるコンパクトシティを追求して欲しいです。都心再開発、都市計画緩和など。
- ・整備が進む中心部と違い離れると、買い物難民、交通弱者が多くなり、自治会の集まりでも高齢の方が苦勞されているのを聴くことが多々あります。

■分析・考察

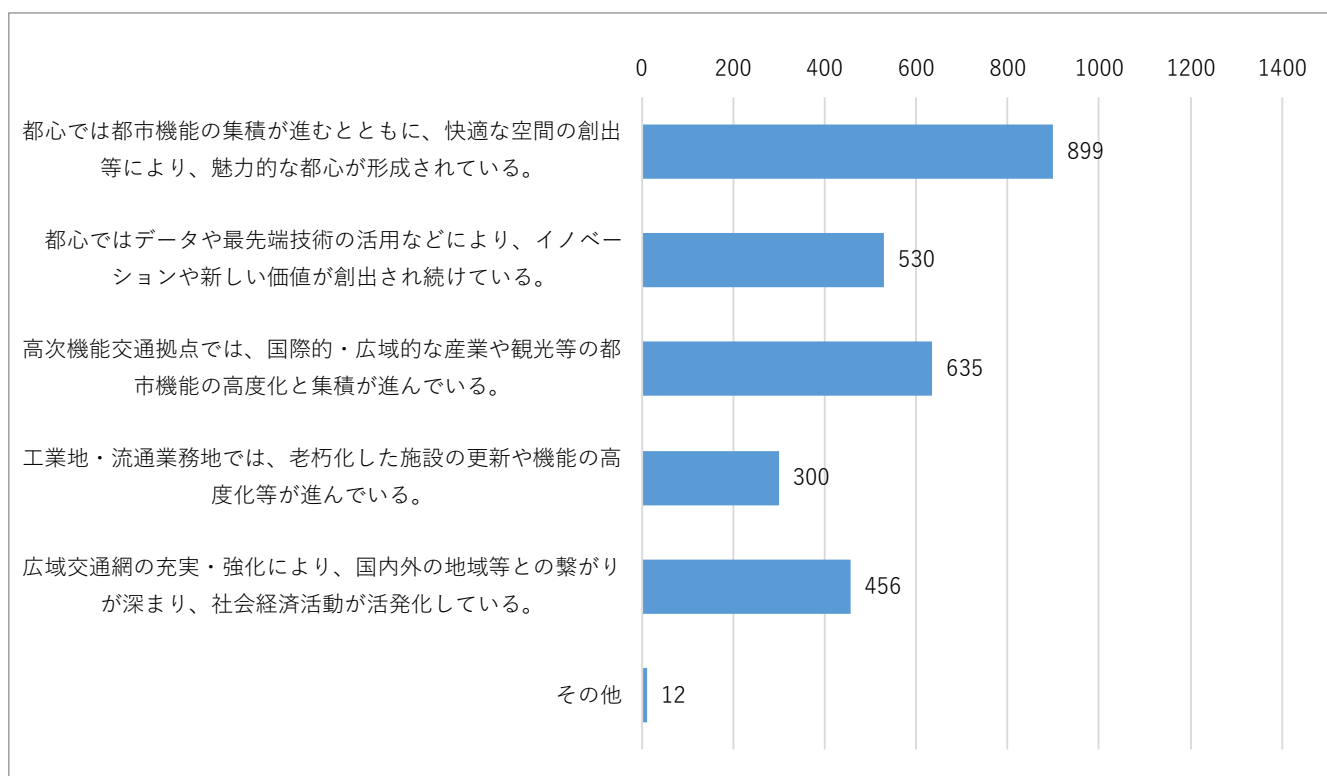
- ・実現度は3.23と全体平均より高い。
昨年度よりも評価点は0.2下がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○評価と×評価の差から、全体的に×評価よりも○評価が大きく四季の景観が形成されていることが特に評価されており、その中でも16～19歳が大きく評価している。×評価としては、バスの減便や地下鉄延伸などの公共交通機関について課題と考えられる。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

■基本目標⑨「世界を引きつける魅力と活力あふれるまち」の実現度



■回答の理由

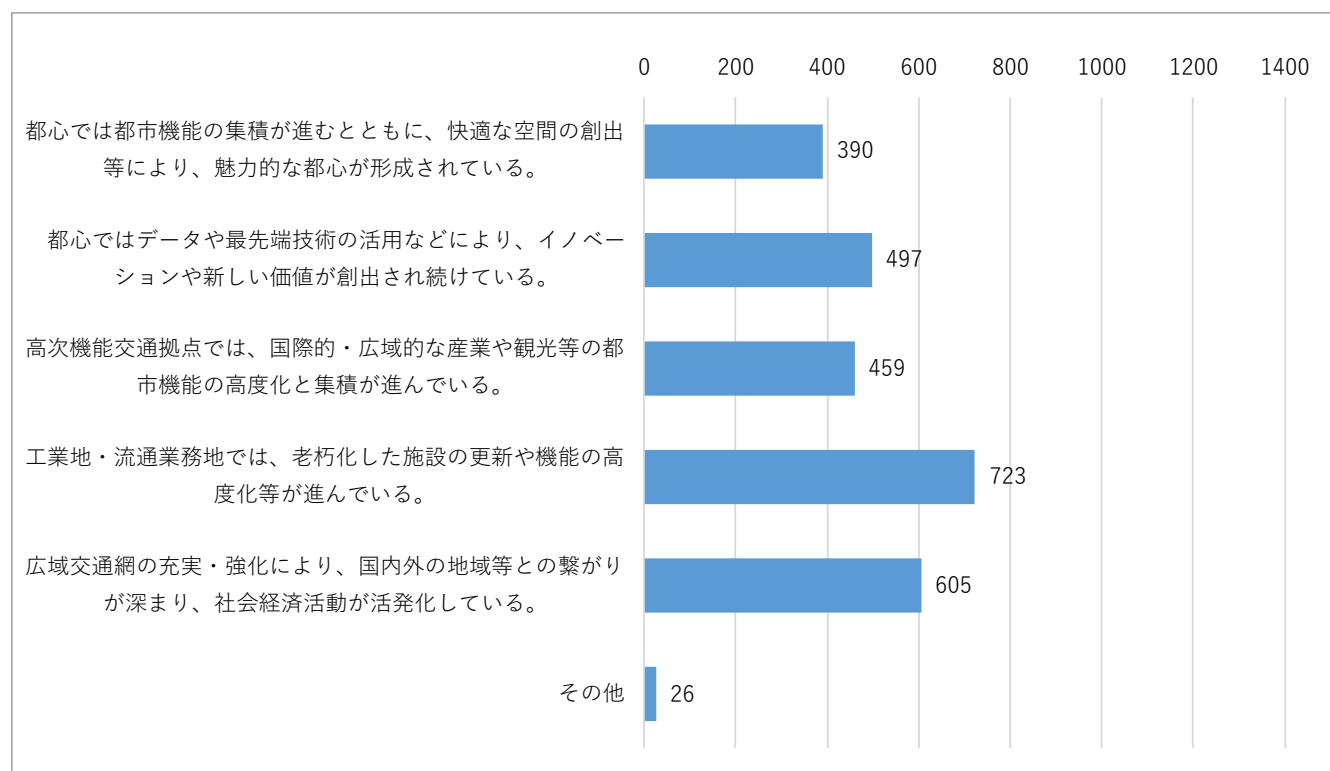
評価されていること(○評価) 計 2,832 件



《その他の意見》

- ・“S a p p o r o”という、国際ブランド性が継続的に発信されている。
- ・初音ミクの立て看板が札幌駅のみどりの窓口に展示されていたことがありました。初音ミクには詳しくない私でも、可愛いなと思い写真に収めました。誰もが「札幌」と言えばこれ、というイメージの湧くモチーフがあれば面白いかなと思います。
- ・食文化に魅力があるため評価は高いが、都市の開発などで魅力を創造できているという評価は難しいです。

課題となっていること(×評価) 計 2,700 件



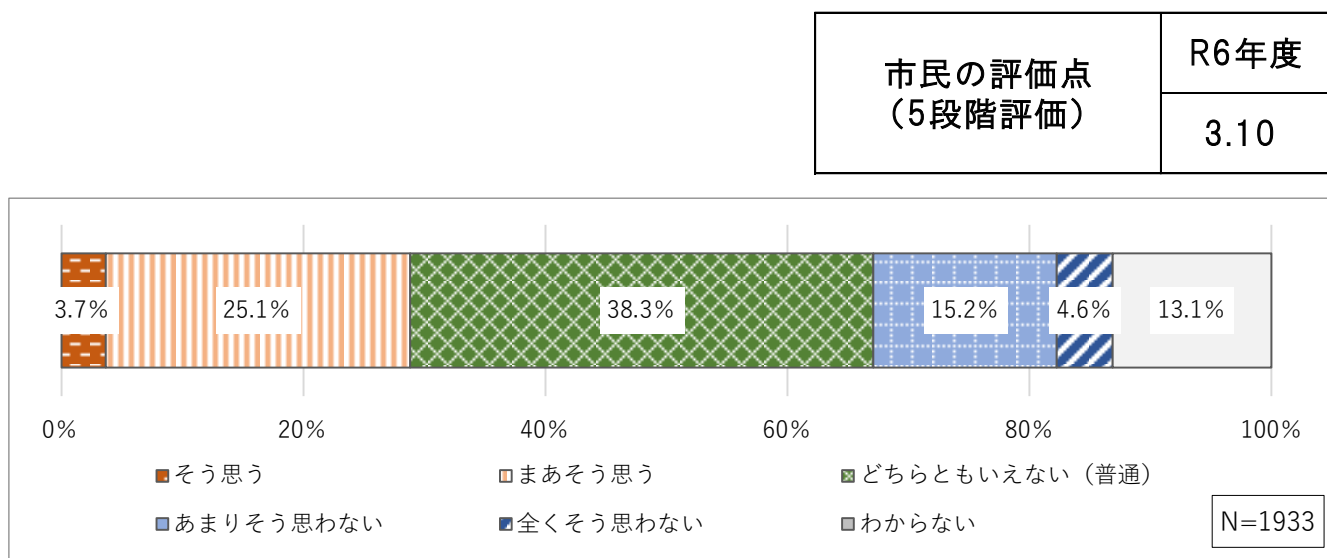
《その他の意見》

- ・冬の交通マヒは最低です、予算をここに掛けてほしいです。
- ・電車が通っていないエリアがあったり、バスの減便などがあるため交通網の確保ができているようには思えません。
- ・「工業地・流通業務地では、老朽化した施設の更新や機能の高度化等」については、全くと言っていいほど感じられない。
- ・札幌ドーム、国際的にもっと利用できないでしょうか。
- ・産業の高次元化が進む中で、札幌本来の自然や緑を中心とした優しい街は失われていると感じています。特に大通公園の商業利用に関しては目に余るものがある。

■分析・考察

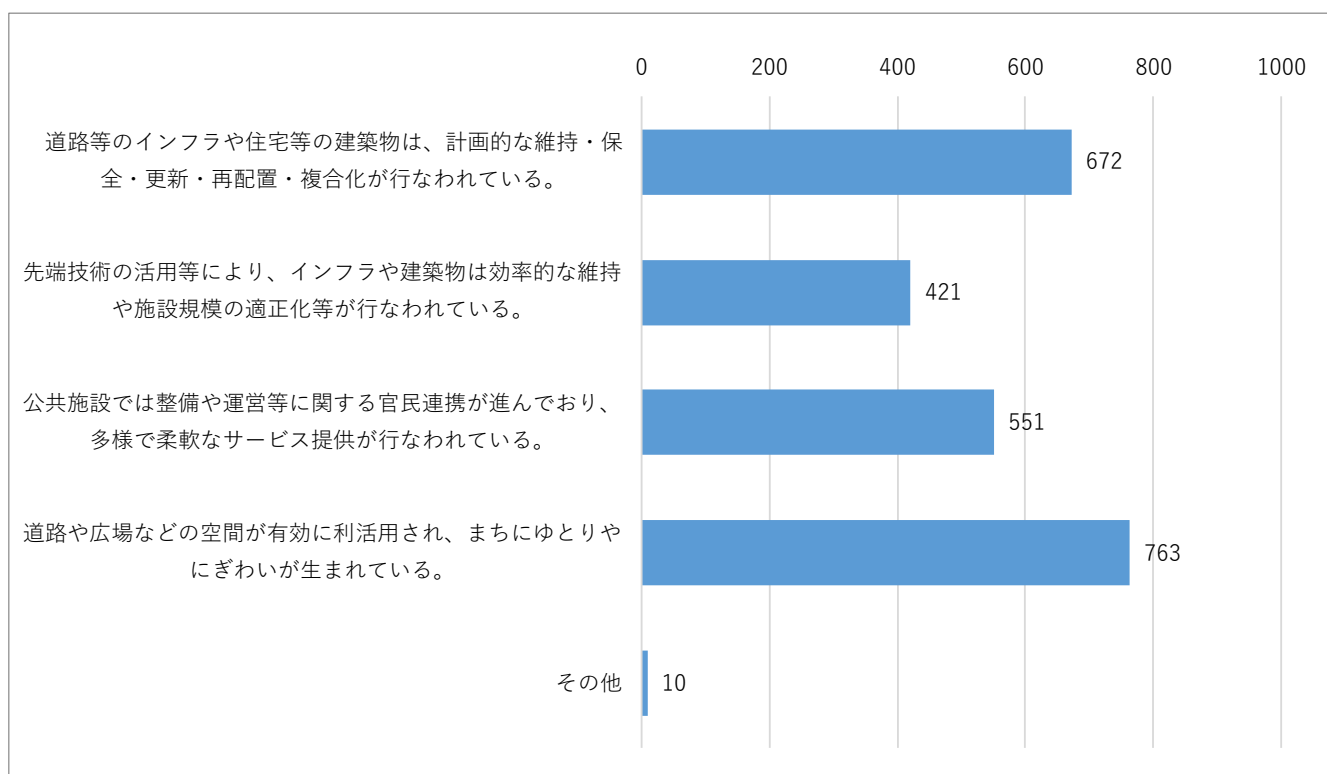
- ・実現度は3.25と全体平均より高い。
昨年度よりも評価点は0.07下がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○評価と×評価の差から、都心における都市機能の集積に関しては評価されている一方、工業地・流通業務地の施設の更新、機能の高度化には課題があると考えられる。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

■基本目標⑩「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」の実現度



■回答の理由

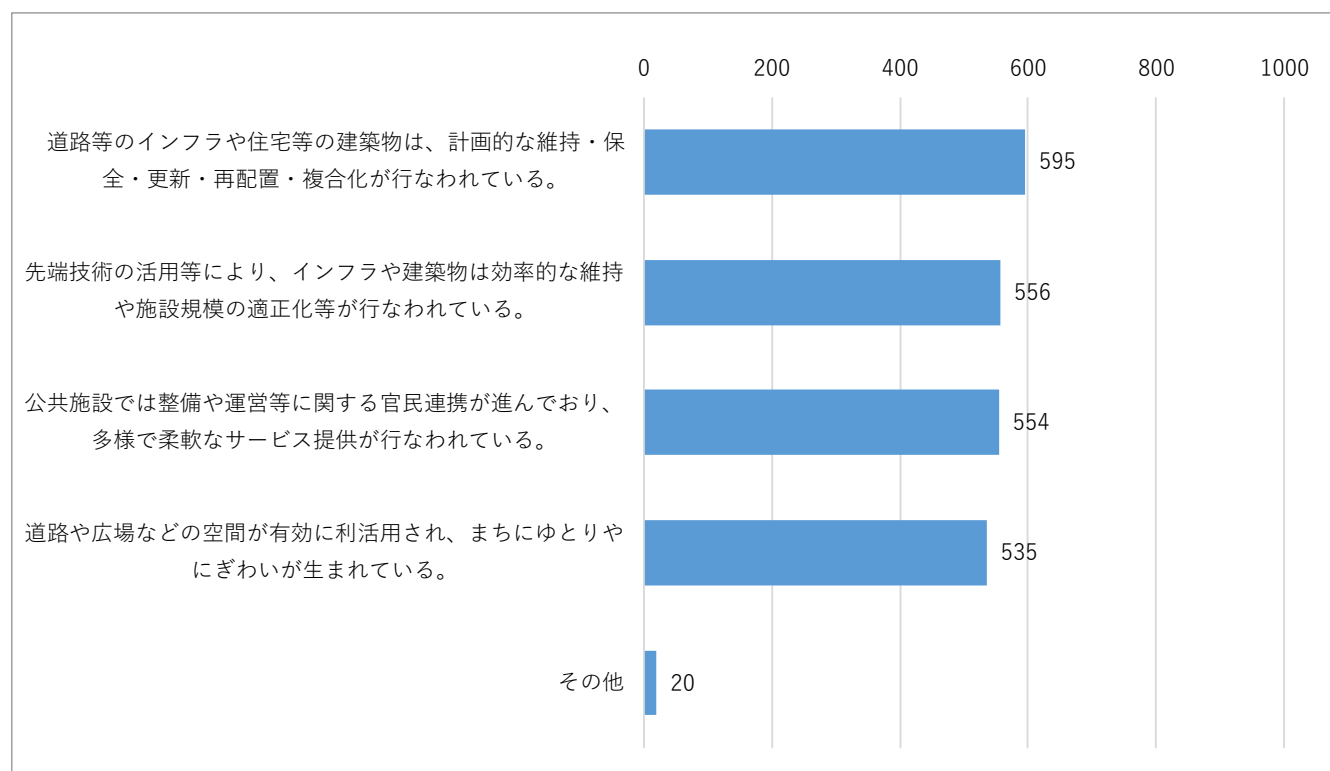
評価されていること(○評価) 計 2,417 件



《その他の意見》

- ・中央区に集中して新しくなっているように感じます。
- ・札幌市の道路は利用性が高い。
- ・どこに行っても整備されている。

課題となっていること(×評価) 計 2,260 件



《その他の意見》

- ・道路、歩道の穴、道路の白線引き等を早急に完成させてほしい。
- ・維持管理が財政的に可能な範囲でのインフラで良く、道路拡幅延長しても除排雪できなく冬期間機能しないものは不要であります。
- ・札幌ドームは、目先の利益より市民の利用、アクセスの向上を実現して、市民に愛される施設にしていきたいです。
- ・札幌駅周辺、大通りからススキノ周辺、新札幌駅周辺の新たな改革で賑わってきている反面、取り残されつつある地域も出て来ていると思います。人手不足によるバス便の減少等々、賑わいが生まれる地域と、さびれていく地域の格差も見えて来ていると感じています。
- ・公共交通機関や道路の老朽化が著しい。

■分析・考察

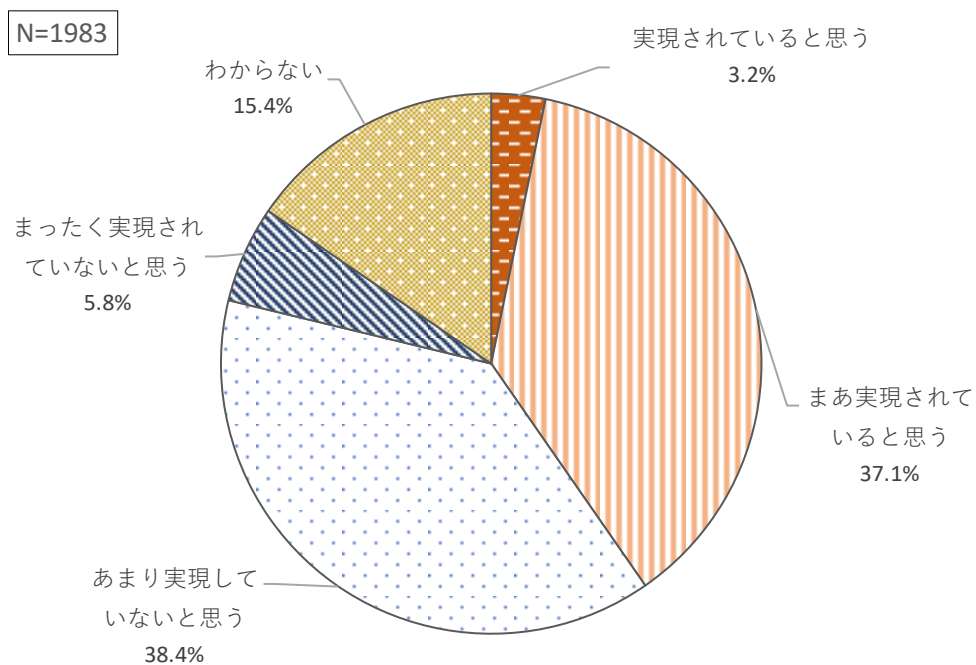
- ・実現度は 3.10 と全体平均より高い。
昨年度よりも評価点は 0.12 上がった。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○評価と×評価の差は、○評価として、道路や広場などの空間が有効活用されていることが評価されており、その中でも 16～29 歳が大きく評価している。その一方で、インフラや建築物の維持や施設規模の適正化等についての×評価が多く、道路や歩道の整備、札幌ドームの今後の活用について課題と考えられる。
また昨年度と比べると全体の評価の比率に大きな差は見られない。

問3 まちづくりの重要概念に関する取組についてお聞きします。

■ユニバーサル（共生）に関する質問

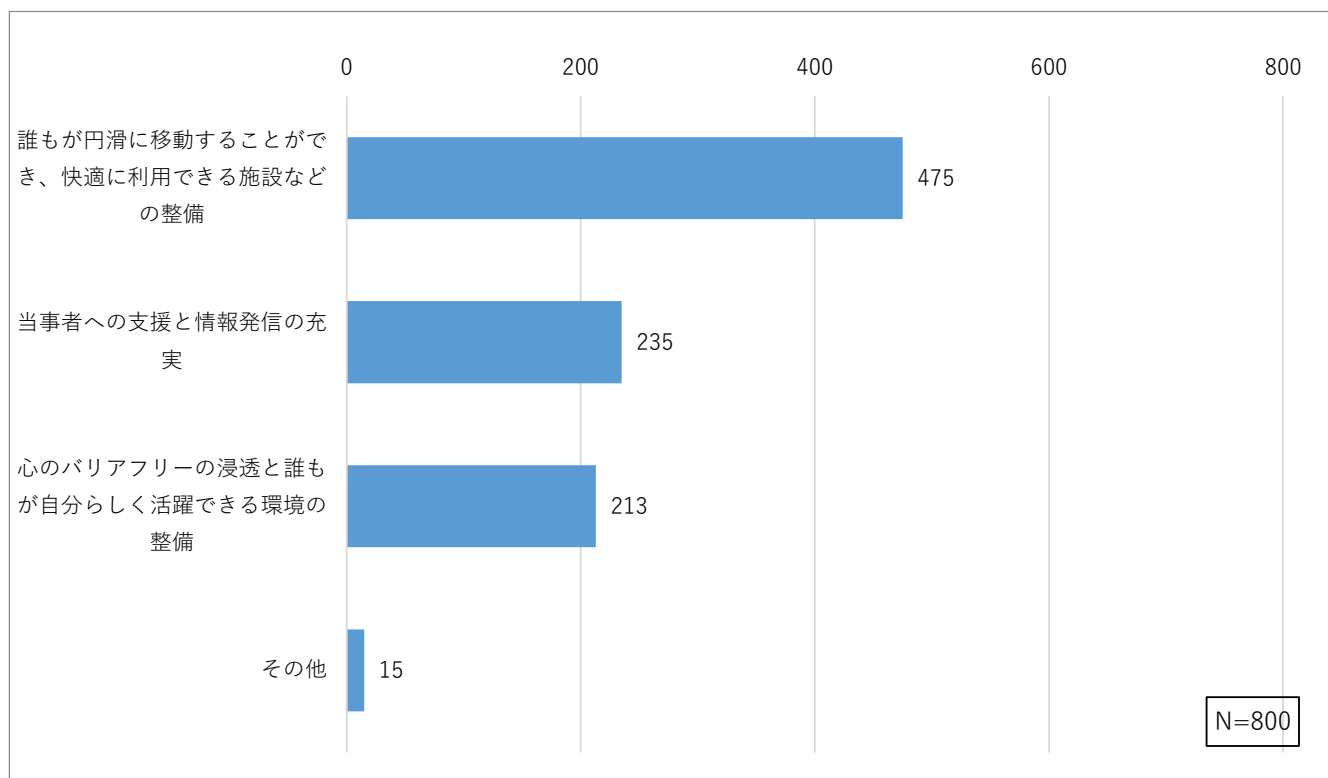
1. 現在札幌市において共生社会が実現していると思うか。

回答選択肢	サンプル数	比率
【全 体】	1983	
実現されていると思う	64	3.2
まあ実現されていると思う	736	37.1
あまり実現していないと思う	762	38.4
まったく実現されていないと思う	115	5.8
わからない	306	15.4

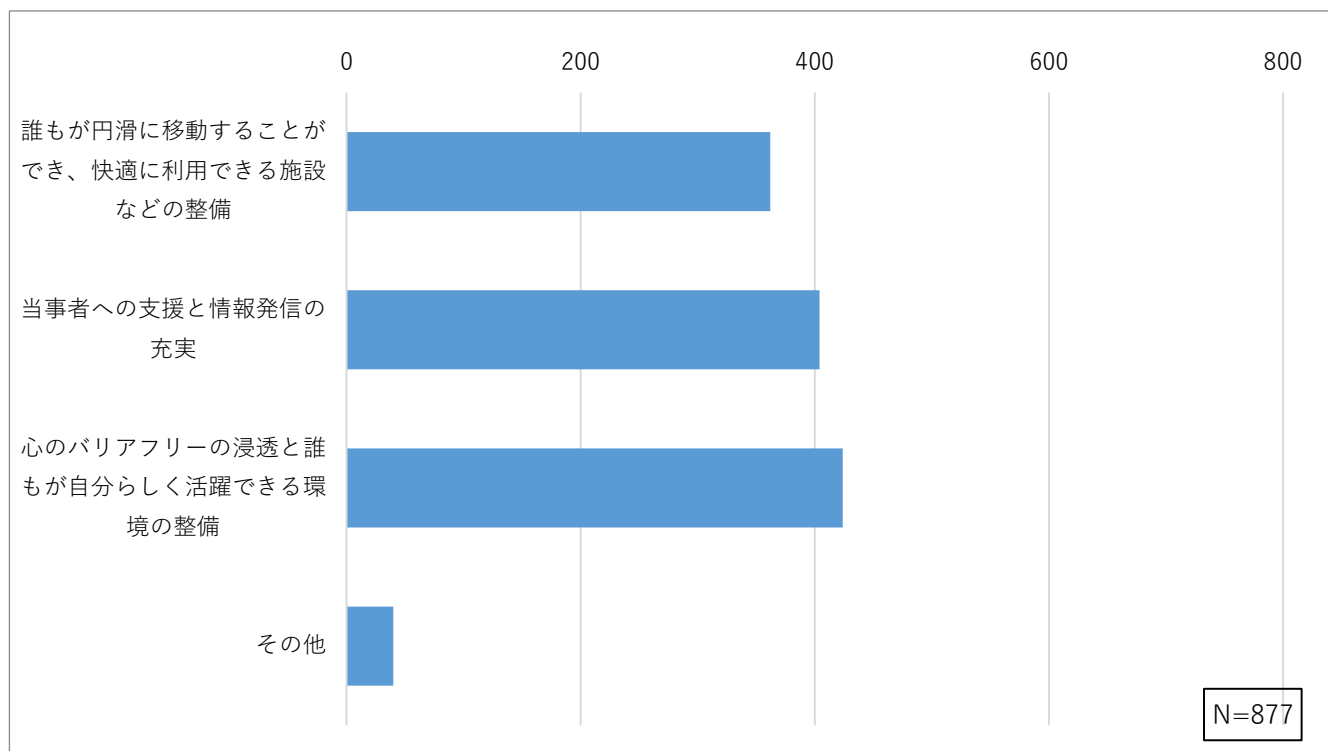


2. 1で答えた理由として、どのような点で共生社会が実現している（または実現していない）と思うか。

【実現していると思う理由】

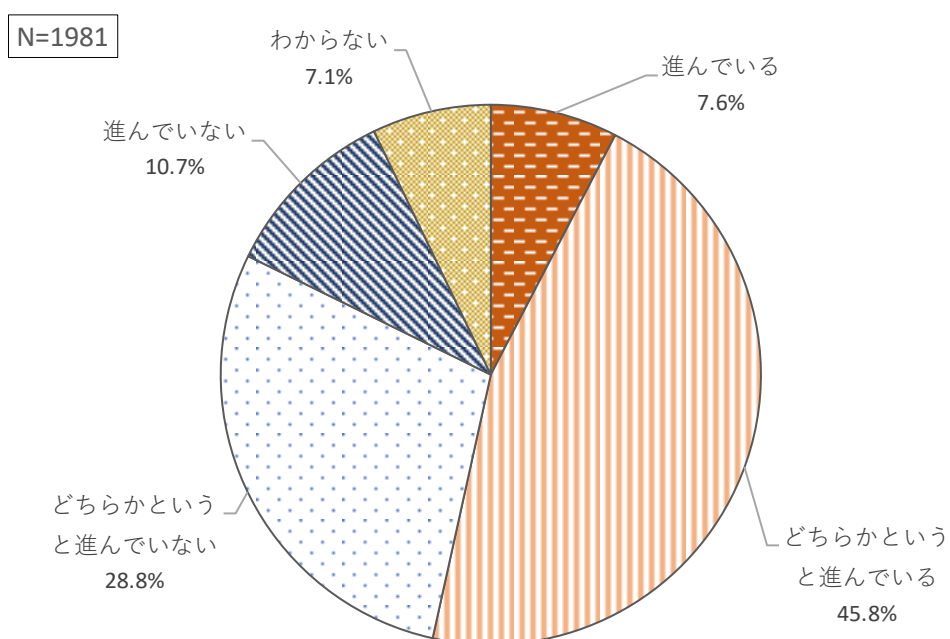


【実現していないと思う理由】



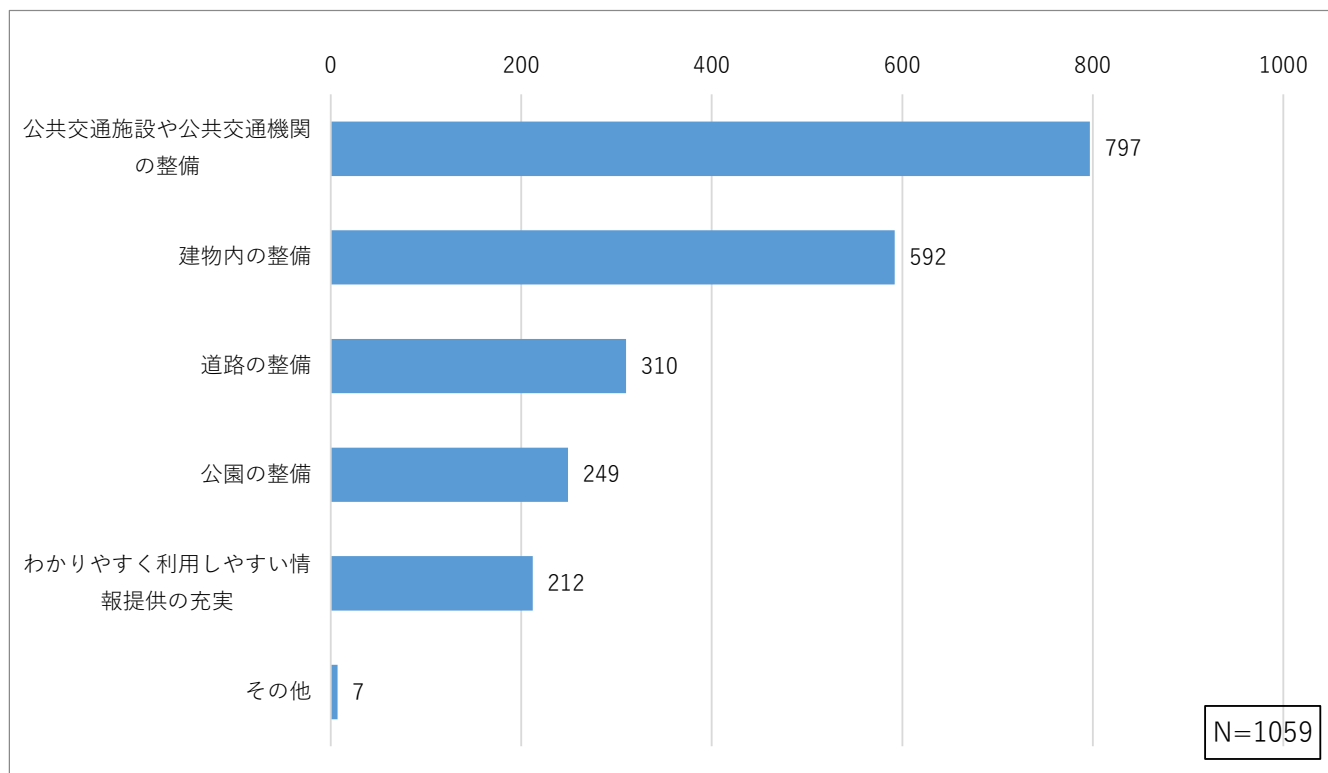
3. 現在の札幌のまちにおける建物、道路、駅、電車等の施設や設備のバリアフリー化が進んでいると感じるか。

回答選択肢	サンプル数	比率
【全 体】	1981	
進んでいる	151	7.6
どちらかというに進んでいる	908	45.8
どちらかというに進んでいない	570	28.8
進んでいない	211	10.7
わからない	141	7.1

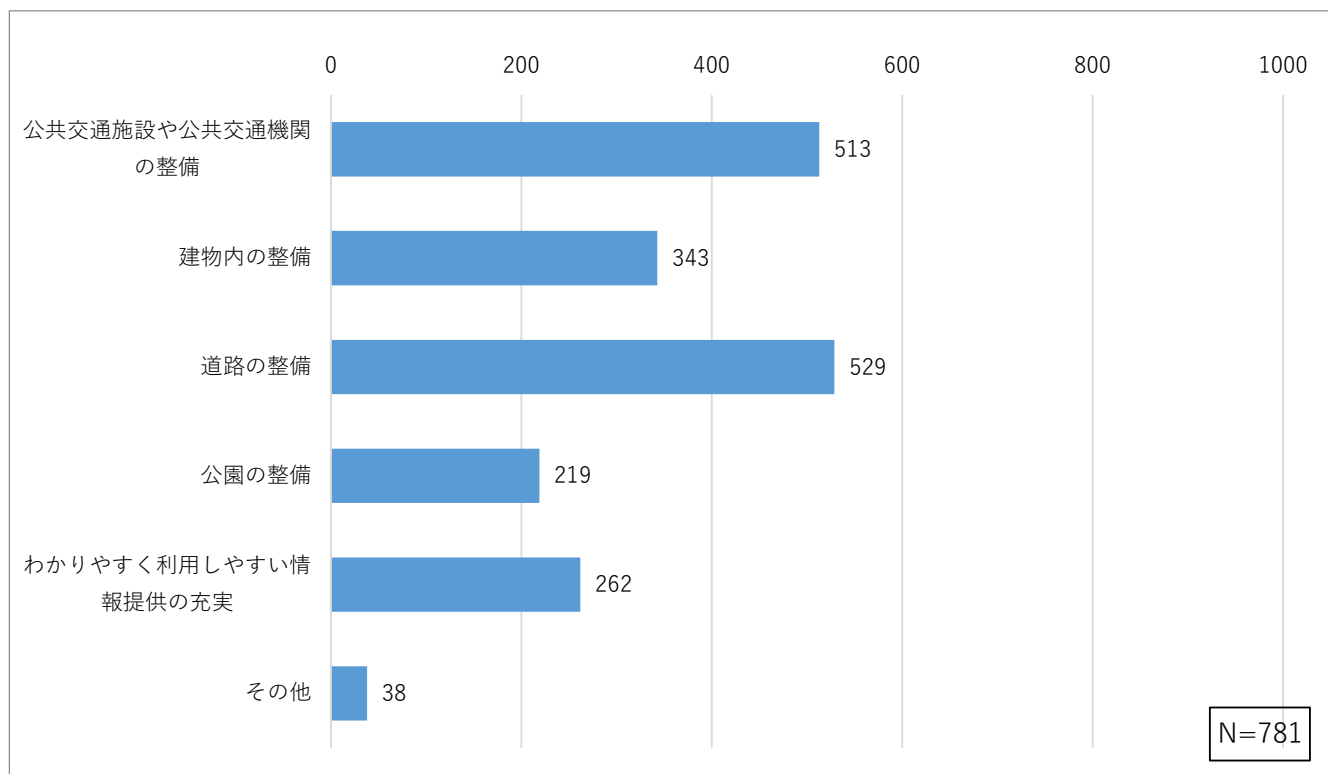


4. 3で答えた理由として、どのような点でバリアフリーが進んだ（または、進んでいない）と思うか。

【進んだと思う理由】

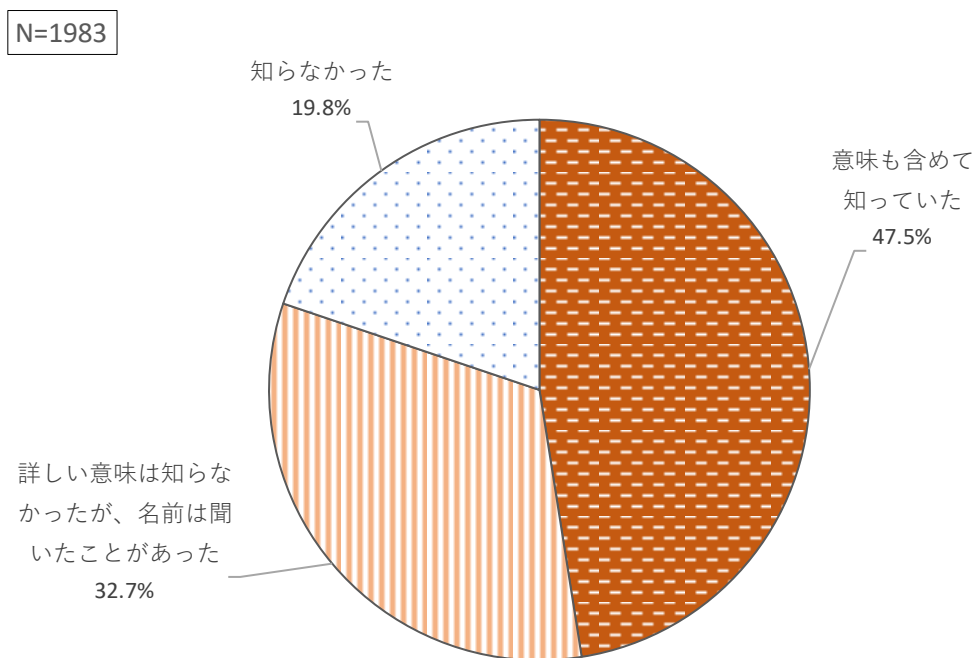


【進んでいないと思う理由】



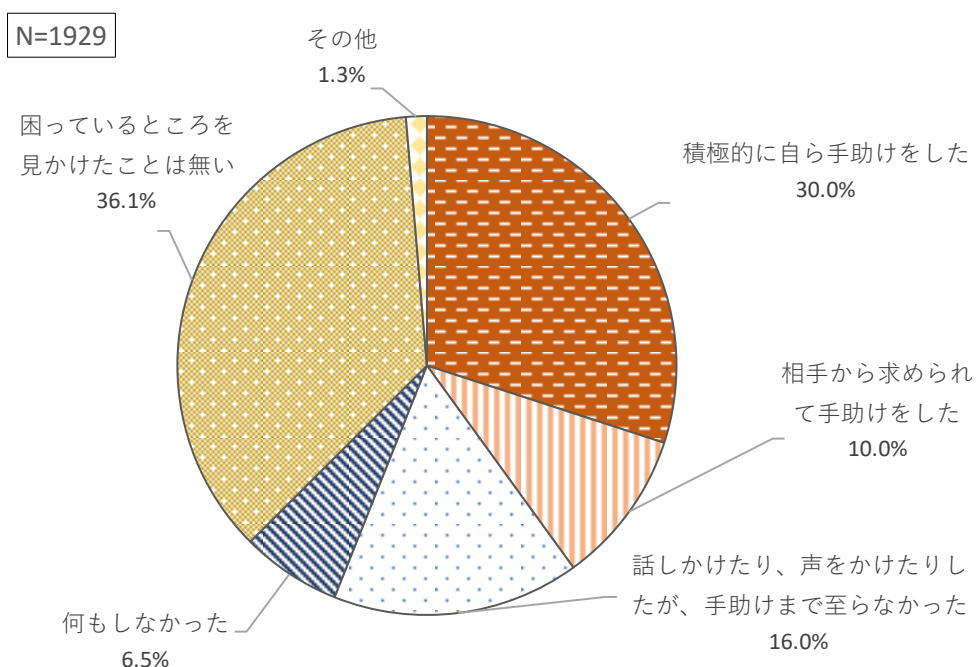
5. 「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていたか。

回答選択肢	サンプル数	比率
【全 体】	1983	
意味も含めて知っていた	942	47.5
詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった	648	32.7
知らなかった	393	19.8



6. 過去1年くらいの間に、外出の際、高齢者・障がいのある方・妊産婦・乳幼児を連れた方などが困っているのを見かけた際、どのようにしたか。

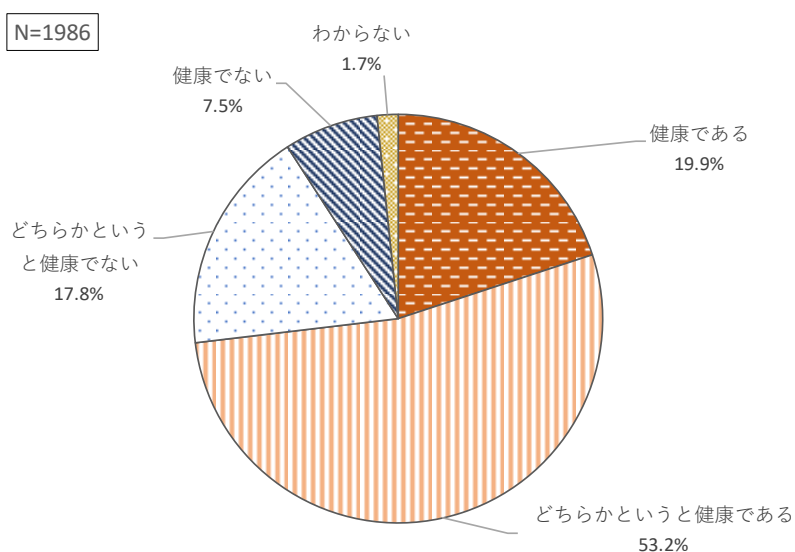
回答選択肢	サンプル数	比率
【全 体】	1929	
積極的に自ら手助けをした	579	30.0
相手から求められて手助けをした	193	10.0
話しかけたり、声をかけたりしたが、手助けまで至らなかった	309	16.0
何もしなかった	125	6.5
困っているところを見かけたことは無い	697	36.1
その他	26	1.3



■ウエルネス（健康）に関する質問

7. 自分自身が健康であると感じるか。

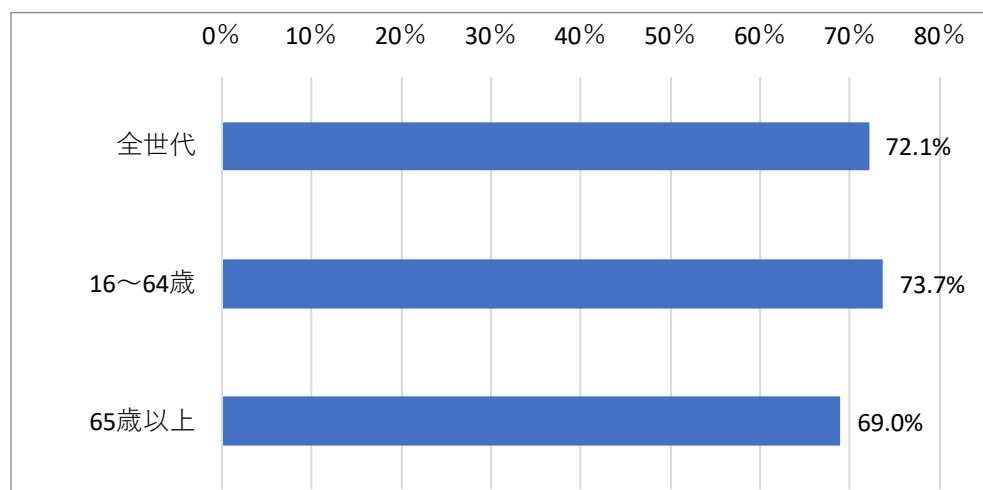
回答選択肢	サンプル数	比率
【全 体】	1986	
健康である	396	19.9
どちらかという健康である	1056	53.2
どちらかという健康でない	353	17.8
健康でない	148	7.5
わからない	33	1.7



【健康だと思う割合】

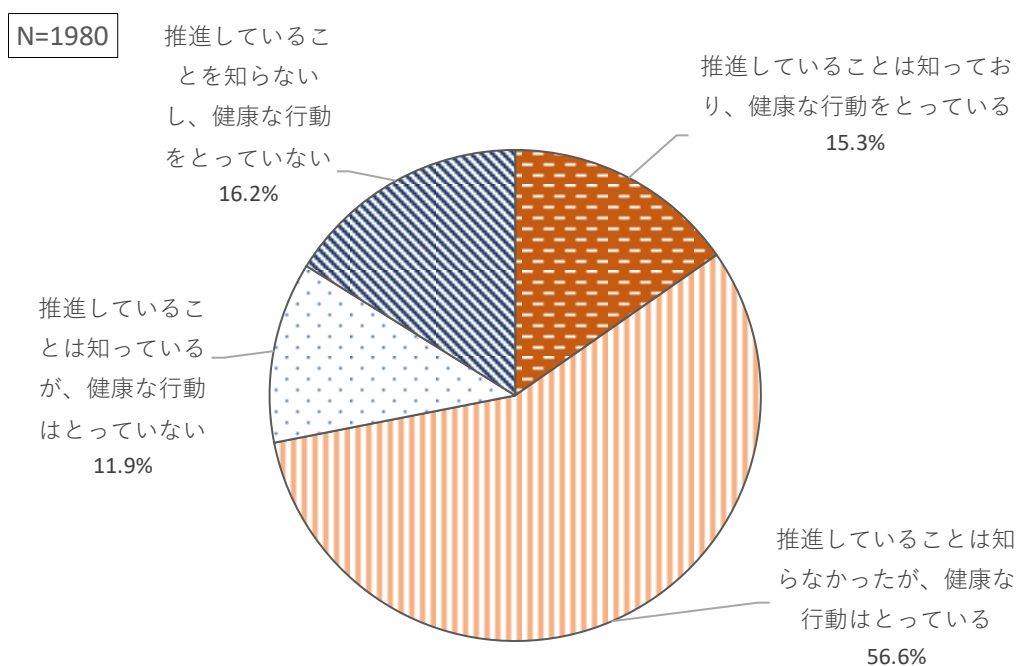
※「健康である」＋「どちらかという健康である」

対象	サンプル数	比率
全世代	1452	72.1
16～64歳	1020	73.7
65歳以上	425	69.0



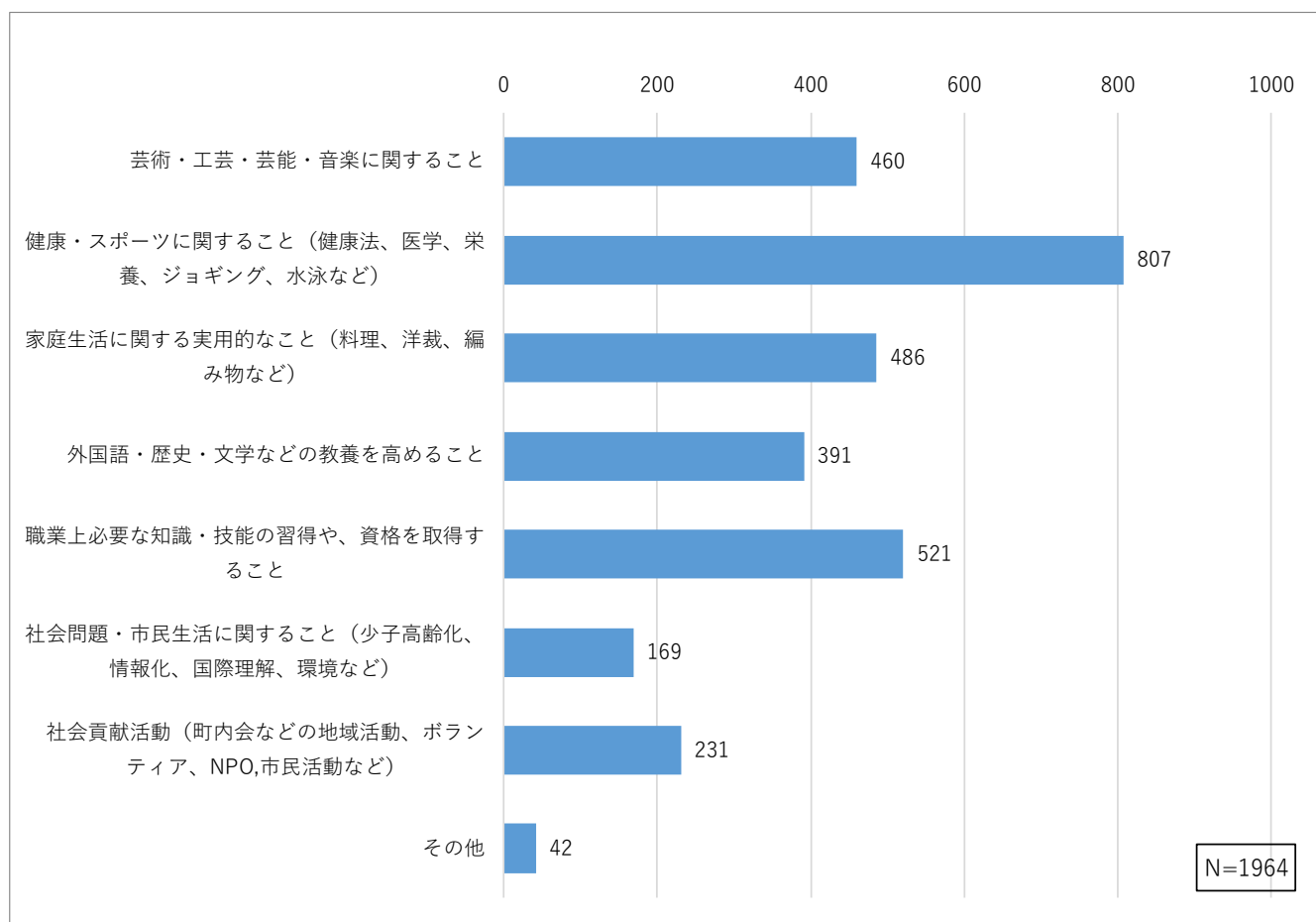
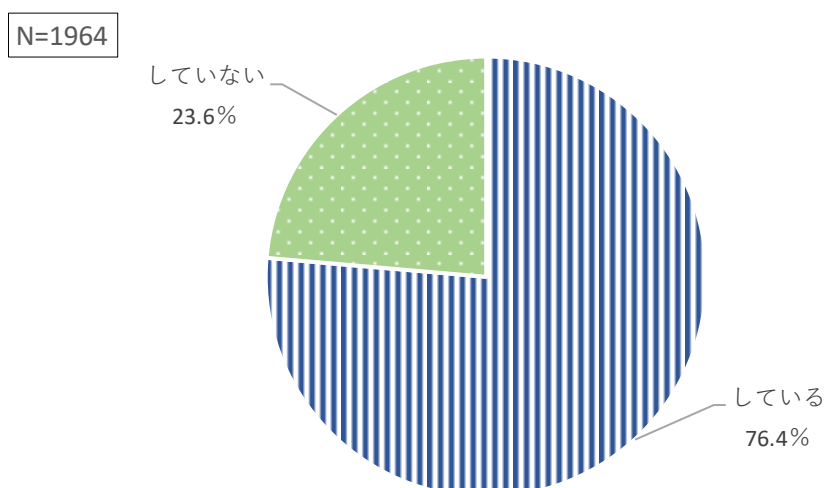
8. 札幌市が「ウェルネス」（健康）を推進していることを知っているか。また、日ごろから意識して健康な行動をとるようにしているか。

回答選択肢	サンプル数	比率
【全 体】	1980	
推進していることは知っており、健康な行動をとっている	303	15.3
推進していることは知らなかったが、健康な行動はとっている	1121	56.6
推進していることは知っているが、健康な行動はとっていない	236	11.9
推進していることを知らないし、健康な行動をとっていない	320	16.2



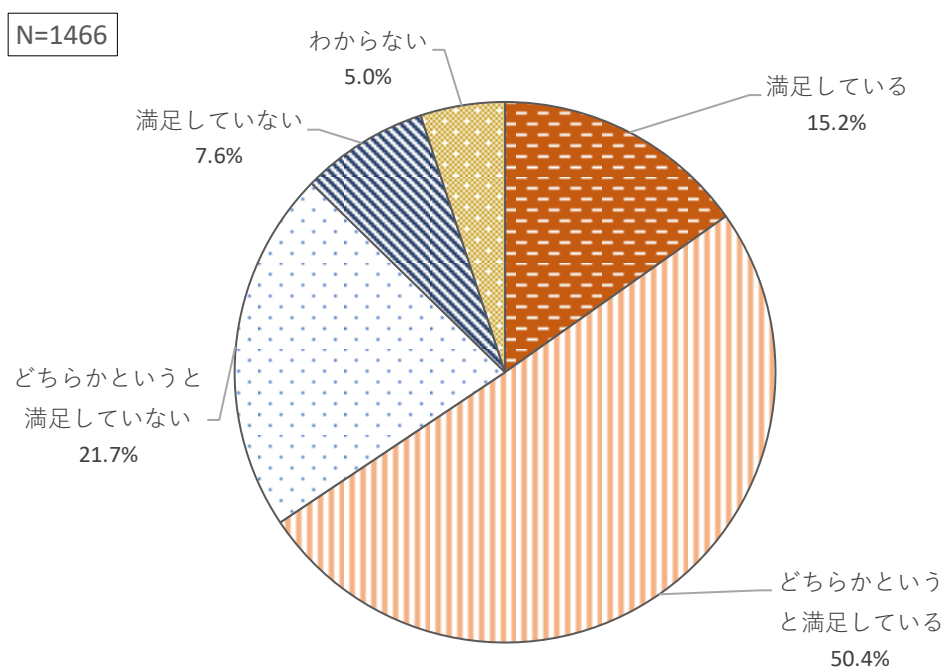
9. 次にあげるもののうち、あなたがいま生涯学習として取り組んで（学んだり、活動したりして）いるものはあるか。

	サンプル数	比率
回答者全体	1964	
している	1500	76.4
していない	464	23.6



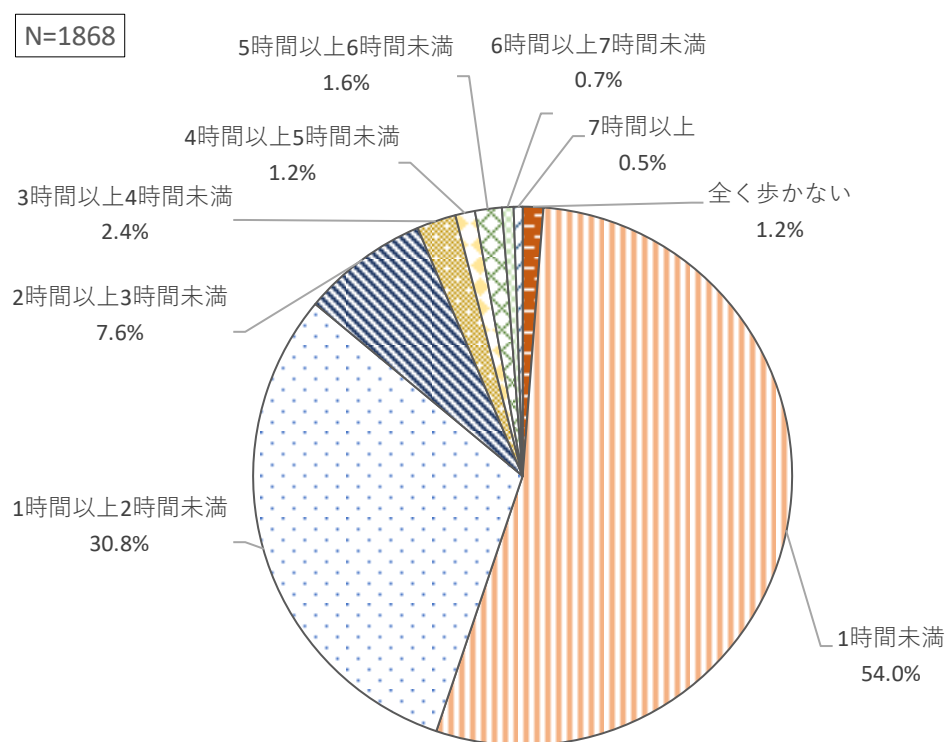
10. 現在の学習や活動の環境に満足しているか。《9で1～8に○をつけた方が対象》

回答選択肢	サンプル数	比率
【全 体】	1466	
満足している	223	15.2
どちらかという満足している	739	50.4
どちらかという満足していない	318	21.7
満足していない	112	7.6
わからない	74	5.0



1 1. 1日に何分くらい歩いているか。(通勤・通学を含む)

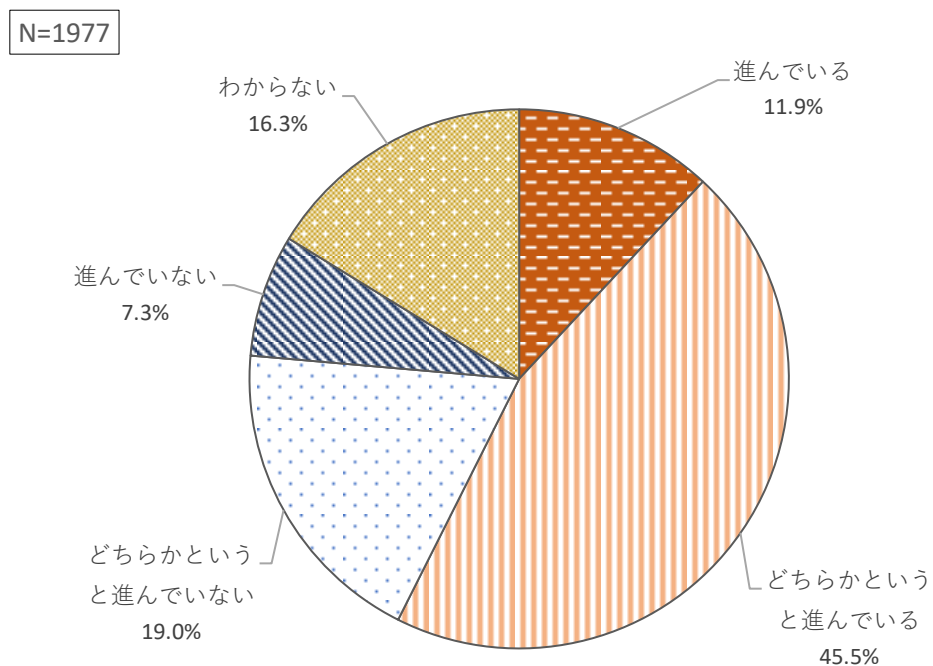
回答選択肢	サンプル数	比率
【全 体】	1868	
全く歩かない	23	1.2
1時間未満	1008	54.0
1時間以上2時間未満	576	30.8
2時間以上3時間未満	142	7.6
3時間以上4時間未満	44	2.4
4時間以上5時間未満	22	1.2
5時間以上6時間未満	30	1.6
6時間以上7時間未満	13	0.7
7時間以上	10	0.5



■スマート（快適・先端）に関する質問

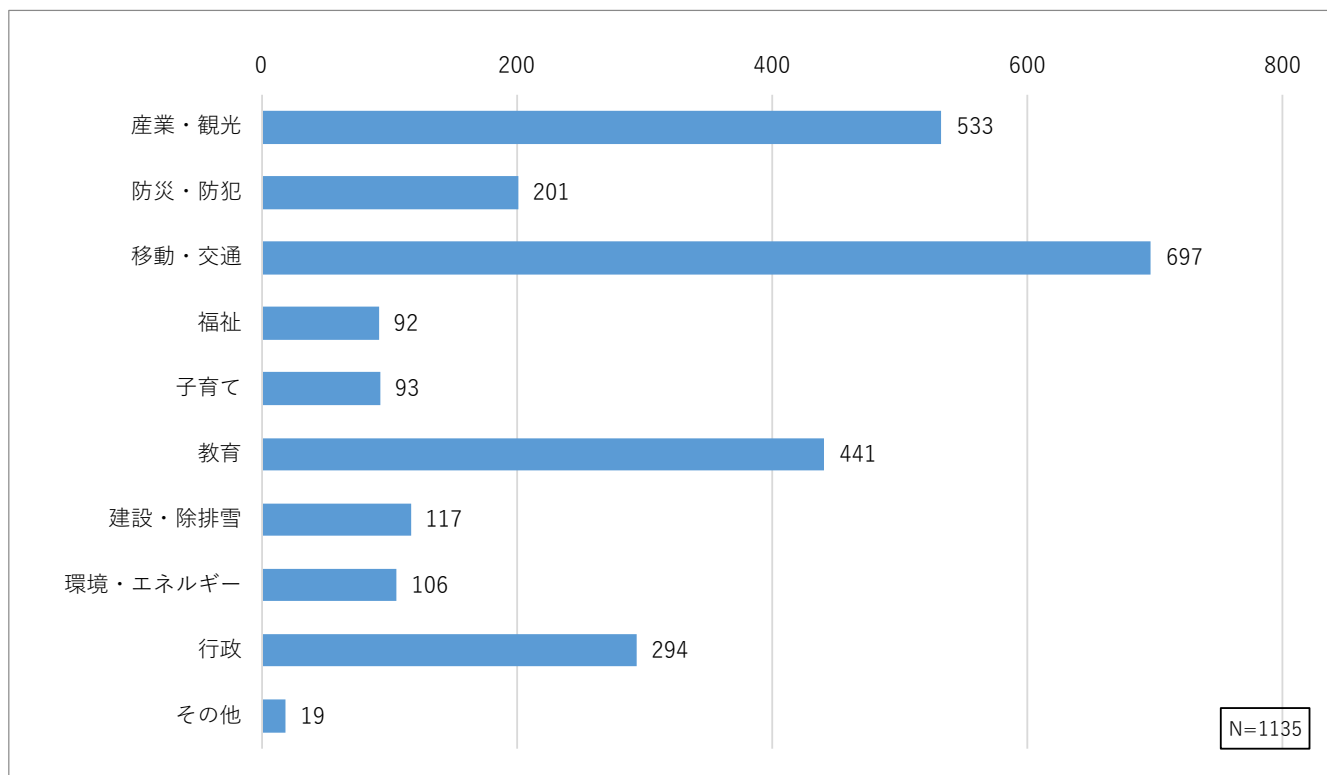
１２．まちのデジタル化が進んでいると感じるか。

回答選択肢	サンプル数	比率
進んでいる	236	11.9
どちらかというに進んでいる	899	45.5
どちらかというに進んでいない	375	19.0
進んでいない	145	7.3
わからない	322	16.3

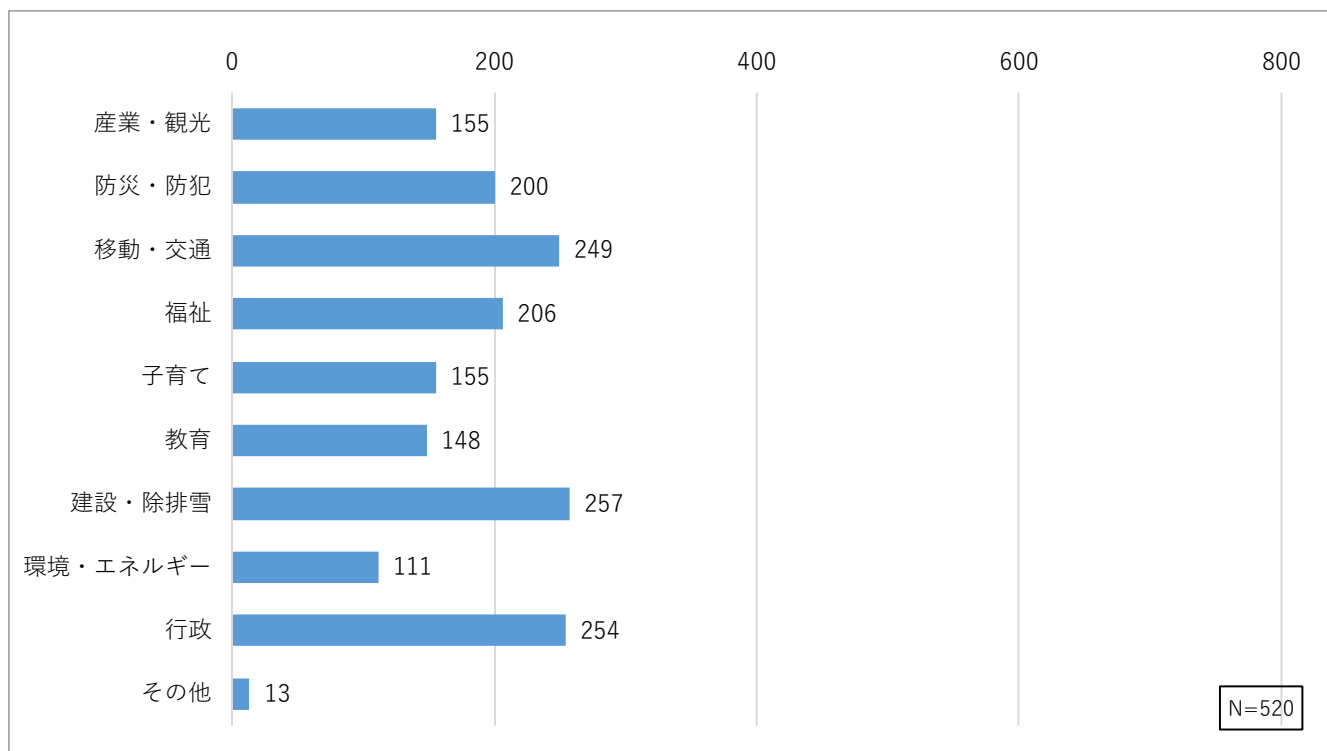


13. 12で答えた理由として、どのような点でデジタル化が進んだ（または、進んでいない）と思うか。

【進んだと思う理由】



【進んでいないと思う理由】



問 4 今後の札幌市のまちづくりにとって重要だと考えることを、ご自由にお書きください。

問 2 自由記載において、今後の札幌市のまちづくりについて寄せられたご意見を内容に応じて分類している。また、そのうちの代表的な意見の一部を抜粋の上、分野ごとに掲載する。

なお、複数分野にわたってのご意見があるため、N と件数の合計は一致しない。また、明らかな誤字については、表現を修正している場合がある。

N=983

分野	意見の内容	件数
子ども・若者	子育て支援	82
	子育て中の労働	10
	保育園・幼稚園・児童館	11
	ひとり親家庭	3
	教育環境・学校設備	45
	いじめ・虐待	5
	子どもの医療・福祉	13
	若者への支援・定住	29
暮らし	医療・福祉	36
	除排雪	125
	バリアフリー	16
	道路・交通	54
地域	地域・町内会	18
	多世代間交流	4
	安全・安心	10
	高齢者・障がい者	83
	外国人の移住・労働	9
安全・安心	国際化・国際交流	5
	災害対策	23
	治安・防犯	18
経済	冬の対策	34
	企業・産業・観光	33
	食産業	5
	雇用・賃金	47
	消費税・物価高	12

分野	意見の内容	件数
文化・スポーツ	文化・芸術・スポーツ	11
	イベント	17
	オリンピック	17
環境	自然エネルギー・環境	17
	野生動物	19
	ごみ	13
都市空間	公共交通	101
	新幹線延伸	13
	地下鉄延伸	39
	郊外部の開発・発展	9
	公園・運動施設	26
	景観・建物・自然	44
	上下水道などの都市基盤	12
	公共施設	44
その他	まちづくり全般・札幌について	48
	道内市町村の発展・連携	6
	人口減少対策	24
	行政・税金など	42
	情報発信	32
	市民の意識・意見	33
	ペット	2
	政治	4
	アンケートについて	17
	次世代を見据えた街づくり	12
	デジタル化	29
	その他	42

分野1. 子ども・若者

- ・ 子供2人目の保育料無償化をこの先も続けてほしい。育児しやすい市にしてください。
- ・ 今は、札幌に住んでいるメリットはあまりない。地方に行けば子供に関する支援金や、家を建てる時の支援金など色々とある。子供をまだ産みたくても、産んだあとの費用を考えると産めない。
- ・ 子育て支援の更なる強化や「誰ひとり取り残さない社会」を作る事。
- ・ 子育てをこれからする（また、現在している）世代への経済、精神的支援を増やして子育てをしやすくし、様々な支援を充実させてお年寄りのみではなくて、若い人々も一緒に暮らし高め合っていけるそんな町づくりをしてほしいです。
- ・ 札幌は好きですが、若い世代としてもっと子育てしやすい街になってほしいです。
- ・ 子供を産み育てやすいように、もっと20代の若い世代へ賃金を投入してもらいたい。女性が子育てで仕事を出来ない間、もっと金銭的に補助してもらいたい。
- ・ 子育て支援をしっかりすべき、子供の安心してあそべる環境を確保してほしい。
- ・ 小・中学校の義務教育であっても、金銭的な負担が多い（給食費や学校諸費など）。
- ・ 少子高齢化が進んでいるので、若い世代が「住み続けたい、住んでみたい」と思える街になることが重要だと思う。例えば、公園の設備が進んで子育て世代が集える場所が多いとか、保育料の無償化、子どもの学びの場が十分に整っている、など。若い世代が増えれば様々な可能性が生まれると思う。
- ・ 子どもを成人まで安心して育てられるよう児童手当等を増やす。
- ・ 子どもが3人以上いる家庭の高校や大学の授業料無償化希望。
- ・ 安心して子育てができる支援。今の日本の経済状況で子を産みたい、育てたいと思えない。このままだと日本は衰退していくと思う。
- ・ 保育園の無償化や給食費の無償化、牛乳券などのように用途に応じたクーポン券の配布をして欲しいです。
- ・ 子育て家庭が住みやすい環境だと思う（公園が多い、大きなショッピングモールも多い、自然豊か、四季を感じられる等）ので、それを無駄にしないためにも、子育て支援の制度面もどんどん良くなるといいと思う。生後1年間ミルクやオムツの配布とかこども医療費無料、公共施設の入場料無料など。温かい街で子育てができるとうれしいし、子どもにも札幌市のよさを伝えていけると思います。

- ・子育てをしやすいまちにしたい。学校のエアコンの早期設置、放課後に集まれる場所、地域の大人たちで見守れる場所作り。共働きでなければ家計を維持できない、子どもが留守番になるというのが私を含めて周りの子育てしている人たちの現状です。時間とお金を工夫しながらやりくりしています。国や市からの金銭的な援助も今後増やしてほしいです。最近実施された牛乳・米の配布もありがたかったです。子育て世代が見放されている、期待していないと思わないような継続的な支援をどうかお願いしたいです。
- ・待機児童をなくし、家の近くの保育園に入園できること。子育てが金銭的にもしやすくなっていること。
- ・児童・生徒が自分の意見を出しやすい教育現場をつくること。
- ・少しでも安心して子育てできるまちづくり。子育てしているの困る場面をリアルに考えて想像できるような周知の方法。また、夜間の医療体制の質の向上。小児科をきちんと診ることができる医師の確保。
- ・児童館の新しい施設への改修、こどもが通う施設へのエアコン取付、公園の遊具の点検、改善、妊婦や家庭はもちろん、子どもに関係あることに対しての金銭支援を求めます。同時に子どもに携わる人間の給料増加を求めます。人手不足と言われているほどだから、保育士の給料をあげるべきです。札幌市で教師が足りないと言っている割に合格率低いのはどうかと思います。質のいい教師だけ入れたいのなら足りないとか言わないで。
- ・学生のいじめに関する当事者のケアやいじめの罰則化や、家庭での子供の権利の拡大が重要だと考えます。
- ・18歳以下の子供への支援、行政サービス（医療補助など）は親の所得は関係なく全員一律にしてほしいです。子供は社会皆で育てることを強く願います。
- ・もっと若い人が、育児のある生活が魅力的になるように、住宅保護や子育て支援を受けて、札幌に住みたいと思うようになること。外国人や障害のある人が、もっと社会に出て行きやすい札幌になること。
- ・児童手当を3人目以降に金額増量じゃなく、1人目から多くして欲しい。じゃないと欲しくても産めない。
- ・小中高の子供に対する街中での、居場所や遊び場の提供。
- ・子育て世帯を支援する制度やサービスをもっと充実させてほしい。家事代行などのサービスをもっと気軽に安価で利用できれば、より子育てしやすく、住みやすくなると思います。
- ・清田区のベビーファーストの取組は、とても良いと思いますが、施設整備以上に「子どもは社会が育てる」という意識の向上を目指し、子育て世帯の心身、経済の負担を軽減する事で、少子化の問題なども複合的に取り組んでいくことが必要だと思います。

分野2. 生活・暮らし分野

- ・年齢関係なく病院にかかりやすくなると良い。予防接種や検査費用がもう少しお手頃だと嬉しい。どこ
の企業や教育現場も人手不足で仕事量は増えているのに給料は変わっていない。
- ・老人、障がい、子供のケア、医療の充実。また、急な発熱等に対応する病院が少ない。
- ・子供や自分が病気をした時、今ネットでの予約が主流だが、全く予約がとれないのがすごく辛いと感じ
るため、その体制を少し考えてほしい。
- ・道路の安全性、福祉職員の待遇改善（介護士、保育士、児童発達支援、放課後等デイサービス職員）。
- ・子供の安全性や、介護が必要な人でも介護認定が1～4の人の入れる施設が無く、いざ入るとなると高
く、近所や身内の老人達が大変困っています。年金で入れるような安い施設を作ってくれないとその子
供達が面倒を見る事になり困っています。
- ・障がい者への心のバリアフリー、障がい者への制度拡充、独居の高齢者への対応（声かけなど）、除雪対
策など。
- ・除雪の予算を確保し、除雪、排雪を強化してほしいです。
- ・冬の除排雪をもっとしっかりやってほしい、特に通学路を優先的に。歩道が雪で埋まっていると子供達
が道路を歩くことになり危険。
- ・冬の生活を快適にするには、除雪、排雪をいかにスムーズに行うかだと思います。残念ながら毎年不十
分な状況と感じております。狭い歩道の除雪は車道よりも優先度が低いと感じており、車道の除雪、交
差点のロードヒーティング化を進めるべきです。
- ・冬期の除排雪対策を強化すべきです。道路事情で車の通行や停滞することが多く、国際都市と鍼打つよ
りも、先に交差点の除排雪に指導が必要です。
- ・今年は雪が多くて大変でした。道路の雪を除いて下さい。それとバスの減便によりとても苦勞していま
す。
- ・札幌市の目指すべき都市像、まちづくりの基本的な方向性で言うならば、やはり北国の雪対策は第一に
方向づけられなければならないと考えます。市の住宅地と言われる全てが除雪、排雪が行き届いてい
るかと言うと排雪が充分でないように思われます。この排雪をさらに強化し、目指すべく都市像にしたい
ものであります。
- ・特に冬の期間の暮らしにくさをハンデと感じる。雪の除排雪が遅く、車の移動がバスだと通勤しにく
い。

- ・今年の冬の住宅街の道路は頻繁にザクザク路面になり、スタックする車が続出しました。降雪時は迅速に除雪車を出動させてくれています。それと同様に冬に異常な高温になったときにも除雪車を出動させ、ザクザク路面によるトラブルが発生しないようにしてほしいです。
- ・冬季にバスや JR が機能しなくなる問題や、雪や凍結路面の問題をもっと改善してほしい。除雪作業を増やすのではなく、除雪が必要な範囲を減らすようなインフラを増やしてほしい。
- ・新しくできる建物はバリアフリーやユニバーサルデザインなど充実していますが、そのような場所を利用する人は限られています。意外と必要としている人が（老人や小さな子が行く場所）集う所は昔のまま不便だったり、汚かったりしています。
- ・車イスを利用する障害者や、高齢者が街中で安全に利用出来る様、バリアフリーの設備を進めてほしい。特に冬は、雪の上を車イスが移動するのは困難です！冬の札幌は住みにくいと感じる。
- ・交通網の強化及び地下鉄の老朽化した設備の復旧。地下鉄の延伸が出来なくてもバリアフリーの強化（エレベーター設置がかなり少ない）地下鉄や他モータリゼーションの拡大をしないと、市内の住居キャパシティがパンクするようには見えます。
- ・道路の点字プレートの劣化が激しい箇所が多数あり、目の不自由な方が苦勞されているのではないかと心配しています。材質によっては、健常者でも雪や雨で滑りがちでヒヤッとするので、少しずつでも滑りにくいものになるといいと願っています。またホームレスの方が安心して暮らせるよう支援が必要と思います。
- ・超高齢化社会に向け、公共交通機関の充実を図ると共に、高齢ドライバーの運転免許証自主返納者にタクシーチケット等を交付し、交通事故の防止施策を推進して欲しい。
- ・バイクに乗るのですが、札幌駅の周辺でバイク止められる場所がありません。自転車の駐輪場はおおいのですが、50cc 以上のバイクを止められる場所を作ってもらえると郊外からくる人やレンタルバイクで来る観光客なども助かると思います。
- ・雪どけ後の歩道が穴ボコだらけで、車イスの人がとても大変そうだったので、歩道をきれいにしたり、広くしてほしい。

分野3. 地域分野

- ・押し寄せるネット社会による心身の崩壊から次世代を守るべく、町内会・学校と強く連携し教育する事が、まず、今後のまちづくりに必要な事が市と市民にとって重要と思う。
- ・自治会活動でまちづくり・地域活動を支える部分があるかと思いますが、世代交代をするべき時期を過ぎても、ご高齢の方が活動が続けられている現状があります。しかし、私達世代は、共働きなどの事情でその活動に割く時間の余裕がないのも現状です。まちづくりにとっては、地域活動も大切になってくるかと思いますが、地域に住む子育て世代の参加も必要だと思います。子育て世代の意識・参画の推進を、もう少し行政の手助けもないと、なりたたなくなるのではと危惧しています。
- ・地域ネットワークを充実させて、孤立のない地域の実現を期待します。
- ・地域の行政・市政に関心は深いですが、個人的な参加となるとほとんどチャンスが見出し得ない。町内会は近密すぎてかえって参加する意欲はそがれる。もっと広いつながりで自覚的な話し合いをしたい。
- ・市民が相互助の気持ちがなく、繋がりが薄い。
- ・若い層と高齢層が分断している。市の政策の利益が相反しているからだが、融和できる施策を生み出すべき。敬老パス問題のように、拡大したものを削減するのは避けるべきだ。
- ・以前居住していた地域と比べると、公共交通機関が発達しており、外出が容易にしやすいになっている。この利便さを維持してほしい。自家用車で市内を移動する際に車、自転車、歩行者のマナーの悪さが散見され、1人1人の安全に対する意識の低さがとても気になる。
- ・人にやさしいまちづくり（安心して暮していける）。
- ・安全、安心に住める街、お互いに助け合い、愛を持って接して行ける町にしたい、札幌は全世界に誇れる町になってほしい。
- ・体力が弱く足腰が不自由な高齢者に対するエレベーター、エスカレーター等の設備が不十分。(例) 上りのエスカレーターばかりで、足の不自由な方は下りがつらい。
- ・高齢化が更に増え、買い物、病院への通院、冬の雪の日常生活が困るのは目に見えています。若い人達に迷惑をかけない様により一層、日常生活を充実する事に力を入れて欲しいと思います。敬老パスを現状続ける様をお願いします。
- ・障がいのある方、高齢者も住みやすいまちづくりをこれからも進めていただきたいと思います。
- ・高齢者の外出の機会を増やすなら、介護タクシーの利用クーポンを配布するとか必要。少ない年金で施設に入って入る人は、残りのお金が少なく、外出するだけでもお金がかかるのでその機会は減るか。

- ・高齢化社会に向けて、高齢者が孤立しないようコミュニティの場の推進を。2、塊の世代が高齢化を迎えるので、一人の独居老人が孤独死しないよう、見回り隊などを設置されたい。3、高齢者が賃貸マンションの入居(1人)がしづらい(事故物件を懸念)。
- ・4月から障害者差別解消法で合理的配慮が義務化されましたが、合理的“配慮”ではなく正しくは合理的“調整”という声の一部であり、私もそれに賛成です。“配慮”では「してもらって当然」と無理難題を押し付ける障がい者が現れ、対応する側が疲弊するばかりでなく、障がい者への風当たりが厳しくなり、障がい者にとってもマイナスになると考えます。そうなると共生社会からは程遠くなるのではないのでしょうか。札幌市は発達障がいにおいて“虎の巻”があることで一目置かれているので、他の自治体や国に先んじて“合理的調整”と言うようになったら、共生社会に力を入れているという印象をさらに与えられるのではないのでしょうか。ぜひ考えていただけると幸いです。
- ・コロナ禍あけのため、どれだけ外国人を誘致できるかが、大切かと思います。また、LGBTQの方や、障害を持つ方への理解が足りていないので、理解を求めるようなまちづくりをお願いいたします。
- ・北海道への留学生が札幌市で就職した場合、本人の意向があれば国籍を与える。若き労働者の家賃負担軽減（支援）。
- ・日本人で健常者なら何の問題もないと思う。外国人にとっては、英語もあまり通じないし、車いすの人は不便なところがまだたくさんあると思います。
- ・海外との交流を更に進めること。
- ・乳児から参加できる国際交流の場、イベントなどがないので企画してほしいです。又、世代・年齢を超えた交流の場があると、赤ちゃんにとっても高齢者の方にとっても刺激ある楽しい時間となると思いますし、小中高生との関わりを赤ちゃんがとれると兄弟がいなくてもお兄さんお姉さんとあそぶ楽しさを、あじわってもらえるのではないかと思います。よりよい札幌市となるようお願いします。

分野4. 安心・安全分野

- ・ 自然災害（地震、大雪等）への対応・対策の組織強化（区、町内会等）。
- ・ 厳寒期の災害への対策が十分にされているとは思えない。寒さ対策、プライバシー確保の施策をより進めるべき。寒い体育館でザコ寝など先進諸国では考えられないため、十分な対策を望む。また積雪時期の身体障害者の移動が保障される施策も必要だと思う。
- ・ 地下鉄網（シェルター機能を持たせて）を充実する方向で交通体系を。また、大水態勢（市内全域2 m以上）で、市立小中校への避難場所では不具合につき、近辺の高層マンション緊急受け入れ許諾条例設定の検討を。
- ・ 地震などの災害時に強いまちづくり。費用面でむずかしいと思うが、地震の際に地上にある電信柱や電線がどうなるのかこわい。老朽化する水道管などの設備の直しも重要だと思う。
- ・ 冬季の交通整備にもっと力を入れてほしい、防災時の情報や対応方法をもっと市民に発信してほしい。
- ・ 行政として行うべきまちづくりの項目を整理した上で、もっとわかりやすい政策を具体的に行うべきである。例えば、災害時における避難所の設置、物資の提供のための必要なものを備蓄等。あきらかに危険な道路の改築。
- ・ 治安の維持。受動喫煙の完全防止。歩きタバコをさせない。
- ・ いじめ対策、ごみのポイ捨てへの対処、ごみを捨てる際の分別することを呼びかける。子供や女性、高齢者を犯罪から守るため、町全体のパトロールの強化。
- ・ 犯罪を未然に防ぐ取組の質の向上を望みます。凶悪な犯罪が増えていることに危機を感じます。お年寄りや女性、子どもが安心できる街づくりの発展を望みます。
- ・ 冬期の大雪に備えたインフラの整備、地下鉄の延伸、大通の地下にたむろする子どもや若年層によって阻害される治安や景観の維持。
- ・ 冬の札幌駅が寒すぎるため、いつくるか不明なJRを待っているのは体調面で、健康被害が出ている。改札前で電光掲示板が全て真っ暗なため、いつ動くはわからないためその場から離れられず寒い、ストーブの設置などをしてほしい。
- ・ 厳寒期の災害への対策が十分にされているとは思えない。寒さ対策、プライバシー確保の施策をより進めるべき。寒い体育館でザコ寝など先進諸国では考えられない。十分な対策を望む。また積雪時期の身体障害者の移動が保障される施策も必要だと思う
- ・ 冬季の交通整備にもっと力を入れてほしい。防災時の情報や対応方をもっと市民に発信してほしい。

- ・冬の交通整備。子育てはしやすくなっているがまだまだ働きづらい環境あり。物価があがっても給与が上がらず暮らしづらい、特に冬は光熱費が高く厳しい生活の方々が多い。札幌は住みやすく、少し行けば山があり海もあり、街中も近く本当に暮らしやすいので、もっともっと伸びしろがあると思います。
- ・冬期間の交通をよりよく使いやすくして欲しい。電車、バス、車ともに雪で身動き取れないことが多くあるので除雪排雪の回数を増やして欲しい。
- ・冬場の子供たちの安全確保、遊び場の確保。
- ・冬期の大雪に備えたインフラの整備、地下鉄の延伸 大通の地下にたむろする子どもや若年層によって阻害される治安や景観の維持。
- ・雪への対応 高齢者が取り残されないようにする対策。
- ・積雪が多くなった時交通機関麻痺や道路状況悪化防止。
- ・やはり冬場の交通機関の整備や除雪の円滑化、道に雪山が積まれていて運転していて事故が多発しそうです。
- ・子供やお年寄り、身体の不自由な方たちが安心して歩けるよう冬の歩道を確保にしていきたい。
- ・冬期凍結路面散布の砂による、公害的影響の対策の検討（歩道は春先に景観悪化）。市民全てが使用できる靴滑止め用品の開発。
- ・冬の除雪をもう少し強化してほしいです。（2年位前）何年か前の大雪の時よりは去年は除雪すすみましたが、JRがすぐに雪で止まるのとかなんとかしてほしいです
- ・交通整備、路駐の対応、ぼこぼこ道、除排雪をこまめにしてほしい（生活道路は最悪、ハマる車が多過ぎる）。
- ・災害が起きた時及びライフライン、例えば停電になった際にどうすればいいのか、市民への連絡体制方法はどうするのか？冬季期間の除排雪、もう少し頑張ってもらいたい。
- ・冬季の生活（状排雪、つるつる路面、横断歩道や歩道）の困難がもう少し小さくなるととても助かります。

分野5. 経済分野

- ・公共事業を積極的に増やし、建設業界を盛り上げてほしい。建設業界の残業の考えをゼネコンがきちんと理解し、現場で働く職人がもっと働きやすく（臨機応変な工期の延長等）してほしい。
- ・経済が活性化すること、景気の良いまちづくり、収入が多いまちづくりが重要だと考えます。
- ・札幌が北海道開拓と発展の歴史の姿を俯瞰図的に、住民や訪問される世界中の人々に見てもらえるような場所を、知事公館敷地に計画すべきと考えます。道開拓記念館は遠隔すぎて特に冬は利用しづらい環境である、多くの観光客からもそうした話を聞く機会があった。市長が JR 計画より先行して札幌駅周辺の建築や施設の完遂を約束しているのは当然とはいえ立派です。
- ・インバウンドの方々から観光税を取り、交通網や運転手の充実を計り、バス等の本数を増便し、日常に使用する方々が困らないようにすることが重要です。
- ・産業としての観光事業は必要であるが、市民生活は最優先されるべき。文化の違う様々な国の人々が訪れるに際し、市民の安全、公衆衛生、平穏な生活が乱されぬ様に環境整備に力を入れて欲しい。
- ・今後、札幌市も含めた北海道の人口減少が進んでいくこと、支店経済から脱却できていないこと等を考慮すると、札幌市の経済成長・市民の所得向上を図るための施策が、これまで以上に求められると考えています（観光や半導体、IT 産業等）。また、市役所の行財政改革を進め、メリハリのある財政支出を図るとともに、上記施策の推進を図るべきと思います（単に予算を減らすのではなく、産業・インフラ部門や重要性が高まっている部署に振り替えるなど）。
- ・自然が多く、家賃も安い、コンパクトに街がまとまっていて生活に困らないなど、非常に住みやすいと感じています。一方で、研究職など優秀な人材を雇用する企業、職種が少ないことを課題かと。北大生が雇用（賃金の低さ、職種のなさ）を原因に、札幌から離れたくなくても道外就職に流れていることも多く見受けているため、優秀層を確保できる企業、工場の誘致を行って欲しいです。
- ・防災についてもっとライフラインの安定性を重視すること。札幌市のイベントでたくさんの旅行客を集め観光業を潤わせること（インバウンドも含め）。
- ・道民だと食以外は観光としては微妙なイメージ。夜の店は盛り上がっているが日中に行けるようなレジャー施設が少ない。数ある中でもクオリティが良くないため、道外と比べると行ってみたらショボいという印象が強いように感じる。
- ・インバウンドを当てにしているところがあるが、目玉になるランドマーク的なものが何もない。札幌に来たい、と思わせる魅力的なものが何もない。雪まつりで外国人観光客は来るが、冬季はニセコに完全に負けている。外国人ではなく日本人が札幌に来たいと思わせるようなものを作らないとダメだと思う。例：円山動物園にパンダを呼ぶ、モユクのような水族館ではなく大型水族館を作り、ジンベイザメやラッコなど日本で数か所で見られない生き物を飼育する、日本初出店の店を東京より先に誘致するなど、東京に負けない珍しいものを生み出すべき。

- ・物価の低減化、第一次産業者と物流業への支援、援助。
- ・食が充実しているので、日本国内の人を呼びこんでほしい。今回のQに対するAの理由に近いものの記載がかたくなるしい表現でイメージしにくい。もう少し自身の生活にリンクするようなつくりにしてほしい。
- ・「心身共に健康な人づくり、まちづくり」「みどりの食糧システムの戦略の法制化」の持つ意味、皆で有機農業に取り組みまちづくりを維持していく生き方から転換、食を突破口にして進める美味しい、地域環境問題まちづくりまでも見据えた食の実践。自助、共助、互助、公助。
- ・所得により生活レベルの違いが、かなりの差になっている現実を考えて行く。
- ・職場では、社会保健を付ける事ができません。5時間以上から可能ですが社会保健をつけなくてもいいように働かされるので、やる気がでません。誰もが働きやすいようにしてほしいです。
- ・最低賃金の引き上げ、学生（高校生）だからと賃金に差をなくす。役職など仕事内容が同じの場合。
- ・学校（高校生等）卒業して働ける企業等の「ゆうち」を進めていただきたい。
- ・産業をたくさん作ってほしい。若者の雇用がないため、このままでは将来人口が減って行く。同じ規模の福岡県に劣ってしまう。
- ・失業者やニートを無くして誰もが働ける環境を作る。貧困をなくす。
- ・産業の育成、若い人の雇用環境の増大を更に図る。
- ・働く層への支援。物価高・不景気の改善又はそのような状況下でも満足を得られる施策を。
- ・円安等の影響で経済が落ちこんでいると思われるので何とかしてほしい。
- ・冬の除雪・排雪の充実、電気料金の見直し。
- ・子どもが安心して遊べる大型公園の整備。具体的には駐車場も含めた増設。大型複合商業施設の誘致。地域商店街へ市民が足を運ぶようになるためのイベントなどの開催、そこに伴う市からの地域商店街への助成の拡大。
- ・若者や働き世代が魅力に感じるまちづくり。働き場や生き方の選択が札幌は少なく感じます。
- ・労働賃金の上昇、子育て世代の母親の雇用の拡大、フレキシブルな雇用形態の拡大、子育て世代への支援。

分野6. スポーツ・文化分野

- ・とにかく文化的（美術館など）施設が少なく、また近美もろくなイベントをやっていない。芸森は遠すぎるため行かない、札幌は文化都市とは言えません。図書館の本が古くて読めない。
- ・中途半端。スポーツまちづくりの核になる日ハムが転出してしまったのは、大きな痛手。
- ・ウィンタースポーツシティとしての対策が弱い。子供達への育成の補助等が必要と思う。
- ・2年前に神奈川から移住しました。自然の豊かさは素晴らしいが、都心のサービスと比較すると足りないものを感じています。また、クリエイティブ関連の仕事をしているのでアートに触れられる機会、場所が少ないのが残念であり、子どもたちの生き方の選択肢が少ないのではないかと心配です。
- ・実際に自ら動くスポーツの健康増進も大切だが、観るスポーツも大切だと考える。札幌には何チームかのプロスポーツチームがあるが、どこまで札幌市として支援しているのか、全然見えない。魅力的なスポーツチームを見て、子供も大人も自らスポーツを楽しむきっかけになることも多いはずだと考える。冬季オリンピックに反対する市民が多かったのは、そこにお金をかけることよりもっと身近なプロスポーツを大事にしてほしいという意味もあるのではないかと考える。日本ハムが札幌を離れたのは残念だし、札幌市が大切にしていなかった証拠ではないだろうか。
- ・空地があるとすぐにマンションが建てられる。空間のないつまらない街になっている。毎年、大通公園で花フェスタがありますが、もっと動きやすい季節の楽しみ、例えば海外の（フランス）の様にブロカントショップ等、生活が豊かに日々楽しめる（歩きながら）催し物もいいと思います。あまり遠くでなく、街の中心部で。夏のビールは屋上ですると良いです。札幌まつりの北海道神宮、中島公園の出しも、もっと検討されて欲しいですね。
- ・札幌ドーム周辺の目立つ広場を活用してほしい。キッチンカーやストリートライブの許可を出し、日常生活に人が集まりかつ、自主的な文化交流を感じられる場が札幌に必要だと思う（スケボーエリアも作ったのに、惜しい）。市が主催するイベントは色々な意味で重たすぎる。（もう少し気軽に参加出来るイベントを開催してほしい）。
- ・夏は青年達中心によさこい祭・子ども達向けに大通り夏祭り盆おどりは夜遅い。秋は大収穫祭（野菜や果物を買いたい）冬は、雪まつりの他にも雪合戦（もう少し規模を大きく行ってほしい）。
- ・オリンピック、日ハム移転、新幹線延期、暗い話題が多い。こまい地域での祭り事があったら嬉しい。
- ・昨今の雪まつりが残念。昔の雪まつりの雪像は素晴しかった。
- ・大通り公園は夏場イベントが多すぎて、気持ち良く散策出来ない。雪まつり会場を他の場所に移して、冬の間イルミネーションを続けていた方が、観光客もその間見られる。特に雪像のこわした後、2月、3月、4月の大通公園は殺風景で寂しい。

- ・オリンピック誘致はやめてほしい。
- ・オリンピックなど無駄な事を考えず、市民の意見を聞く機会をください（例：インターネットなど）。アンケートは郵送でやると税金がかかるため。
- ・オリンピックは不要です。それよりも、除雪をもっと充実してほしい。冬休みが短くなった子供の通学路が、除雪されてなくて危ない。
- ・札幌冬季五輪についてですが、前市長の上田さんが手掛けたからそのまま引き継ぐのではなく、秋元さんが積極的に市民感情や意見を把握し、最初から誘致を断念していれば、誘致に掛かった費用を他の事業に使う事が出来たのではないのでしょうか。
- ・札幌市民の財産でもある、札幌ドームの活用が迷走しています。冬のオリンピックも市民は望んでいなかったのではと思います。市はあまりにも人事です、本気で部署を作って現実的な案を示してもらいたいです。
- ・オリンピック開催誘致案等もあったようですが、多くの市民の声を聞こうとする姿勢が見られなかったように思います。特にこういった大きな物事は、どれくらいの予算でどのようなメリットデメリットがある等提示し、もっと市民に寄り添うべきだと思います。ポスター作成やPRだけに無駄に税金が使われた感がありました。今後に生かして欲しいです。
- ・1972年の札幌オリンピックの施設等、負の遺産と思われるものの（管理会社等も含めて）整理をお願いしたいです。
- ・YOSAKOI祭りの廃止。札幌の一番良い季節に街中で騒がしい祭りはいらない。楽しみたい人、見たい人だけが札幌ドームでやれば良い。都会の中で音と緑を楽しみたい。
- ・雪まつり、よさこいなどイベント事を増やし、継続、集客し、札幌市の良さをアピールする。
- ・札幌ドームなどの施設使用料を安くして、プロスポーツ（レバンガ、コンサドーレなど）を支えてほしい。そのかわりチームと市がもっと連携図って、スポーツで街を盛り上げる活動をすればよいと思う。
- ・健康できれいな街を希望します。各地区にある児童公園は子供も少なくなってきていますので、大人も楽しめるストレッチ出来る設備（韓国のような）など設置して、若者達も近くで体力をつけて将来冬のスポーツに力を発揮してもらえば、冬期オリンピックも又、見えてくるのではないのでしょうか（町内会にくり越金もたまっていますから、参加してもらっても良いかと）。

分野7. 環境分野

- ・地球環境を守ることにも大いに考慮されることを希望します。物欲の勝る世相なので、これ以上自然を破壊出来ないです。
- ・緑の多い町づくりを望みます。
- ・丘珠空港や百合が原公園等を利用することがありますが、環境整備が行き届いてないと感じることが多くあります。両方とも今後の拡張工事等の予定があるのは存じ上げていますが、将来的に長い目でみて集客や地域おこしにつながる様々な工夫をこらしたアイデアを、どんどん取り入れてお金をかけるところはかけて良いと思います。中途半端が一番良くないので今後に期待しています。
- ・開発は必要な事と思うが、古いトンネル、水道管、ガス管などインフラ、災害時にそなえて手なおしをしてほしい。未来を担う子ども達が平和に危険な事がない生活を送れる様にと願う。自然は壊さないで大切にしてほしいです。
- ・自然保護と動物保護、環境破壊をしないこと。利権によるエセ経済活動ではなく、本当に必要なことをしていただけることを望みます。
- ・DX・GXの取り組みを引き続き進めることが重要だと思います。
- ・他の観光都市に比べて、景観を意識した街づくりの意識が足りないと思います。太陽光パネルの侵食は行政の介入がないとやがて取り返しがつかないことになるのでは、と懸念があります。
- ・環境を破壊してまで再生可能エネルギーを積極的に導入するのは違います、原子力も含めて進めて欲しい。またEVの推進についても同じです、EVは手段であって目的ではありません。
- ・せっかく緑が多くキレイな公園でも、大通公園・さとらんど・モエレ沼・近所の公園どこもカラスが多く、ピクニックなんてできない。子供が襲われていたり、大通のイベントでも熱いラーメンを運んでいる人が襲われていたり、白い雪の上にカラスが散らかしたゴミが散乱していたり、カラス対策をしてほしいです。
- ・除排雪、公園の伸びすぎている木の伐採。公園に毎年カラスの巣ができていますので子供たちが遊べないため。
- ・身近に自然のある環境は非常に良いと思うが、野生動物の対策は急務だと思う。ヒグマは勿論、キツネ、鹿など市街地で頻繁に見かける。また、カラスの被害も増えている。10数年前には考えられなかったが、このままでは散歩や家庭菜園、子供の外遊びも安心して出来ない街になってしまう。
- ・野生動物(とくに熊)との距離感。札幌市は自然と触れ合えるのが、魅力的なのに近づき難くなっているため、安心して子供を連れ歩けない。

- ・熊の問題があるので、もう少し駆除の基準など関係する方法などが緩くなってもいいと思う。
- ・自然と共存しているまちとして、札幌市は魅力的だと思うのでそこを大切にしながら、デジタル化を発展して行ってほしいと思う。この間、ニュースで豊平川の河川敷でのＢＢＱの後のゴミがそのまま捨てられていたのを見て、残念で仕方なかった。住民１人１人が気をつけられるまちづくりであってほしい。
- ・もっと環境問題に積極的に取り組んでほしい。街の至る所にゴミが落ちているので、月に１回でも市民がゴミ拾いをする様な活動を仕組化してほしい。観光客にも来てもらう様な取り組みばかりではなく、自然保護などももっと取り組んでほしい。
- ・公共の場や公園などのゴミのポイ捨て、特にタバコの吸殻の取り締まりを強く意識してほしい。ゴミのポイ捨て禁止の看板を建てているのは見ましたが、看板の周りに沢山ゴミが捨てられていました（※東区北１５条１２丁目東くるみ公園）。

分野 8. 都市空間分野

- ・地下鉄の始発時間を早めてほしい。空港へのアクセスを充実させてほしい。
- ・今、少子化で子供の事に対しては色々と策が講じられています。一方、敬老パスの件では遅れを感じています。我家は昨年車を手放し、バスや地下鉄の利用が増えています。夏は出来る限り自転車をと考えていますが、冬場は無理です。夫婦共にスマホは所持しておらず、今の対策では取り残されます。近所の老人も多くの方が共通の意見です。再考をお願いします。
- ・真駒内駅前を発展させてほしい、地下鉄駅前なのに何も無い不便で全くもったいない。
- ・公共の場、街、道路のバリアフリー化を進めてほしい。冬の除雪、交通機関の乱れを改善してほしい。札幌駅周辺の再開発期待。新幹線延伸どうにかしてほしい。
- ・新川、新琴似方面に住んでいる方、通学している方が多く、交通の便が悪いので改善おねがいします。
- ・中心部以外の交通が充実してない。
- ・交通インフラ、通信インフラの整備、拡充、安定的な運用。
- ・丘珠空港の活用→新道東の移動手段をふやす→LCC の運行。
- ・雪を強みにできるまち、雪に負けない公共交通やバス。
- ・バスやJRの減便で、公共交通機関を利用して移動するのがとても大変です。通勤、通学も待ち時間に時間を取られてしまいます。地下鉄がもっと増えてくれると、高齢者も含め全ての人が、効率良く活発に行動できるようになると思います。
- ・バスの最終便が早すぎるので、地下鉄の終電との接続便を確保していただきたいです。
- ・地下鉄の延伸、市電の JR 札幌駅前乗入れ、環状道路の整備、赤字の札幌ドームの早急な取り壊し。
- ・公共交通機関（特に清田区方面への移動）の充実、冬の除雪状況の改善、新幹線延伸に伴う工事によって不便になっている交通機関の早期改善。
- ・JR がもっと利用しやすくなると良いなと思います。モバイル Kitaca の導入も検討してほしいですし、冬場は急な欠行もあるので地下鉄ともっと連携するとか。海外旅行客は絶対利用している交通機関だと思うので、もっと市と連携してほしいなと感じます。
- ・交通網の強化及び地下鉄の老朽化した設備の復旧。地下鉄の延伸が出来なくてもバリアフリーの強化（エレベーター設置がかなり少ない）地下鉄や他モータリゼーションの拡大をしないと市内の住居キャパシティがパンクするようになります。

- ・地下鉄の清田区への延伸か、同等の交通網の整備。区外への通勤、通学が困難な点は大きな問題。
- ・減便、廃止されたバス路線の回復。
- ・今後ますます高齢化が進んでいくので、バスをこれ以上減便させず、また清田区や北広島までの地下鉄延伸を望みます。
- ・札幌ドーム。札幌までの新幹線早期実現。
- ・札幌市だけでなく道と協力体制が必要と考えられる（福岡県福岡市の様なモデルがのぞましい）。丘珠空港の拡大、東豊線（栄町→丘珠空港）延長。羽田（丘珠）→成田（千歳）のような使い分けを将来的にしていける。福岡市内に空港、JR、新幹線、地下鉄あり、人口も増え活気ある。
- ・公共交通機関（特に清田区方面への移動）の充実、冬の除雪状況の改善、新幹線延伸に伴う工事によって不便になっている交通機関の早期改善。
- ・新幹線延長に伴う、環境の激変に近い展開があるか、今から心配。
- ・新幹線、再開発など町づくりの動きを見ていると、中心部の動きはすばらしいものがあり国際都市になりつつあるのを感じますが、中心部からの5km外に目を向けると荒廃が続き、特に白石地区の調整区域は、開発行為もなく都市計画も今後ないと言う事です。点でしか動かない札幌市の施策に疑問を感じます。
- ・今現在、住んでいる地域は人にやさしい街づくりになっていない。再開発から取り残されているように感じる。他の地域の人達にも、真駒内駅前には何も無いと言われる。
- ・さっぽろ駅周辺だけが開発が進んでいる印象、長年南区に住んでいますが、年々廃たれていく印象。自然が大事なので何もしなくて良いと言う人もいますが、郊外でもある程度快適にはしてほしいです。荒れ放題の自然で熊との共存は望みません。
- ・小さな公園の整備にも力をいれてほしい。樹木を植えてほしい。公共交通機関の利便性を。
- ・認知症にならないためにも健康には充分気使っているが、安く体験出来る所が無い上、その場所に行く交通費も高い。交流の場が少ない、交通の案内が解りにくい。地下鉄など地下鉄の乗り降りの間のすき間（車体との間）あぶないベビーカーや、足の悪い人にとってもなぜ同じ高さすき間があるのか不思議に思う。
- ・公園の周りになぜ柵をつけないのか。昔はありましたし、低いものでもあれば、子供のとびだし、ボールの類のとびだしも防げるのではと思いました。
- ・少子化で子供が減っているとはいえ、近所の公園の大型遊具が撤去され、かわりにすべり台とうんていになった時は心底がっかりしました。同等の遊具と入れ替えるべきじゃないでしょうか。無駄に広くなり

野球をする中学生は来るし治安悪いです。屯田春の風公園。税金有効に使ってほしいです。ここの地域に住む方々が数名電話入れていると思いますが、対応は検討されていますか。

・子どもたちがのびのびと遊べる環境を守ること！近年、ボールを使用した遊びを禁止する公園が増えていますが、子どもたちにとっては友達と絆を深め、思い出を作り、また成長期の体力作りとしての大切な活動の1つです。騒音は問題として提案されるものだと認識していますが、自分の世代もふくめ他の世代の方も公園で遊んだ思い出があると思います。また昨今はコロナの影響もあり、公園の使用などの制限がありあまりにもかわいそうだと思います。もう少しのびのびとした子どもたちの成長を市全体で見守っていけないでしょうか。よろしくお願いいたします。

・観を損なうビルの建設は厳しく調査、判断してほしい。熊の出没問題について有識者で対応を検討してもらいたい。

・緑が多い都市というのが札幌市の魅力だと思いますが、街の中心地の緑地や緑の多さは正直東京の方が多かったと思います。雪があるので難しいのかもしれませんが、至るところに緑が感じられるまちづくりにしてくれると嬉しいです。

・札幌市は、世界的にも知名度は高いが、大変残念ながら街の景観に対する札幌市としての統一した指針や思想がまったく無い感じです。特に幌西山鼻地区は、乱立する高層マンションで四季美しい藻岩山も台無しです。もっと自然の美しさと、人口的な建築物との調和による景観を保っていただければ、世界に誇れる札幌になると思います。

・ライフライン上下水道の老朽化に対する対策が心配です。

・札幌ドームの利用方法をみても、なかなか先が読めていない様に思います。のんびり構えている様にみえて…オリンピックがなくなったのですから、札幌市に目を向けて下さい。

・札幌ドームの人件費、維持費を税金のお金で無駄に使ってほしくないので売却してほしいです。ちがう所にお金を使ってほしい。市民は怒っています。

・将来的に負の遺産となる事が明白な札幌ドームは早期に解体し結果的には相対的に税負担が累積する前に手を打つべきと思う。また今や純粋なスポーツの祭典というよりも一部の会社、組織、人らの利権の温床と変わり果てたオリンピック誘致には断固として反対である。

・札幌市民の財産でもある、札幌ドームの活用がめいそうしています。冬のオリンピックも市民は望んでいなかったのではと思います。市はあまりにも人事です、本気で部署を作って、現実的な案をしめしてもらいたいです。

その他

- ・いろいろな年代や立場の人の考えに、偏りなく耳を傾けて、まちづくりに生かしてください。
- ・賃金水準が上げられるような経済対策。北海道全体の発展に向けた、他市町村との連携による関係人口の提供。
- ・札幌市民が札幌市に永久に住みたいと思えるよう、税金を札幌市民のために使ってほしい。
- ・少子化対策だけではなく、おひとり様に対する対策も必要だと思います。
- ・Sapporo city wifi の広域化と高性能化。
- ・カタカナ（英語）表示が多くあたりまえになっているが、難しく理解できない。交通、スーパー、全てにデジタル化が進み高齢者にとって、難解。住みずらい時代になったと感じる。
- ・市民参加と言いながら、重要な決定は知らないうちに進められており、気がついたときには関われなくなっている現状を知ること。
- ・コミュニティプランをしっかりとすること。どの立場の誰の意見を通じて、どのような札幌を作りたいのか明確にし、確実に共有することが大切だと思います。
- ・まちづくり戦略ビジョンがあまり知られていないため周知が必要。また、実現の為には市民1人1人の意識が大切なので、市民が参加できる要素が増やすべきと感じました。策定されているビジョン自体は良いと思います。
- ・札幌市民は、札幌に魅力を感じていますのでこれから魅力ある街づくりをお願いしたい。
- ・札幌市が何をアピールポイントにしたいのかが、よくわかりません。その辺りを誰もがわかるように明確にしていけば、市民の意識も変わるように思います。
- ・札幌らしさを追求し、日本に、世界に札幌の良いところを発信してほしい。市民への負担ももっと考えてほしい。
- ・何をやるにせよ、何をやりたいのか市民に伝わる形で伝えないといけないと思います。ビジョンの資料だけでも99ページもあり共感しづらい。ビジョンや各分野に関わりもなければ、ビジョンに目を通したことのない人が大半であり、1万人に自分と関わりのない分野のアンケートを取って、適正な内容が集まるのでしょうか？せめて都市像は盛り込みすぎずシンプルに伝えていくのがよいかと。また札幌と北海道を切り分けて考えている部分と、北海道全体の流れから考えている部分がどうなっているのか、札幌市においては北海道全体の今後の影響を大きく受けるが、資料ではあまり区別されてなかったかと思うので、区別して記載や情報発信をしていただきたい。

・都市の情報をより取得できる環境がほしい。同年代は、政治も市にも興味がない人が多く、それは触れる環境がないからだと思います。娯楽に関しては、積極的に調べて行動しているので、それらに絡めた活動が見られれば私含めて関心を持つのではないかと思います。

・私は40代会社員ですが、日常の中で札幌市のまちづくりについて意識して考えることがありませんでした。恥かしながら今回のアンケートで細部を知りました。「札幌市まちづくり戦略ビジョン」に意識が向く様、ポスターなどの啓蒙も必要かと思いました。

・人を助けたい気持ちがあるが、助けて欲しい人とのマッチングが必要です。ヘルプマークを持っている人達が、助けてと言いやすい環境としてキーホルダーを検討ください。(キーホルダー→長方形の蛍光グリーンキーホルダーです。: ○YES/×O/トイレ/病院/果物/電話)

・全ての人にも動物にも優しいまちであってほしいです。1日1本でもよいので、犬と一緒にのれる車両運行してほしいです。犬とお出かけマップもほしいです。

・冗長で設問が、難解過ぎるアンケートだと思う。また、すべて○か×だけでは答えられない。せめて5段階にしたほうが良い。アンケートの回答を出来るだけの情報がなく、回答しづらかった。

・多岐にわたり、近年、デジタル化が加速する中、不得意な人にとっては厳しいものがあります。気軽に教えて頂ける場所があると不安が解消されます。例携帯会社などで、スマホ教室の「教科科目に組み込む」と受講しやすいと思います。

・民生委員をしています。定期的に訪問しても孤独死やお金の管理ができず、生活に困っている方が複数います。どなたも取り残さないためには無力です。お年寄だけではなく青年も心配な方がいます。行政でもっと考えてほしい。

・役職についている人はもっと若い世代に変えたほうがいい。何も変わっている感じが全くない。本当に新しくしたいなら頭の働く若い人から様々な意見を聞くべき。

・30代子育て世帯です。冬のシーズンの自宅保育は本当に大変でした。冬の間は、よく南幌町や恵庭市へ車で連れて出ました。そのくらい札幌市内で子供と楽しめる場所が少ないです。札幌は大人が考えた、大人だけが楽しい街。子供たちは楽しくない！次世代につなげていきたいのなら若い世代にもっと耳を傾けてください。まずは子供が集まれる屋内遊び場を充実させてほしい。気兼ねなく子供を走らせたいです。

・まちづくりについて知らない事が多いので、手軽に情報を得る事ができるものがまずほしいです。

・札幌市まちづくりビジョンの存在を、もっとアピールした方が良くと思う。制度や環境は整えられつつあると思うので、あとは市民や企業がいかに関制度や環境を活かせるかが、問題ではないかと考える。

・まちづくり戦略ビジョンが益々、発展していくことを望んでいます。